

**FUJIFILM**

DIGITAL CAMERA

**X 100 VI**

**FF230003**

**使用説明書**

## はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるように大切に保管してください。

### 最新情報について

本製品の最新の使用説明書はこちらをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/ja/manual/>



上記ウェブサイトでは、最新情報の使用説明書が用意されており、カラーの作例などもご用意しています。また、スマートフォンやタブレットからのアクセスも可能となっていますので、是非アクセスしてみてください。ソフトウェアのライセンスに関する情報も記載しています。



本製品のファームウェア更新情報はこちらをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>



## 章目次

<b>メニュー一覧</b>	iv
<b>1 このカメラの概要</b>	1
<b>2 撮影の準備</b>	35
<b>3 基本的な撮影と再生</b>	51
<b>4 動画の撮影と再生</b>	59
<b>5 撮影に関する設定</b>	67
<b>6 撮影メニュー</b>	117
<b>7 画像の再生と再生メニュー</b>	209
<b>8 ネットワーク /USB 機能と設定メニュー</b>	237
<b>9 セットアップメニュー</b>	269
<b>10 ショートカット機能</b>	309
<b>11 オプション品・外部機器の使い方</b>	327
<b>12 資料</b>	343

# メニュー一覧

このカメラで使用できるメニューの一覧です。

## 撮影メニュー

静止画撮影や動画撮影時に使用できるメニューです。

 設定方法の詳細は撮影メニューをご覧ください (📖 117)。

## 静止画撮影メニュー

 と  の両方のアイコンが付いている項目は、静止画撮影メニューと動画撮影メニューで共通の項目です。設定を変更すると両方同時に変更されます。

📖	画質設定	📖
1 <sup>3</sup>	画像サイズ	118
	画質モード	119
	RAW 記録方式	120
	JPEG/HEIF 選択	121
	フィルム シミュレーション	122
	モノクローム カラー	124
	グレイン・エフェクト	124
	カラークローム・エフェクト	125
	カラークローム ブルー	125
	スムーズスキン・エフェクト	125
2 <sup>3</sup>	ホワイトバランス	126
	ダイナミックレンジ	130
	D レンジ優先	131
	トーンカーブ	132
	カラー	132
	シャープネス	132

📖	画質設定	📖
3 <sup>3</sup>	高感度ノイズ低減	132
	明瞭度	133
	長秒時ノイズ低減	133
	色空間	133
	ピクセルマッピング	134
	 カスタム選択	134
	 カスタム登録 / 編集	135
カスタム登録内容の自動更新	141	

AF MF フォーカス設定		📖
1/3	フォーカスエリア選択	142
	AF モード	142
	ゾーンカスタム設定	142
	AF モードオール設定	142
	AF-C カスタム設定	143
	縦 / 横位置 AF モード切替	146
	AF ポイント表示  	147
	  フォーカスポイント循環	147
2/3	フォーカス点数切り替え	147
	プリ AF	148
	AF 補助光	148
	 顔検出 / 瞳 AF 設定	149
	被写体検出 AF 設定	151
	AF+MF	153
	MF アシスト	154
	MF アシストフォーカスリング連動	154
3/3	フォーカスチェック	155
	測光&フォーカスエリア連動	155
	  ワンブッシュ AF 時の動作	155
	  被写界深度スケール	156
	レリーズ優先 / フォーカス優先	156
	  フォーカスリミッター	157
	タッチパネルモード	158
	AF フレーム補正	160
📷 撮影設定		📖
1/3	スポーツファインダーモード	161
	プリ撮影 ES 	162
	セルフタイマー	163
	セルフタイマー設定保持	164
	セルフタイマーランプ	164
	インターバルタイマー撮影	164
	インターバルタイマー撮影露出平準化	166
	インターバルタイマー撮影間隔優先	166

📷 撮影設定		📖	
2/3	AE ブラケティング設定	167	
	フィルムシミュレーション BKT	167	
	フォーカス BKT 設定	167	
	測光	167	
	シャッター方式	168	
	フリッカー低減	169	
	フリッカーレス S.S. 設定	169	
	ブレ防止モード	170	
3/3	感度 AUTO 設定	170	
	  コンバージョンレンズ	170	
	デジタルテレコン	171	
	  ND フィルター	171	
	  ワイヤレス通信	172	
	📷 フラッシュ設定		📖
	フラッシュ機能設定	173	
	赤目補正	173	
TTL-LOCK モード	174		
LED ライト設定	174		
コマンダー設定	175		
CH 設定	175		
内蔵フラッシュ	176		
📷 動画設定		📖	
	動画モード	177	
	ハイスピード撮影	177	
	メディア記録設定	177	
	  ブレ防止モード	177	
	  ブレ防止モードブースト	177	
	オーディオ設定	178	
	マイク / リモートレリーズ設定	180	
	  REC 枠表示	180	

## 動画撮影メニュー



📷 と 📹 の両方のアイコンが付いている項目は、静止画撮影メニューと動画撮影メニューで共通の項目です。設定を変更すると両方同時に変更されます。

📷 動画設定		📖
1 <sup>3</sup>	動画設定一覧	181
	動画モード	182
	ハイスピード撮影	183
	📹 セルフタイマー	184
	メディア記録設定	184
	HDMI 出力設定	186
	動画クロップ倍率固定モード	186
	F-Log/HLG 撮影	187
2 <sup>3</sup>	データレベル設定	188
	📹 測光	188
	📹 フリッカーレス S.S. 設定	188
	📹 プレ防止モード	189
	📹 プレ防止モードブースト	189
	ゼブラ設定	190
	ゼブラレベル	190
動画専用操作モード 📷📹	191	
3 <sup>3</sup>	📹 REC 枠表示	191
	タリーランプ	192
	📹 カスタム選択	193
	📹 カスタム登録 / 編集	193
	📹 カスタム登録内容の自動更新	193
	📷📹 コンバージョンレンズ	193
	📷📹 ND フィルター	193
📷📹 ワイヤレス通信	193	

📷 画質設定		📖
1 <sup>2</sup>	📹 フィルム シミュレーション	194
	📹 モノクローム カラー	194
	📹 ホワイトバランス	194
	📹 ダイナミックレンジ	195
	📹 トーンカーブ	195
	📹 カラー	195
	📹 シャープネス	196
	📹 高感度ノイズ低減	196
2 <sup>2</sup>	フレーム間ノイズリダクション	196
	📹 周辺光量補正	196

AF MF フォーカス設定			オーディオ設定		
1/2	フォーカスエリア選択	197	内蔵マイクレベル設定	204	
	AF モード	197	外部マイクレベル設定	204	
	AF-C カスタム設定	198	マイク端子設定	205	
	フォーカスポイント循環	198	マイクレベルリミッター	205	
	顔検出 / 瞳 AF 設定	199	風音低減	205	
	被写体検出 AF 設定	199	ローカットフィルター	206	
	AF+MF	200	ヘッドホン音量	206	
	MF アシスト	200	マイク / リモートリリース設定	206	
2/2	MF アシストフォーカス リング連動	200	<b>TC</b> タイムコード設定		
	フォーカスチェック	201	タイムコード表示	207	
	ワンタッチ AF 時の動作	201	開始時間設定	207	
	被写界深度スケール	201	カウントアップ設定	207	
	フォーカスリミッター	201	ドロップフレーム	208	
	タッチパネルモード	202	HDMI タイムコード出力	208	
	フォーカスチェックロック	203			

## 再生メニュー

再生時に使用できるメニューです。

 詳細は再生メニューをご覧ください (📖 216)。

再生メニュー		📖
1/2	RAW 現像	216
	HEIF を JPEG/TIFF に変換	219
	消去	220
	トリミング	222
	リサイズ	223
	プロテクト	224
	画像回転	225
	ボイスメモ設定	226

再生メニュー		📖
2/2	レーティング	227
	スマートフォンに画像転送	228
	 ワイヤレス通信	230
	スライドショー	230
	フォトブックアシスト	231
	プリント予約 (DPOF)	233
	instax プリンタープリント	234
	表示比率	235

## セットアップメニュー

カメラの基本的な設定や表示などを変更するメニューです。

 設定方法の詳細はセットアップメニューをご覧ください (P.269)。

基本設定		目録	音設定		目録
1/2	フォーマット	270	1/2	AF 合焦音量	277
	🏠 エリア設定	271		セルフタイマー音量	277
	日時設定	271		操作音量	278
	世界時計	272		🎧 REC 開始終了音量	278
	🗣️ 言語/LANG.	273		MS 電子シャッター音量	278
	📷 マイメニュー設定	273		MS 電子シャッター音	279
	🎧 マイメニュー設定	273		ES 電子シャッター音量	279
	センサークリーニング	274		ES 電子シャッター音	279
2/2	シャッター回数	274	2/2	再生音量	280
	電子音 & フラッシュ	275			
	ファームウェアアップデート	275			
	リセット	276			
	認証	276			

表示設定		目録
1/4	VIEW MODE 設定	281
	ブライトフレーム位置記憶	281
	EVF 明るさ	282
	EVF 鮮やかさ	282
	EVF 色調整	282
	LCD 明るさ	283
	LCD 鮮やかさ	283
	LCD 色調整	283
2/4	撮影画像表示	284
	縦横自動回転表示	284
	マニュアル時モニター露出 / WB 反映	285
	ナチュラルライブビュー	285
	F-Log ビューアシスト	286
	電子水準器設定	286
	フレーミングガイド	286
	縦横自動回転再生	287

表示設定		目録	
3/4	距離指標の単位	287	
	OVF 時 撮影画像表示	288	
	画面のカスタマイズ	288	
	情報表示拡大モード (EVF/OVF)	289	
	情報表示拡大モード (LCD)	290	
	情報表示拡大 表示設定	291	
	情報表示コントラスト調整	291	
	位置情報表示	292	
	4/4	📷 クイックメニュー背景設定	292
		📱 クイックメニュー背景設定	292

操作ボタン・ダイヤル設定 		
1/3	フォーカスレバー設定	293
	 クイックメニュー登録 / 編集	294
	 クイックメニュー登録 / 編集	294
	ファンクション (Fn) 設定	294
	コマンドダイヤル設定	295
	 S.S. 操作設定	295
	コマンドダイヤル回転方向	296
	半押し AF	296
	半押し AE	296
	カードなしリリース	297
2/3	フォーカスリング	297
	フォーカスリング操作	297
	コントロールリング設定	298
	AE/AF-LOCK 設定	298
	AWB-LOCK 設定	298
	絞りリング設定 (A)	299
	 Fn1 ボタン設定	299
	タッチパネル設定	300
ロック	302	

消費電力設定 	
自動電源 OFF	303
パフォーマンス	304
EVF/LCD ブースト設定	304
自動電源 OFF 温度	305

保存設定 	
コマ NO.	306
ファイル名編集	307
フォルダ選択	307
著作権情報	307
位置情報記録	308

## ネットワーク /USB 設定メニュー

カメラのネットワーク接続や USB 接続の設定を変更するメニューです。

 詳細はネットワーク /USB 設定メニューをご覧ください (📖 261)。

 ネットワーク /USB 設定	
Bluetooth/ スマートフォン 設定	261
機内モード	264
instax プリンター接続設定	264
Frame.io Camera to Cloud	264
接続モード	267
USB 給電 / 通信設定	268
情報表示	268
ネットワーク /USB 設定初期化	268



# 目次

はじめに .....	ii
最新情報について .....	ii
メニュー一覧 .....	iv
撮影メニュー .....	iv
再生メニュー .....	viii
セットアップメニュー .....	ix
ネットワーク / USB 設定メニュー .....	xii
付属品一覧 .....	xxvii
本書について .....	xxviii
本書で使われている記号について .....	xxviii
画面のイラストや写真について .....	xxviii
表記について .....	xxviii

## 1 このカメラの概要

1

カメラの各部名称と機能 .....	2
ハイブリッドビューファインダー .....	4
液晶モニター .....	6
フォーカスレバー .....	7
シャッタースピード / 感度ダイヤル .....	7
露出補正ダイヤル .....	8
視度調節ダイヤル .....	8
DRIVE/DELETE ボタン .....	9
コマンドダイヤル .....	10
インジケータランプ .....	11
コントロールリング .....	12
銘板プレート .....	13
撮影時の表示画面 .....	14
OVF の表示画面 .....	14
EVF の表示画面 .....	16
LCD の表示画面 .....	18
EVF と LCD の切り替え .....	20
EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整 .....	22
縦表示について .....	22
情報表示の切り替え .....	23

画面の表示について .....	25
電子水準器について .....	27
メニューの使い方 .....	28
メニュー画面について .....	28
メニュータブへの移動 .....	29
タッチ操作について .....	30
撮影時のタッチ操作について .....	30
再生時のタッチ操作について .....	34

## 2 撮影の準備 35

ストラップを取り付ける .....	36
バッテリーとメモリーカードを入れる .....	38
使用可能なメモリーカード .....	41
バッテリーを充電する .....	42
電源をオンにする / オフにする .....	45
バッテリー残量の表示 .....	46
初期設定を行う .....	47
言語を変更する .....	49
日時を変更する .....	49

## 3 基本的な撮影と再生 51

プログラムで静止画を撮影する .....	52
静止画を再生する .....	55
HDMI 出力 .....	56
画像を消去する .....	58

<b>4</b>	<b>動画の撮影と再生</b>	<b>59</b>
	動画を撮影する.....	60
	動画の設定について.....	64
	動画を再生する.....	65
<b>5</b>	<b>撮影に関する設定</b>	<b>67</b>
	P、S、A、Mで撮影する.....	68
	プログラム (P) 撮影.....	68
	シャッタースピード優先 (S) 撮影.....	70
	絞り優先 (A) 撮影.....	74
	マニュアル (M) 撮影.....	75
	オートフォーカス撮影.....	77
	フォーカスモード.....	78
	AF モードの選択.....	80
	フォーカスエリアの変更.....	82
	マニュアルフォーカス撮影.....	86
	ピントの確認方法.....	88
	ISO 感度を変更.....	91
	A (オート) 設定について.....	92
	測光モードを変更.....	93
	デジタルテレコン撮影.....	94
	露出補正.....	95
	C (カスタム) について.....	96
	AE/AF ロック撮影.....	97
	ボタンによる AE/AF ロック.....	98
	ブラケティング撮影.....	99
	<b>ISO</b> ISO ブラケティング.....	99
	<b>WB</b> ホワイトバランス BKT.....	99
	<b>BKT</b> ブラケティング.....	100

連続撮影（連写）.....	103
HDR 撮影.....	105
パノラマ撮影.....	107
多重露出撮影.....	110
アドバンスフィルター撮影.....	112
アドバンスフィルターの種類.....	113
フラッシュ撮影.....	114
フラッシュ機能設定.....	115

## 6 撮影メニュー 117

画質設定（静止画）.....	118
画像サイズ.....	118
画質モード.....	119
RAW 記録方式.....	120
JPEG/HEIF 選択.....	121
フィルム シミュレーション.....	122
モノクローム カラー.....	124
グレイン・エフェクト.....	124
カラークローム・エフェクト.....	125
カラークローム ブルー.....	125
スムーズスキン・エフェクト.....	125
ホワイトバランス.....	126
ダイナミックレンジ.....	130
D レンジ優先.....	131
トーンカーブ.....	132
カラー.....	132
シャープネス.....	132
高感度ノイズ低減.....	132
明瞭度.....	133
長秒時ノイズ低減.....	133
色空間.....	133
ピクセルマッピング.....	134
📷 カスタム選択.....	134
📷 カスタム登録 / 編集.....	135
カスタム登録内容の自動更新.....	141

フォーカス設定 (静止画).....	142
フォーカスエリア選択 .....	142
AF モード.....	142
ゾーンカスタム設定 .....	142
AF モードオール設定.....	142
AF-C カスタム設定 .....	143
縦 / 横位置 AF モード切替 .....	146
AF ポイント表示  .....	147
 フォーカスポイント循環 .....	147
フォーカス点数切り替え .....	147
プリ AF .....	148
AF 補助光.....	148
 顔検出 / 瞳 AF 設定.....	149
被写体検出 AF 設定 .....	151
AF+MF.....	153
MF アシスト .....	154
MF アシストフォーカスリング連動.....	154
フォーカスチェック .....	155
測光 & フォーカスエリア連動.....	155
 ワンプッシュ AF 時の動作.....	155
 被写界深度スケール .....	156
レリーズ優先 / フォーカス優先 .....	156
 フォーカスリミッター .....	157
タッチパネルモード .....	158
AF フレーム補正 .....	160
撮影設定 (静止画).....	161
スポーツファインダーモード .....	161
プリ撮影  .....	162
セルフタイマー .....	163
セルフタイマー設定保持 .....	164
セルフタイマーランプ .....	164
インターバルタイマー撮影 .....	164
インターバルタイマー撮影露出平準化.....	166
インターバルタイマー撮影間隔優先 .....	166
AE ブラケティング設定 .....	167
フィルムシミュレーション BKT.....	167

フォーカス BKT 設定.....	167
測光.....	167
シャッター方式.....	168
フリッカー低減.....	169
フリッカーレス S.S. 設定.....	169
ブレ防止モード.....	170
感度 AUTO 設定.....	170
  コンバージョンレンズ.....	170
デジタルテレコン.....	171
  ND フィルター.....	171
  ワイヤレス通信.....	172
<b>フラッシュ設定（静止画）.....</b>	<b>173</b>
フラッシュ機能設定.....	173
赤目補正.....	173
TTL-LOCK モード.....	174
LED ライト設定.....	174
コマンダー設定.....	175
CH 設定.....	175
内蔵フラッシュ.....	176
<b>動画設定（静止画）.....</b>	<b>177</b>
動画モード.....	177
ハイスピード撮影.....	177
メディア記録設定.....	177
 ブレ防止モード.....	177
 ブレ防止モードブースト.....	177
オーディオ設定.....	178
マイク/リモートリリース設定.....	180
 REC 枠表示.....	180
<b>動画設定（動画）.....</b>	<b>181</b>
動画設定一覧.....	181
動画モード.....	182
ハイスピード撮影.....	183
 セルフタイマー.....	184
メディア記録設定.....	184

HDMI 出力設定.....	186
動画クロップ倍率固定モード.....	186
F-Log/HLG 撮影.....	187
データレベル設定.....	188
 測光.....	188
 フリッカーレス S.S. 設定.....	188
 ブレ防止モード.....	189
 ブレ防止モードブースト.....	189
ゼブラ設定.....	190
ゼブラレベル.....	190
動画専用操作モード  .....	191
 REC 枠表示.....	191
タリーランプ.....	192
 カスタム選択.....	193
 カスタム登録 / 編集.....	193
 カスタム登録内容の自動更新.....	193
  コンバージョンレンズ.....	193
  ND フィルター.....	193
  ワイヤレス通信.....	193
<b>画質設定 (動画).....</b>	<b>194</b>
 フィルム シミュレーション.....	194
 モノクローム カラー.....	194
 ホワイトバランス.....	194
 ダイナミックレンジ.....	195
 トーンカーブ.....	195
 カラー.....	195
 シャープネス.....	196
 高感度ノイズ低減.....	196
フレーム間ノイズリダクション.....	196
 周辺光量補正.....	196
<b>フォーカス設定 (動画).....</b>	<b>197</b>
 フォーカスエリア選択.....	197
 AF モード.....	197
 AF-C カスタム設定.....	198

 フォーカスポイント循環.....	198
 顔検出 / 瞳 AF 設定.....	199
 被写体検出 AF 設定.....	199
 AF+MF .....	200
 MF アシスト .....	200
 MF アシストフォーカスリング連動.....	200
 フォーカスチェック .....	201
 ワンタッチ AF 時の動作.....	201
 被写界深度スケール .....	201
 フォーカスリミッター .....	201
 タッチパネルモード.....	202
フォーカスチェックロック .....	203
<b>オーディオ設定 (動画).....</b>	<b>204</b>
内蔵マイクレベル設定 .....	204
外部マイクレベル設定 .....	204
マイク端子設定.....	205
マイクレベルリミッター .....	205
風音低減.....	205
ローカットフィルター .....	206
ヘッドホン音量.....	206
マイク / リモートリリース設定 .....	206
<b>タイムコード設定 (動画).....</b>	<b>207</b>
タイムコード表示.....	207
開始時間設定 .....	207
カウントアップ設定.....	207
ドロップフレーム.....	208
HDMI タイムコード出力.....	208

## 7 画像の再生と再生メニュー

209

再生時の表示画面.....	210
情報表示の切り替え .....	212
再生方法 .....	214
再生ズーム .....	215
マルチ再生 .....	215

再生メニュー.....	216
RAW 現像.....	216
HEIF を JPEG/TIFF に変換.....	219
消去.....	220
トリミング.....	222
リサイズ.....	223
プロテクト.....	224
画像回転.....	225
ボイスメモ設定.....	226
レーティング.....	227
スマートフォンに画像転送.....	228
📷📶 ワイヤレス通信.....	230
スライドショー.....	230
フォトブックアシスト.....	231
プリント予約 (DPOF).....	233
instax プリンタープリント.....	234
表示比率.....	235

## 8 ネットワーク /USB 機能と設定メニュー 237

ネットワーク /USB 機能の概要.....	238
このカメラでできること.....	238
スマートフォンアプリケーションを使用する.....	240
スマートフォンにアプリケーションをインストールする.....	240
カメラとスマートフォンを接続する.....	240
スマートフォンアプリケーションを使用する.....	242
USB カードリーダーとして使用する.....	244
スマートフォンに画像を転送する.....	244
パーソナルコンピューターに画像を転送する.....	247
ウェブカメラとして使用する.....	249
instax プリントする.....	250
プリンターとの接続を設定する.....	250
画像をプリントする.....	251

Frame.io にファイル転送する.....	252
無線 LAN で接続する.....	252
Frame.io へファイルを転送する.....	256
RAW 現像する.....	259
設定の保存や読み込みをする.....	260
パーソナルコンピュータで設定の保存や読み込みをする.....	260
ネットワーク /USB 設定メニュー.....	261
Bluetooth/ スマートフォン設定.....	261
機内モード.....	264
instax プリンター接続設定.....	264
Frame.io Camera to Cloud.....	264
接続モード.....	267
USB 給電 / 通信設定.....	268
情報表示.....	268
ネットワーク /USB 設定初期化.....	268

## 9 セットアップメニュー 269

セットアップメニュー (基本設定).....	270
フォーマット.....	270
🏠 エリア設定.....	271
日時設定.....	271
世界時計.....	272
🗣️ 言語/LANG.....	273
📷 マイメニュー設定.....	273
🔗 マイメニュー設定.....	273
センサークリーニング.....	274
シャッター回数.....	274
電子音 & フラッシュ.....	275
ファームウェアアップデート.....	275
リセット.....	276
認証.....	276
セットアップメニュー (音設定).....	277
AF 合焦音量.....	277
セルフタイマー音量.....	277

操作音量.....	278
 REC 開始終了音量.....	278
<b>MS</b> 電子シャッター音量.....	278
<b>MS</b> 電子シャッター音.....	279
<b>ES</b> 電子シャッター音量.....	279
<b>ES</b> 電子シャッター音.....	279
再生音量.....	280
<b>セットアップメニュー（表示設定）.....</b>	<b>281</b>
VIEW MODE 設定.....	281
ブライトフレーム位置記憶.....	281
EVF 明るさ.....	282
EVF 鮮やかさ.....	282
EVF 色調整.....	282
LCD 明るさ.....	283
LCD 鮮やかさ.....	283
LCD 色調整.....	283
撮影画像表示.....	284
縦横自動回転表示.....	284
マニュアル時モニター露出 /WB 反映.....	285
ナチュラルライブビュー.....	285
F-Log ビューアシスト.....	286
電子水準器設定.....	286
フレーミングガイド.....	286
縦横自動回転再生.....	287
距離指標の単位.....	287
OVF 時 撮影画像表示.....	288
画面のカスタマイズ.....	288
情報表示拡大モード (EVF/OVF).....	289
情報表示拡大モード (LCD).....	290
情報表示拡大 表示設定.....	291
情報表示コントラスト調整.....	291
位置情報表示.....	292
 クイックメニュー背景設定.....	292
 クイックメニュー背景設定.....	292

セットアップメニュー (操作ボタン・ダイヤル設定).....	293
フォーカスレバー設定.....	293
📷 クイックメニュー登録 / 編集.....	294
🔗 クイックメニュー登録 / 編集.....	294
ファンクション (Fn) 設定.....	294
コマンドダイヤル設定.....	295
☑ S.S. 操作設定.....	295
コマンドダイヤル回転方向.....	296
半押し AF.....	296
半押し AE.....	296
カードなしリリース.....	297
フォーカスリング.....	297
フォーカスリング操作.....	297
コントロールリング設定.....	298
AE/AF-LOCK 設定.....	298
AWB-LOCK 設定.....	298
絞りリング設定 (A).....	299
▶ Fn1 ボタン設定.....	299
タッチパネル設定.....	300
ロック.....	302
セットアップメニュー (消費電力設定).....	303
自動電源 OFF.....	303
パフォーマンス.....	304
EVF/LCD プースト設定.....	304
自動電源 OFF 温度.....	305
セットアップメニュー (保存設定).....	306
コマ NO.....	306
ファイル名編集.....	307
フォルダ選択.....	307
著作権情報.....	307
位置情報記録.....	308

<b>10 ショートカット機能</b>	<b>309</b>
ショートカット機能について .....	310
マイメニュー .....	311
マイメニュー設定 .....	311
クイックメニュー .....	313
クイックメニュー画面 .....	313
設定の確認と変更 .....	315
クイックメニューの割り当て変更 .....	316
ファンクション機能 .....	319
ファンクションボタン .....	319
タッチファンクション .....	324
<b>11 オプション品・外部機器の使い方</b>	<b>327</b>
別売アクセサリ .....	328
アダプターリング AR-X100 .....	328
レンズフード LH-X100 .....	329
プロテクトフィルター PRF-49/PRF-49S .....	329
コンバージョンレンズ .....	330
クリップオンフラッシュ .....	332
フラッシュを設定する .....	333
シンクロターミナル .....	334
クリップオンフラッシュ .....	335
コマンダー（光通信） .....	338
<b>12 資料</b>	<b>343</b>
カメラで使えるアクセサリ .....	344
カメラで使えるソフトウェア・サービス .....	347
スマートフォン用アプリケーション .....	347
RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIX .....	347
FUJIFILM RAW Converter .....	348
Capture One .....	348
FUJIFILM X Acquire .....	348
FUJIFILM X RAW STUDIO .....	349
Frame.io Camera to Cloud .....	349

お取り扱いにご注意ください.....	350
お手入れについて .....	364
ファームウェアの更新 .....	365
ファームウェアのダウンロード .....	365
ファームウェアの更新方法.....	365
トラブルシューティング /FAQ.....	368
警告表示 .....	380
標準撮影枚数 / 記録時間 .....	385
主な仕様 .....	386
索引 .....	394
ソフトウェアのお問い合わせ .....	401
アフターサービスについて.....	402

## 付属品一覧

ご使用前に箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください。

- 充電式バッテリー NP-W126S (1 個)
- 専用 USB ケーブル (約 0.6m 1 本)
- レンズキャップ (1 個) (本体に装着)
- ストラップリング (2 個)
- ストラップリング取り付け補助具 (1 個)
- ストラップリングカバー (2 枚)
- ショルダーストラップ (1 本)
- ホットシューカバー (1 個) (端子保護用、本体に装着)
- 使用説明書 (基本操作編)
- 保証書 (1 部)



ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください (📖 42)。



このカメラで使用できるソフトウェアについては、📖 347 をご覧ください。

## 本書について

この説明書には、富士フィルムデジタルカメラ X100VI の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

### 本書で使われている記号について

 カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。

 カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

 参照ページを記載しています。

### 画面のイラストや写真について

- 本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- 本書に掲載している写真は、機能を説明するためのもので、実際の機種で撮影したものとは限りません。

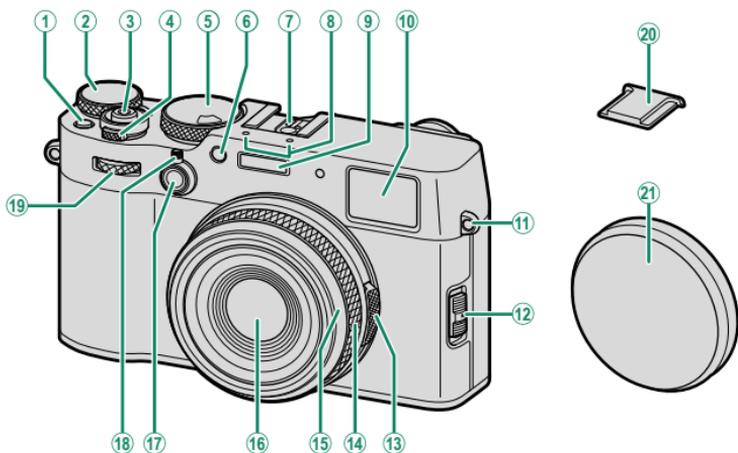
### 表記について

- このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを総称して「**メモリーカード**」と表記します。
- このカメラは、ファインダーと液晶モニターを装備しています。本書では、光学ファインダーを「**OVF**」、電子ファインダーを「**EVF**」、液晶モニターを「**LCD**」と表記する場合があります。
- メニューなどのカメラの表示は**太字**で表記しています。
- 本書では、スマートフォンとタブレットを併せて「**スマートフォン**」と表記する場合があります。

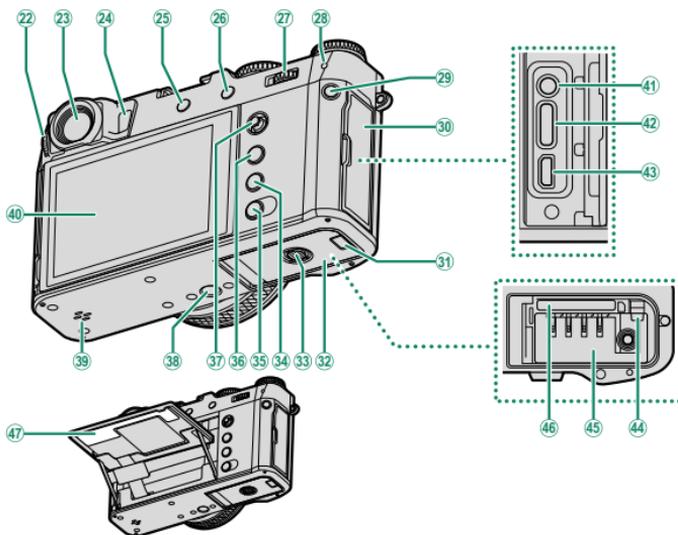
# このカメラの概要



# カメラの各部名称と機能



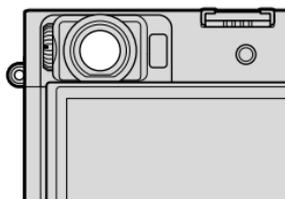
- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| ① Fn1 ボタン.....319   | ⑫ フォーカスモード切換スイッチ..... 78 |
| ② 露出補正ダイヤル.....8、95 | ⑬ 絞りリング.....52、68        |
| ③ シャッターボタン.....54   | ⑭ コントロールリング              |
| ④ 電源レバー.....45      | .....12、94、298           |
| ⑤ シャッタースピード/感度ダイヤル  | フォーカスリング.....12、86、297   |
| .....7、91           | ⑮ フロントリング (着脱可).....328  |
| ⑥ AF 補助光ランプ/セルフタイマー | ⑯ レンズ                    |
| ランプ.....148、163     | ⑰ Fn2 ボタン.....12、319     |
| ⑦ ホットシュー.....333    | ⑱ ファインダー切換レバー.....4      |
| ⑧ マイク.....60、204    | ⑲ フロントコマンドダイヤル           |
| ⑨ フラッシュ.....114     | .....10、295              |
| ⑩ ハイブリッドビューファインダー   | ⑳ ホットシューカバー.....333      |
| .....4、6、14、16、23   | ㉑ レンズキャップ                |
| ⑪ ストラップ取り付け部.....36 |                          |



- |  |               |                             |                    |
|--|---------------|-----------------------------|--------------------|
| ② 視度調節ダイヤル                             | 8             | ③⑥ MENU/OK (メニュー / 決定) ボタン  | 28                 |
| ③ ハイブリッドビューファインダー                      | 4、6、14、16、23  | ③⑦ フォーカスレバー                 | 7、83、293           |
| ④ アイセンサー                               | 6             | ③⑧ 三脚用ねじ穴                   |                    |
| ⑤ <b>DRIVE/DELETE</b> (ドライブ / 消去) ボタン  | 9、52、58、60、99 | ③⑨ スピーカー                    | 65、280             |
| ⑥ <b>AEL/AFL</b> (AE ロック / AF ロック) ボタン | 98、319        | ④⑩ チルト式液晶モニター (LCD) タッチパネル  | 6、18、22、30、158、202 |
| ⑦ リアコマンドダイヤル                           | 10、214、295    | ④① マイク / リモートリリース端子 (Φ 2.5) | 63、73              |
| ⑧ インジケータランプ                            | 11、192        | ④② USB 端子 (Type-C)          | 42、65、244          |
| ⑨ <b>Q</b> (クイックメニュー) ボタン              | 313           | ④③ HDMI マイクロ端子 (Type D)     | 56                 |
| ⑩ 端子カバー                                |               | ④④ バッテリー取り外しつまみ             | 40                 |
| ⑪ DC カプラーカバー                           |               | ④⑤ バッテリー挿入部                 | 38                 |
| ⑫ バッテリーカバー                             | 38            | ④⑥ メモリーカードスロット              | 38                 |
| ⑬ バッテリーカバーロック                          | 38            | ④⑦ 銘板プレート                   | 13                 |
| ⑭ <b>PLAY</b> (再生) ボタン                 | 55            |                             |                    |
| ⑮ <b>DISP/BACK</b> (表示 / 戻る) ボタン       | 23、212        |                             |                    |
| ⑯ (Bluetooth) ボタン                      | 240           |                             |                    |

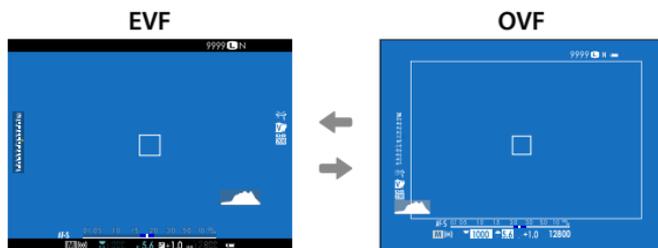
## ハイブリッドビューファインダー

ハイブリッドビューファインダーの表示は光学ファインダー（OVF）または電子ビューファインダー（EVF）に切り替えることができます。OVF表示では、電子式レンジファインダー（ERF：小窓）にEVFの画面を表示することができます。



### EVFとOVFの切り替え

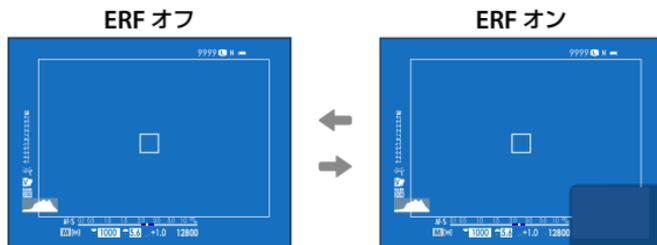
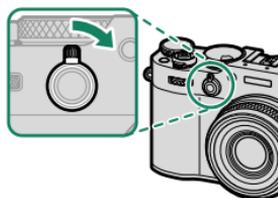
ファインダー切換レバーを図のように引くと、EVFとOVFが切り替わります。



動画撮影時はOVFに設定していても自動でEVFに切り替わります。

## ERF のオンとオフの切り替え

OVF のときにファインダー切換レバーを図のように引くと、ERF のオンとオフが切り替わります。



 ERF は AF モードが  シングルポイントのときのみ有効です。

### ハイブリッドビューファインダー（OVF/EVF/ERF）について

OVF/EVF/ERF にはそれぞれ以下の特徴があります。

画面	説明
OVF	<ul style="list-style-type: none"> <li>光学式であるため、被写体をクリアに見ることができません。また、被写体がボケないので、いつでも表情を確認できます。</li> <li>写る範囲の少し外まで見えるため、フレーミングがしやすくなっています。</li> <li>ファインダーとレンズが別の場所についているため、視差（パララックス）が発生し、ファインダーで見た構図と若干異なって撮影されることがあります。</li> </ul>
EVF	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファインダー視野率 100% のため、いつでも正確にフレーミングができます。</li> <li>ピントや被写界深度、明るさ、ホワイトバランスをライブビューで確認できます。</li> </ul>
ERF	光学ファインダーを使いながら、電子式レンジファインダー（小窓）でピントの確認ができます。

## 液晶モニター

液晶モニターをチルトすると、液晶モニターを見やすい角度に調整して撮影できます。液晶モニターをチルトしているときは、指などが挟まらないようにご注意ください。また、内側の配線などには触れないでください。故障の原因となります。

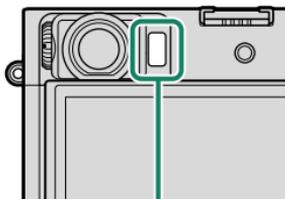


液晶モニターはタッチパネルとして操作できます。タッチパネルでは以下の操作ができます。

- タッチ操作による撮影 (📖 31)
- フォーカスエリアの変更 (📖 30)
- タッチファンクション (📖 33)
- 動画専用操作モード  (📖 32)
- 再生時の画面操作 (📖 34)

### アイセンサーについて

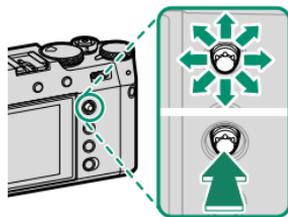
- 目以外のものを近づけたり、直射日光が当たったりしても、アイセンサーが反応することがあります。
- 液晶モニターをチルトしているときはアイセンサーが無効になります。
-  **表示設定 > VIEW MODE 設定** でアイセンサーのオンとオフを切り替えられます。



アイセンサー

## フォーカスレバー

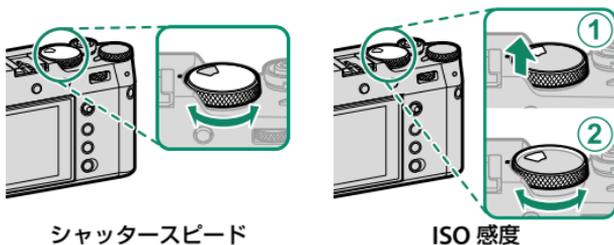
フォーカスレバーを八方向に動かしたり、中央を押したりしてフォーカスエリアを設定できます。メニューを表示しているときは、メニュー項目の選択に使用できます。



- フォーカスレバーの設定は、フォーカスレバーを中央に長押しするか、**操作ボタン・ダイヤル設定 > フォーカスレバー設定**で変更できます。
- フォーカス設定 > フォーカスポイント循環**で、フォーカスエリアを画面の一番端まで移動したときに、画面端で止まるか、反対側の端に回り込むかを設定できます。

## シャッタースピード / 感度ダイヤル

シャッタースピード / 感度ダイヤルを回すと、シャッタースピードを設定できます。引き上げてからダイヤルを回すと、ISO 感度を設定できます。



シャッタースピード

ISO 感度

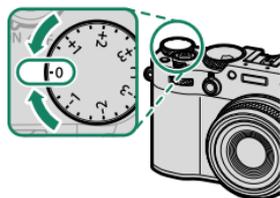


シャッタースピード

ISO 感度

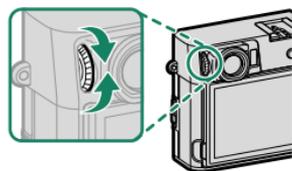
## 露出補正ダイヤル

露出を補正できます。



## 視度調節ダイヤル

ファインダー内の表示が見えにくいときは、ファインダーを覗きながら視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの表示が最もはっきり見えるように調節してください。



## DRIVE/DELETE ボタン

DRIVE/DELETE ボタンを押すと、ドライブメニューが表示されます。



ドライブモード		📖
	1 コマ撮影	52
	CH 高速連写	103
	CL 低速連写	
	ISO ブラケットイング	99
	ホワイトバランス BKT	99
BKT	BKT	100

ドライブモード		📖
	HDR	105
	多重露出	110
Adv.	Adv. モード	107
	動画	112
		60

## コマンドダイヤル

フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルで、以下の操作ができます。

	フロントコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル
		
 <p>回転</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メニュータブ、ページの切り替え</li> <li>絞り値の変更<sup>*1, 2</sup></li> <li>露出補正<sup>*2, 5</sup></li> <li>ISO 感度の設定<sup>*2, 3</sup></li> <li>前後の画像を表示（再生時）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メニュー項目の選択</li> <li>プログラムシフト</li> <li>シャッタースピードの変更<sup>*2</sup></li> <li>クイックメニューの設定値を変更</li> <li>フォーカスエリアのサイズ変更</li> <li>画像を再生ズーム（再生時）</li> <li>画像をマルチ再生（再生時）</li> </ul>
 <p>中央押し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フロントコマンドダイヤルの機能切り替え<sup>*2</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファンクション（ダイヤル）ボタン</li> <li>ピント位置拡大表示<sup>*4</sup></li> <li>マニュアルフォーカス時に MF アシストの設定切り替え（長押し）<sup>*4</sup></li> <li>ピント位置拡大表示（再生時）</li> </ul>

\*1 絞りの設定が **A**（オート）で、**操作ボタン・ダイヤル設定** > 絞りリング設定 (**A**) がコマンドのとき

\*2 **操作ボタン・ダイヤル設定** > コマンドダイヤル設定で設定を変更可能

\*3 ISO 感度の設定が **C** のとき

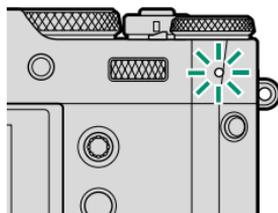
\*4 ファンクションボタンにフォーカスチェックが割り当てられているときのみに

\*5 露出補正ダイヤルが **C** の位置のとき

 コマンドダイヤルを回す方向は、**操作ボタン・ダイヤル設定** > コマンドダイヤル回転方向で設定できます。

## インジケータランプ

インジケータランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。



インジケータランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	AF 警告、シャッター低速警告です（撮影できます）。
緑とオレンジの交互点滅	電源オン時：メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
	電源オフ後：画像をスマートフォンに転送しています。*
オレンジ点灯	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できません）。
オレンジ点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

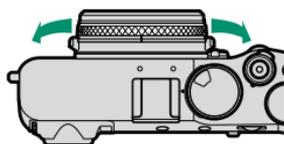
\* 転送予約した画像がある場合



- 画面にも、警告表示が表示されます。
- ファインダーを覗いているときは、インジケータランプは点灯 / 点滅しません。
- 動画設定 > タリーランプで、動画の記録中に点灯するランプをインジケータランプから AF 補助光ランプに変えたり、点灯または点滅の設定を変更できます。
- インターバルタイマー撮影中で画面の表示が消えているときは、インジケータランプが緑色に点滅します。

## コントロールリング

撮影中にコントロールリングを回すと、割り当てられている機能の設定を簡単に変更できます。コントロールリング設定ボタン(Fn2)で、以下のいずれかの機能を割り当てます。



- スタンダード
- ホワイトバランス
- フィルムシミュレーション
- デジタルテレコン

 コントロールリングの割り当ては、 操作ボタン・ダイヤル設定 > コントロールリング設定からも設定できます。

### スタンダードについて

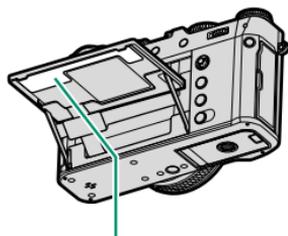
スタンダードを割り当てると、カメラが撮影モードに応じた機能を自動で割り当てます。

撮影モード	機能
P、S、A、M/多重露出	デジタルテレコン
アドバンスフィルター	フィルター選択
パノラマ	フィルムシミュレーション

 撮影モードがP、S、A、Mでフォーカスモード切換スイッチがM（マニュアルフォーカス）のときは、割り当てられている設定にかかわらず、手動でピント合わせをする機能（MF）になります。

## 銘板プレート

銘板プレートには CMIIT ID、シリアル番号などが印刷されていますので取り外さないでください。



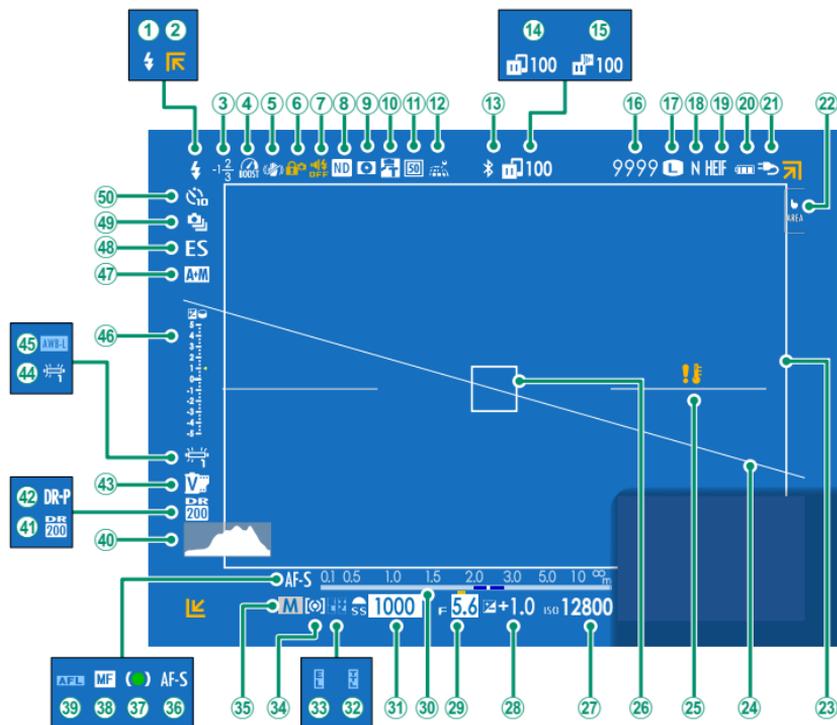
銘板プレート

## 撮影時の表示画面

撮影時は、ファインダー（OVFまたはEVF）/液晶モニター（LCD）に次の情報が表示されます。

! 説明のため情報はすべて表示しています。

### OVF の表示画面



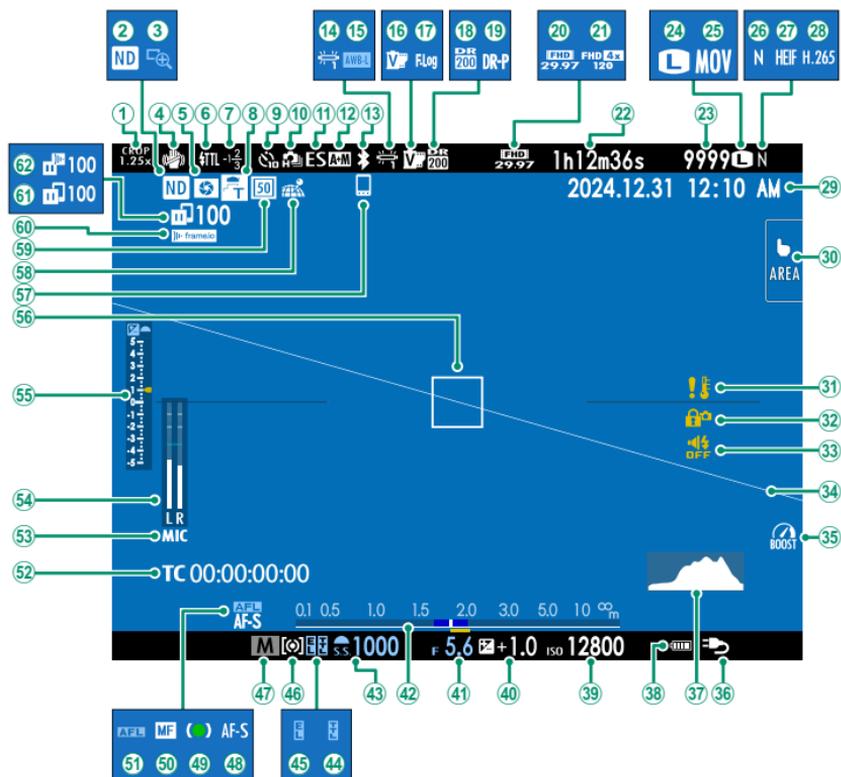
① フラッシュ (TTL モード).....	335	⑳ ISO 感度.....	91
② フレーム範囲外警告.....	331	㉑ 露出補正.....	95
③ 調光補正.....	335	㉒ 絞り値.....	69、74、75
④ プーストモード.....	304	㉓ 距離指標バー*2.....	88
⑤ ブレ防止*2.....	170	㉔ シャッタースピード.....	69、70、75
⑥ ボタンロック*3.....	302	㉕ TTL ロック.....	174、323
⑦ 電子音 & フラッシュ.....	275	㉖ AE ロック.....	98、298
⑧ ND フィルター.....	171	㉗ 測光モード.....	93
⑨ 被写界深度確認.....	74、88	㉘ 撮影モード.....	68
⑩ コンバージョンレンズ.....	170	㉙ フォーカスモード*2.....	78
⑪ デジタルテレコン.....	171	㉚ 合焦マーク*2.....	79
⑫ 位置情報取得状態.....	240、308	㉛ マニュアルフォーカス*2.....	78、86
⑬ Bluetooth ON/OFF.....		㉜ AF ロック.....	98、298
⑭ 画像転送状況.....	240、261	㉝ ヒストグラム.....	26
⑮ Frame.io 画像転送状況.....	252	㉞ ダイナミックレンジ.....	130
⑯ 撮影可能枚数*1.....	385	㉟ D レンジ優先.....	131
⑰ 画像サイズ.....	118	㊱ フィルムシミュレーション.....	122
⑱ 画質モード.....	119	㊲ ホワイトバランス.....	126
㉀ 画像記録 HEIF.....	121	㊳ AWB ロック.....	298
㉁ バッテリー残量表示.....	46	㊴ 露出インジケータ.....	75、95
㉂ 給電状態.....	44	㊵ AF+MF*2.....	153
㉃ タッチパネルモード.....	30、158	㊶ シャッター方式.....	168
㉄ プライツフレーム.....	53	㊷ 連写モード.....	103
㉅ 電子水準器.....	27	㊸ セルフタイマー.....	163、184
㉆ 温度警告.....	40、384		
㉇ AF フレーム.....	82、97		

\*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

\*2 **表示設定 > 情報表示拡大モード (EVF/OVF) を ON** にすると、非表示になります。

\*3 **MENU/OK** ボタン長押しでボタンロックをしているときに表示されます。ロックを解除するときは **MENU/OK** ボタンを再度長押しします。

# EVF の表示画面



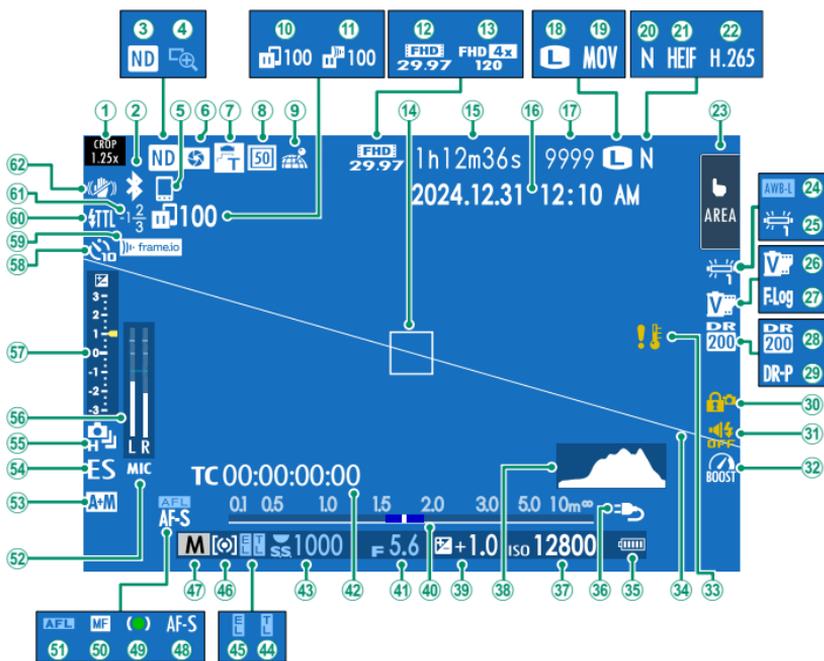
① クロップ倍率.....	186	③② ボタンロック*3.....	302
② ND フィルター.....	171	③③ 電子音 & フラッシュ.....	275
③ フォーカスチェック.....	89、155	③④ 電子水準器.....	27
④ プレ防止*2.....	170	③⑤ ブーストモード.....	304
⑤ 被写界深度確認.....	74、88	③⑥ 給電状態.....	44
⑥ フラッシュ (TTL モード).....	335	③⑦ ヒストグラム.....	26
⑦ 調光補正.....	335	③⑧ バッテリー残量表示.....	46
⑧ コンバージョンレンズ.....	170	③⑨ ISO 感度.....	91
⑨ セルフタイマー.....	163、184	④⑩ 露出補正.....	95
⑩ 連写モード.....	103	④⑪ 絞り値.....	69、74、75
⑪ シャッター方式.....	168	④⑫ 距離指標バー*2.....	88
⑫ AF+MF*2.....	153	④⑬ シャッタースピード.....	69、70、75
⑬ Bluetooth ON/OFF.....		④⑭ TTL ロック.....	174、323
⑭ ホワイトバランス.....	126	④⑮ AE ロック.....	98、298
⑮ AWB ロック.....	298	④⑯ 測光モード.....	93
⑯ フィルムシミュレーション.....	122	④⑰ 撮影モード.....	68
⑰ F-Log/HLG 撮影.....	187	④⑱ フォーカスモード*2.....	78
⑱ ダイナミックレンジ.....	130	④⑲ 合焦マーク*2.....	79
⑲ D レンジ優先.....	131	⑤⑰ マニュアルフォーカス*2.....	78、86
⑳ 動画モード.....	60、182	⑤⑱ AF ロック.....	98、298
㉑ ハイスピード撮影.....	183	⑤⑲ タイムコード.....	207
㉒ 動画の記録可能時間/ 記録経過時間.....	60	⑤⑳ マイク入力チャンネル.....	
㉓ 撮影可能枚数*1.....	385	⑤㉑ マイクレベル*2.....	204
㉔ 画像サイズ.....	118	⑤㉒ 露出インジケータ.....	75、95
㉕ ファイル形式.....	185	⑤㉓ AF フレーム.....	82、97
㉖ 画質モード.....	119	⑤㉔ Bluetooth 接続先.....	240
㉗ 画像記録 HEIF.....	121	⑤㉕ 位置情報取得状態.....	240、308
㉘ 動画圧縮方式.....	185	⑤㉖ デジタルテレコン.....	171
㉙ 日付・時刻.....	47、49、271	⑥⑰ Frame.io 接続状態.....	255
㉚ タッチパネルモード.....	30、158	⑥⑱ 画像転送状況.....	240、261
㉛ 温度警告.....	40、384	⑥㉒ Frame.io 画像転送状況.....	252

\*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

\*2 **表示設定 > 情報表示拡大モード (EVF/OVF)** を ON にすると、非表示になります。

\*3 **MENU/OK** ボタン長押しでボタンロックをしているときに表示されます。ロックを解除するときは **MENU/OK** ボタンを再度長押しします。

# LCD の表示画面



① クロップ倍率.....	186	③② ブーストモード.....	304
② Bluetooth ON/OFF		③③ 温度警告.....	40、384
③ ND フィルター.....	171	③④ 電子水準器.....	27
④ フォーカスチェック.....	89、155	③⑤ バッテリー残量表示.....	46
⑤ Bluetooth 接続先.....	240	③⑥ 給電状態.....	44
⑥ 被写界深度確認.....	74、88	③⑦ ISO 感度.....	91
⑦ コンバージョンレンズ.....	170	③⑧ ヒストグラム.....	26
⑧ デジタルテレコン.....	171	③⑨ 露出補正.....	95
⑨ 位置情報取得状態.....	240、308	④⑩ 距離指標バー*2.....	88
⑩ 画像転送状況.....	240、261	④① 絞り値.....	69、74、75
⑪ Frame.io 画像転送状況.....	252	④② タイムコード.....	207
⑫ 動画モード.....	60、182	④③ シャッタースピード.....	69、70、75
⑬ ハイスピード撮影.....	183	④④ TTL ロック.....	174、323
⑭ AF フレーム.....	82、97	④⑤ AE ロック.....	98、298
⑮ 動画の記録可能時間/ 記録経過時間.....	60	④⑥ 測光モード.....	93
⑯ 日付・時刻.....	47、49、271	④⑦ 撮影モード.....	68
⑰ 撮影可能枚数*1.....	385	④⑧ フォーカスモード*2.....	78
⑱ 画像サイズ.....	118	④⑨ 合焦マーク*2.....	79
⑲ ファイル形式.....	185	⑤⑩ マニュアルフォーカス*2.....	78、86
⑳ 画質モード.....	119	⑤① AF ロック.....	98、298
㉑ 画像記録 HEIF.....	121	⑤② マイク入力チャンネル	
㉒ 動画圧縮方式.....	185	⑤③ AF+MF*2.....	153
㉓ タッチパネルモード*3.....	30、158	⑤④ シャッター方式.....	168
㉔ AWB ロック.....	298	⑤⑤ 連写モード.....	103
㉕ ホワイトバランス.....	126	⑤⑥ マイクレベル*2.....	204
㉖ フィルムシミュレーション.....	122	⑤⑦ 露出インジケータ.....	75、95
㉗ F-Log/HLG 撮影.....	187	⑤⑧ セルフタイマー.....	163、184
㉘ ダイナミックレンジ.....	130	⑤⑨ Frame.io 接続状態.....	255
㉙ D レンジ優先.....	131	⑥⑩ フラッシュ (TTL モード).....	335
⑩⑩ ボタンロック*4.....	302	⑥① 調光補正.....	335
⑩⑪ 電子音 & フラッシュ.....	275	⑥② プレ防止*2.....	170

\*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

\*2  表示設定 > 情報表示拡大モード (LCD) を ON にすると、非表示になります。

\*3 タッチ操作で切り替えることができます。

\*4 MENU/OK ボタン長押しでボタンロックをしているときに表示されます。ロックを解除するときは MENU/OK ボタンを再度長押しします。

## EVF と LCD の切り替え

 **表示設定 > VIEW MODE 設定**でアイセンサー、EVF/OVF（ファインダー）、LCD（液晶モニター）の設定を切り替えます。撮影時と再生時でそれぞれ設定できます。

 **VIEW MODE 設定**を割り当てたファンクションボタンを押して EVF/OVF と LCD の表示を切り替えることもできます。

### 撮影時

設定	内容
 <b>アイセンサー</b>	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り替わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
<b>LCD ONLY</b>	液晶モニターにのみ表示します。
<b>VIEWFINDER ONLY</b>	ファインダーにのみ表示します。
<b>VIEWFINDER ONLY+</b> 	ファインダーに目を近づけたときだけアイセンサーの働きにより、ファインダーに自動的に表示されます。
 <b>アイセンサー+ LCD 撮影画像表示</b>	撮影時はファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、自動的にファインダー表示になり、撮影後に目を離すと液晶モニター表示で撮影画像を確認できます。セットアップメニューの <b>表示設定 &gt; 撮影画像表示</b> で設定された内容で液晶モニターに表示されます。動画撮影時は選択できません。

 セットアップメニューの **表示設定 > VIEW MODE 設定 > 撮影時**で **Q** ボタンを押すと、切り替わる項目を選べます。

**再生時**

設定	内容
 <b>アイセンサー</b>	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの動きにより、表示が自動的にファインダーに切り替わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
<b>LCD ONLY</b>	液晶モニターにのみ表示します。
<b>VIEWFINDER ONLY</b>	ファインダーにのみ表示します。

## EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整

屋外で使用するときは、太陽光などの影響によって画面が見えにくくなる場合があります。その場合は、**表示設定 > EVF 明るさ、EVF 鮮やかさ**でファインダー (EVF) の明るさや鮮やかさを調整し、**表示設定 > LCD 明るさ、LCD 鮮やかさ**で液晶モニター (LCD) の明るさや鮮やかさを調整します。

## 縦表示について

**表示設定 > 縦横自動回転表示**を **ON** にすると、カメラを縦向きで撮影するときにファインダー (EVF) または液晶モニター (LCD) の情報表示が縦向きになります。

## 情報表示の切り替え

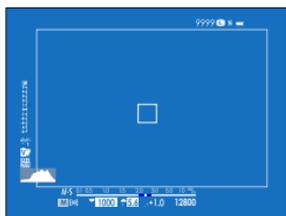
撮影モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに  
表示が切り替わります。



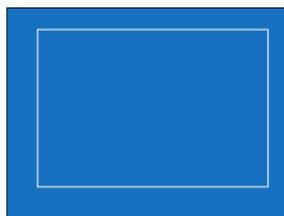
 EVF と LCD は、それぞれ個別に表示の切り替えを行ってください。EVF の表示を切り替えるときは、ファインダーを覗きながら **DISP/BACK** ボタンを押してください。

## ファインダー (OVF)

スタンダード



情報表示なし



## ファインダー（EVF）

スタンダード



情報表示なし

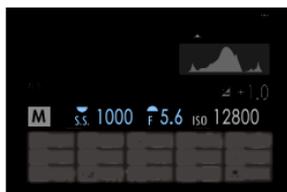


## 液晶モニター（LCD）

スタンダード



情報表示なし



INFO 画面（静止画撮影時のみ）

## 画面の表示について

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目は、**表示設定 > 画面のカスタマイズ**で選択できます。

**1** セットアップメニューから **表示設定 > 画面のカスタマイズ**を選びます。

**2** **OVF** または **EVF/LCD** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

**3** 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

画面に表示する項目には、 が表示されます。 が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

- フレーミングガイド
- AF フレーム
- 合焦マーク
- AF 時の距離指標
- MF 時の距離指標
- ヒストグラム
- ライブビューハイライト警告
- 撮影モード
- 絞り / シャッター速度 / ISO
- 情報表示背景
- 露出補正表示
- 露出補正ゲージ
- フォーカスモード
- 測光
- シャッター方式
- フラッシュ
- 連写モード
- ブレ防止
- タッチパネルモード
- ホワイトバランス
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- ブーストモード
- 撮影可能枚数
- 画像サイズ & 画質モード
- 動画モード & 録画時間
- デジタルテレコン
-   コンバージョンレンズ
- 通信状況
- マイクレベル
- ガイダンスメッセージ
- 記録メディア無し時ガイダンス
- 日時表示
- バッテリー残量表示
- 画面枠

**4** 各項目を設定し、**DISP/BACK** ボタンを押します。

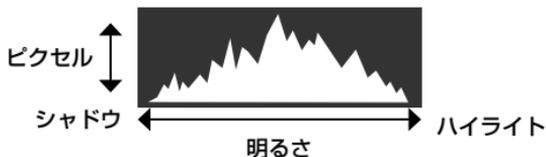
設定が保存されます。

## 画面枠について

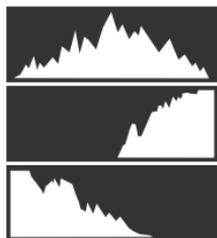
背景が黒いときなど、撮影範囲がわかりにくいときに画面枠をオンにすると、撮影画面内の縁に枠が表示されます。

## ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表示したものです。被写体によってグラフ形状は異なります。

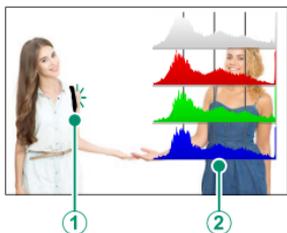


- **適正露出の場合**：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。
- **露出オーバーの場合**：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。
- **露出アンダーの場合**：シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



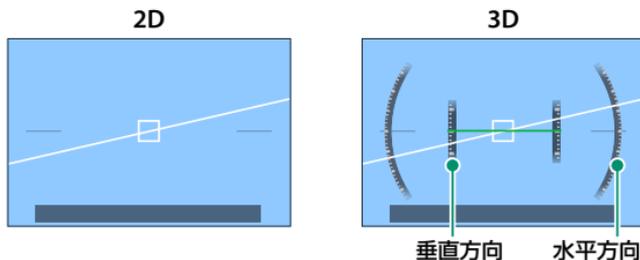
ヒストグラムを割り当てたファンクションボタンを押すと、RGBヒストグラムとライブビューハイライト警告表示（高輝度部分が点滅）になります（[p.294](#)、[p.319](#)）。

- ① 高輝度部分が点滅
- ② RGBヒストグラム表示



## 電子水準器について

カメラの傾きを表示します。**表示設定 > 電子水準器設定**で表示の設定を切り替えることができます。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときに使用します。



- **OFF の場合**：電子水準器を表示しません。
- **2D の場合**：水平方向の傾きを白い線で表示します。カメラが水平になると、線が緑色で表示されます。カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。
- **3D の場合**：水平方向と垂直方向の傾きを表示します。

**電子水準器切替**を割り当てたファンクションボタンを押して、2D 表示と 3D 表示を切り替えることができます。

# メニューの使い方

MENU/OK ボタンを押すと、メニューが表示されます。



## メニュー画面について

メニュー画面は静止画撮影時/動画撮影時/再生時によって表示が異なります。

### 静止画撮影時

ドライブメニューで**動画**以外を選んでいるときは、静止画撮影メニューが表示されます。



### 動画撮影時

ドライブメニューで**動画**を選んでいるときは、動画撮影メニューが表示されます。



### 画像再生時

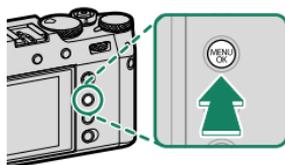
画像再生時は再生メニューが表示されます。



## メニュータブへの移動

使用するメニュータブへの移動は以下の手順で行います。

- 1 MENU/OK ボタンを押して、メニューを表示します。**



- 2 フォーカスレバーを左に動かしてタブ選択に移ります。**



- 3 フォーカスレバーで使用する項目のメニュータブを選びます。**

- 4 フォーカスレバーを右に動かしてメニューに戻ります。**

 メニュー画面表示中は、フロントコマンドダイヤルでタブ、ページの切り替え、リアコマンドダイヤルで項目の選択ができます。

## タッチ操作について

このカメラでは、液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用できます。

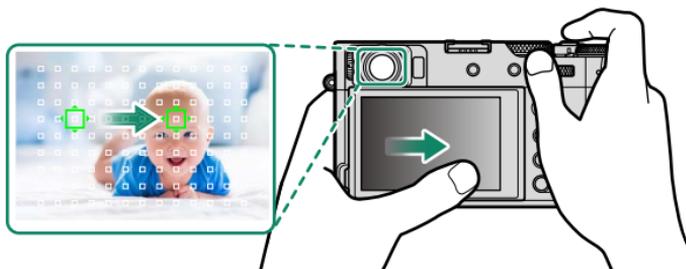
### 撮影時のタッチ操作について

タッチパネルを使用するときは、**操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル設定**を ON にします。



### EVF 使用時のタッチ操作

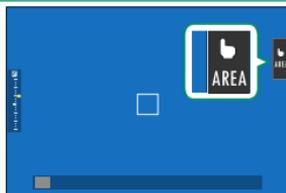
ファインダー（EVF）を使用しているときに液晶パネル（LCD）をタッチパネルとして使用して、フォーカスエリアを変更できます。**操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > EVF/OVF タッチパネル有効範囲**で動作範囲を設定できます。



- **AF** フォーカス設定 > **顔検出 / 瞳 AF** 設定が**顔検出 ON** のときは、ピントを合わせる顔を選べます。
- **AF** フォーカス設定 > **被写体検出 AF** 設定が**被写体検出 ON** のときは、ピントを合わせる被写体を選べます。

## LCD 使用時のタッチ操作

撮影画面のタッチパネルモードアイコンをタッチすることにより、タッチ操作を変更できます。LCD 使用時は次のタッチ操作が行えます。



タッチパネルモード	意味
 ショット	シャッターボタンを押す代わりに、ピントを合わせたいところの画面をタッチして撮影します。連写撮影では、画面を押し続けている間、連続撮影します。
 AF  AF OFF	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォーカスモードが <b>S</b> (AF-S) のときは、タッチした場所にピントを合わせ、AF ロックします。AF ロックを解除するには、<b>AF OFF</b> アイコンをタッチします。</li> <li>フォーカスモードが <b>C</b> (AF-C) のときは、タッチした被写体にピントを合わせ続けます。ピント合わせの動作を解除するには、<b>AF OFF</b> アイコンをタッチします。</li> <li>フォーカスモードが <b>M</b> (MF) のときは、ワンプッシュ AF の動作になり、タッチした場所にピントを合わせます。</li> </ul>
 エリア選択	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
 OFF	タッチパネルモードを無効にします。

- ⚠ タッチパネルの動作は AF モードによって異なります。
- 📖 ピント位置拡大中は、タッチパネルの動作が異なります (📖 159)。

- 🔧 **操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル設定が OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。
- 🔧 **フォーカス設定 > タッチパネルモード** でもタッチ操作を切り替えることができます。動画撮影時のタッチ操作については、「動画撮影時のタッチ操作 (📖 タッチパネルモード: 📖 202)」をご覧ください。

## 動画専用操作モード

撮影メニューの  動画設定 > 動画専用操作モード  を ON にするか、撮影画面の動画専用モードボタンを押すと、コマンドダイヤルとタッチ操作で次の撮影時の設定を変更できます。動画撮影時に、静止画撮影とは別に露出を設定したい場合や、カメラの操作音を記録したくないときに便利です。



動画専用モードボタン

- シャッタースピード
- 絞り
- 露出補正
-  感度
- 内蔵マイクレベル設定 / 外部マイクレベル設定
- 風音低減
- ヘッドホン音量
-  フィルム シミュレーション
-  ホワイトバランス
-  ブレ防止モード
-  ブレ防止モードブースト

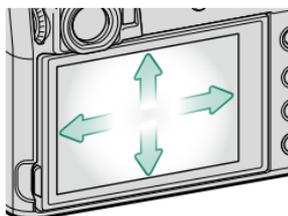


- 動画専用操作モードをオンにすると、シャッタースピードダイヤル、感度ダイヤル、露出補正ダイヤル、絞りリングの操作は無効になります。
- 動画専用操作モードのときに動画専用モードボタンを押すと、撮影の設定を変更したり、動画専用操作モードをオフにしたりすることができます。
- **外部マイクレベル設定**は外部マイク接続時のみ設定できます。

## タッチファンクション

このカメラでは、画面を左右上下にフリックすることで、ファンクションボタンと同様に機能呼び出すことができます（ 324）。

- **T-Fn1**（画面を上フリック）
- **T-Fn2**（画面を左フリック）
- **T-Fn3**（画面を右フリック）
- **T-Fn4**（画面を下フリック）



- 割り当てた機能によっては、設定画面を表示後、項目の設定をタッチ操作で行えます。



- タッチファンクションは工場出荷時の設定ではオフになっています。タッチファンクションを使用する場合は、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 >  タッチファンクションを ON にしてください。**

## 再生時のタッチ操作について

☑ 操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > ▶ タッチパネル設定が ON のときは、1 コマ再生時に以下のタッチ操作ができます。

### スワイプ



画面上を指で掃くように動かすと、前後の画像を表示できます。

### ダブルタップ



画面を2回タッチすると、ピントを合わせた位置を拡大表示できます。

### マルチタッチ (ピンチアウト)



画面上に2本の指を置き、指の間隔を広げるように動かし、画像を拡大表示できます。

### ドラッグ



拡大表示中に、表示される画像の範囲を移動できます。

### マルチタッチ (ピンチイン)



画面上に2本の指を置き、指の間隔を狭めるように動かし、画像を縮小表示できます。

📄 元の表示画像より縮小した画像は表示できません。

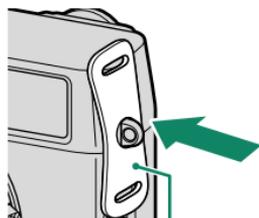
## 撮影の準備

# 2

## ストラップを取り付ける

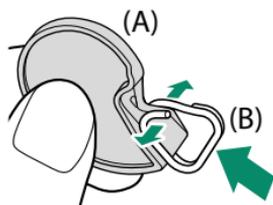
カメラにストラップを取り付ける前に、ストラップリングをカメラに取り付けます。

- 1 ストラップリングカバーの黒い面をカメラに向け、カメラに取り付けます。

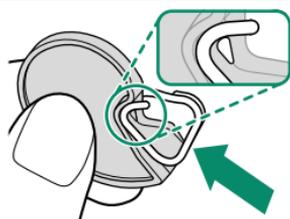


ストラップリングカバー

- 2 ストラップリング取り付け補助具 (A) を使ってストラップリング (B) の切りこみを広げます。



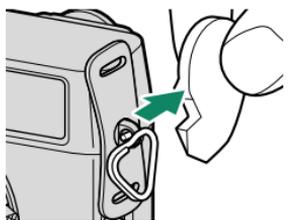
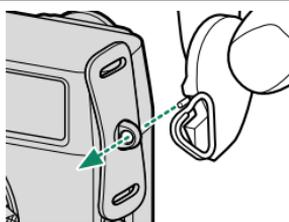
- 3 ストラップリングがストラップリング取り付け補助具の形状に収まる（突起に引っ掛かる）までしっかり押し込みます。



- 4 ストラップリングの切りこみをストラップ取り付け部に引っ掛けて、ストラップリング取り付け補助具を抜き取ります。



ストラップリング取り付け補助具は、カメラからストラップリングを取り外すときも使用しますので、大切に保管してください。



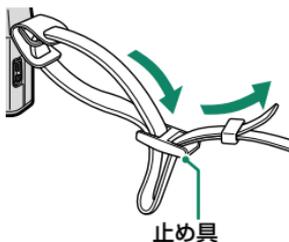
- 5 ストラップリングを回転させ、カチッと音がするまで完全に通します。



- 6 ストラップをストラップリングカバーとストラップリングに通し、ストラップを止め具に通します。



ストラップの取り付け方を間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。



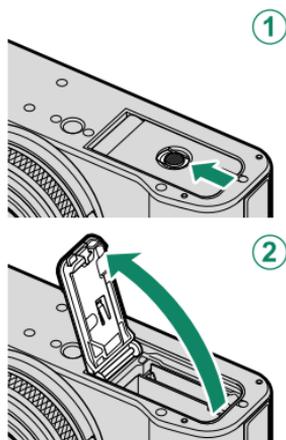
反対側も同様の手順を繰り返して取り付けます。

# バッテリーとメモリーカードを入れる

カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。

## 1 バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。

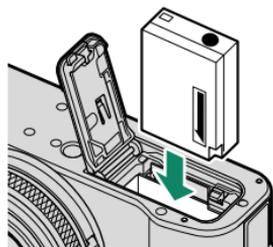
- ❗ カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーを抜かないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。



## 2 バッテリーを入れます。

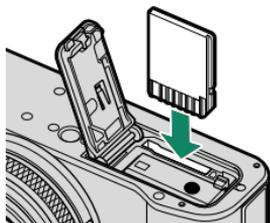
図のようにバッテリーを入れます。

- ❗ バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
- バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。



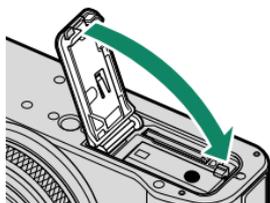
### 3 メモリーカードを入れます。

- ❗ メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
- 「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。



### 4 バッテリーカバーを閉めます。

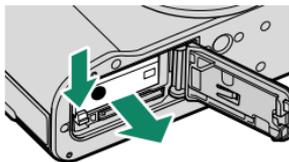
- ❗ バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。



- ❗ カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。

### バッテリーを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。



**!** 高温環境下で使用するとバッテリーが熱くなっている場合があります。取り出すときは注意してください。

### メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を離すと、ロックが外れて取り出せます。



- !**
- メモリーカードを取り出すときは、カードの中央を押してください。
  - メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に離すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに離してください。
  - 画面に **!** が表示されたときは、メモリーカードが熱くなっていることがあります。しばらくたってからメモリーカードを取り出してください。

## 使用可能なメモリーカード

- このカメラは、SD/SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。
- このカメラでは、UHS-I のメモリーカードに対応しています。
- 動画を撮影するときは、UHS スピードクラス 3 またはビデオスピードクラス V30 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/> を参照してください。

**!** ● メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。

- メモリーカードにデータを記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。



- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラでメモリーカードをフォーマットすると、初回撮影時に画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パーソナルコンピューターやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。

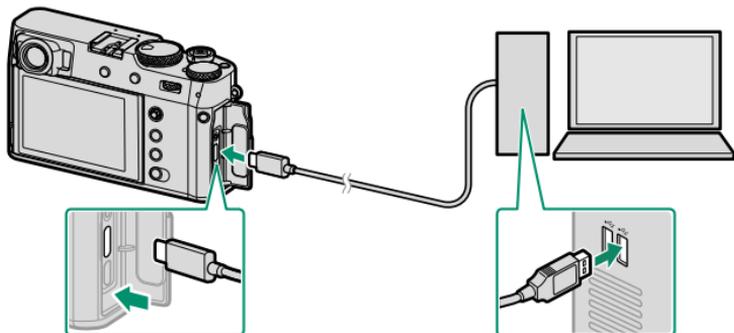
## バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください。



- このカメラに付属されているバッテリーは NP-W126S です。
- 充電する前に、カメラの電源をオフにしてください。

- このカメラは、USB 充電に対応しています。パーソナルコンピューターメーカーが動作保証する OS および USB インターフェイスで使用できます。



充電するときは、パーソナルコンピューターの電源をオンにしてください。



- カメラの電源がオンのときは充電できません。
- 付属の USB ケーブルを接続します。
- USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパーソナルコンピューターを接続してください。
- 充電中にパーソナルコンピューターが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パーソナルコンピューターの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USB ケーブルを接続しなおしてください。
- パーソナルコンピューターの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。
- 充電時間の目安は約 5 時間です（入力 5V/500mA の場合）。

- コンセントから充電したい場合は、別売のバッテリーチャージャー BC-W126S をご使用ください。

### 充電状態の表示

インジケータランプでバッテリーの充電状態を示します。



インジケータランプ	バッテリーの状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	充電異常

- ❗ 付属の USB ケーブルは、他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前(1～2日前)には、バッテリーを充電してください。
- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時および高温時は充電時間が長くなることがあります。
- ネットワーク / USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定** > **Bluetooth ON/OFF** が **ON** のときはバッテリーの持続時間が短くなります。

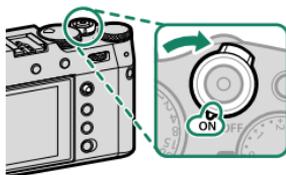
- 🔌 充電中にカメラの電源をオンにすると充電は中断され、給電になります。給電中はバッテリーが少しずつ消費されます (📖 268)。
- 画面に給電状態アイコンが表示されます。



## 電源をオンにする / オフにする

カメラの電源をオンにします。

電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。



**!** レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

- 📷** 撮影中に **PLAY** ボタンを押すと、再生モードになります。
  - 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
  - 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。
- 🔋消費電力設定 > 自動電源 OFF** では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンを半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。

## バッテリー残量の表示

画面の表示で、バッテリー残量を確認できます。

画面に表示されるバッテリー残量表示の目盛でバッテリー残量を表します。



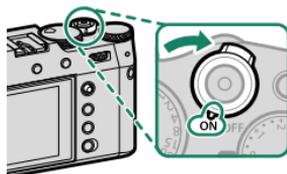
表示	意味
	バッテリーの残量は十分にあります。
	バッテリーの残量は約 80%です。
	バッテリーの残量は約 60%です。
	バッテリーの残量は約 40%です。
	バッテリーの残量は約 20%です。
 (赤点灯)	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

## 初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにすると、言語や日時を初期設定として設定できます。以下の手順で初期設定を行ってください。

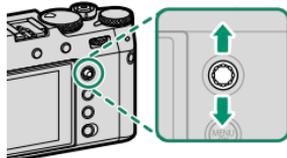
### 1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



### 2 言語を設定します。

フォーカスレバーで使用する言語を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



### 3 地域の設定画面が表示されます。

フォーカスレバーでお住まいの地域とサマータイムの設定をしてから**設定完了**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



地域を設定しないときは **DISP/BACK** ボタンを押して設定をスキップしてください。

## 4 日時を設定します。

**MENU/OK** ボタンを押すと、次の画面に進みます。



## 5 スマートフォンアプリケーションに関する画面が表示されます。

- 画面に表示される QR コードをスマートフォンで読み取ると、スマートフォンアプリケーションをダウンロードできます。
- **MENU/OK** ボタンを押すと、次の画面に進みます。



スマートフォンアプリケーションを使用すると、撮影画像の転送やカメラの操作をワイヤレスで行うことができます ( 240 )。

## 6 メモリーカードをフォーマット（初期化）します ( 270 )。



未使用のメモリーカードや、パーソナルコンピューターやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。



バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

### 設定のスキップ

スキップした設定は、次にカメラを起動したときに再度、設定画面を表示させるかどうかを選べます。次回起動時に設定画面を表示させたくない場合は確認画面で**表示しない**を選んでください。

## 言語を変更する

言語を変更するときは、以下の手順で変更します。

- 1  **基本設定** >  **言語/LANG.** を選びます。
- 2 言語を設定します。  
フォーカスレバーで使用する言語を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。  
設定した言語表示になります。

## 日時を変更する

日時設定を変更するときは、以下の手順で変更します。

- 1  **基本設定** > **日時設定** を選びます。
- 2 日時を設定します。  
フォーカスレバーの左右で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。  
日時が設定されます。



## 基本的な撮影と再生

# 3

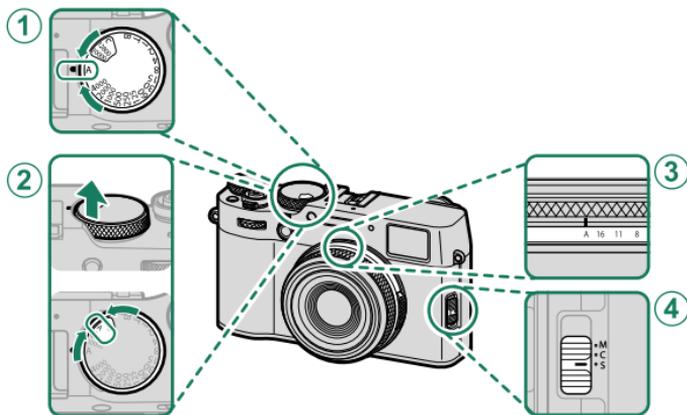
## プログラムで静止画を撮影する

ここでは、プログラム（P）モードによる撮影の基本的な流れを説明します。その他のモードの撮影方法は「P、S、A、Mで撮影する」をご覧ください（[目次](#) 68）。

- 1 **DRIVE/DELETE** ボタンを押してドライブメニューを表示させ、1コマ撮影を選びます。

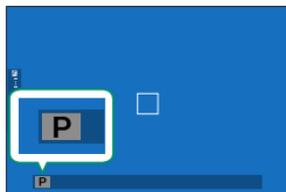


- 2 カメラの設定をプログラム（P）撮影の設定にします。



	設定	
① シャッタースピード	A (オート)	68
② ISO 感度	A (オート)	91
③ 絞り設定	A (オート)	68
④ フォーカスモード	S (AF-S)	78

- 3** 撮影画面に P が表示されていることを確認します。



- 4** カメラを構えます。

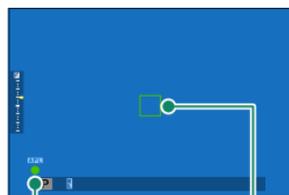
- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズや AF 補助光ランプに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



- 5** 構図を決めます。

 OVF 使用時は撮影される範囲をブライトフレームで確認できます。

- 6 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントと露出を合わせます。



合焦マーク  
フォーカスフレーム

- **ピントが合うと**、フォーカスフレームが緑色に点灯し、合焦マークが緑色に点灯します。
- **ピントが合わないときは**、フォーカスフレームが赤色に変わり、**!AF**が画面に表示され、合焦マークが白色に点滅します。



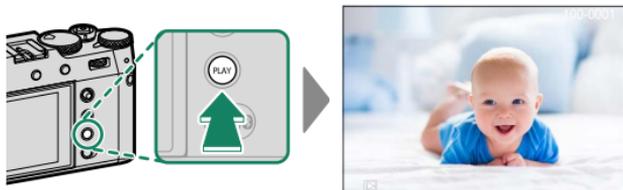
- 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光が発光する場合があります。
- シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。
- レンズのマクロ領域から標準撮影距離範囲の全領域で、ピントが合います。

- 7 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

## 静止画を再生する

撮影した画像を再生します。

**PLAY** ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。



1つ前の画像を見るにはフォーカスレバーを左に動かします。次の画像を見るにはフォーカスレバーを右に動かします。フォーカスレバーを動かしたままにすると、早送りします。



- フロントコマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できます。
- 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに  (プレゼントアイコン) が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりする場合があります。

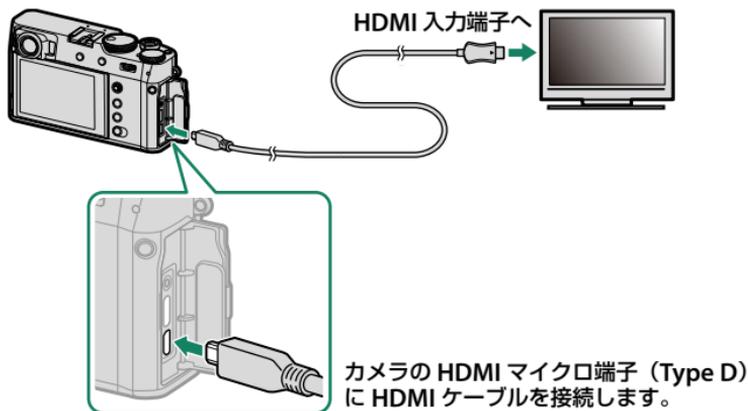
## HDMI 出力

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続して撮影画面や再生画面を出力できます。

### HDMI 機器との接続

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続します。

- 1 カメラの電源をオフにします。
- 2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。



- 3 テレビの入力を HDMI 入力に切り替えます。  
テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。
- 4 カメラの電源をオンにします。  
テレビの画面に液晶モニターの内容が表示されます。再生モードではカメラに表示されません ( 57)。

- ❗ ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- USB ケーブルと HDMI ケーブルは同時に接続できません。
- HDMI ケーブルは、長さが 1.5m 以内のものをご使用ください。

## 撮影画面の出力

ライブビューや動画をテレビに表示したり、HDMI 入力で録画できる外部レコーダーに保存したりできます。

## 再生画面の出力

撮影した静止画や動画をテレビなどに表示できます。カメラの電源をオンにして **PLAY** ボタンを押すと、カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。



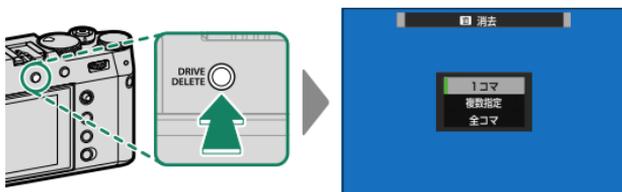
- HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
- テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。
- 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。
- ヘッドホンを使用する場合は、別途変換ケーブルが必要です (P.390)。

## 画像を消去する

1 コマ再生時に **DRIVE/DELETE** ボタンを押すと、画像を消去できます。

**!** 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパーソナルコンピュータにコピーしておいてください。

**1** 1 コマ再生中に **DRIVE/DELETE** ボタンを押して、1 コマを選びます。



**2** 消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

- **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

- 📄** プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (📖 224)。
- **🔄再生メニュー** > **消去**でも、画像を消去できます。複数指定 / 全コマ消去による消去方法は **🔄再生メニュー** > **消去**をご覧ください (📖 220)。

# 4 動画の撮影と再生

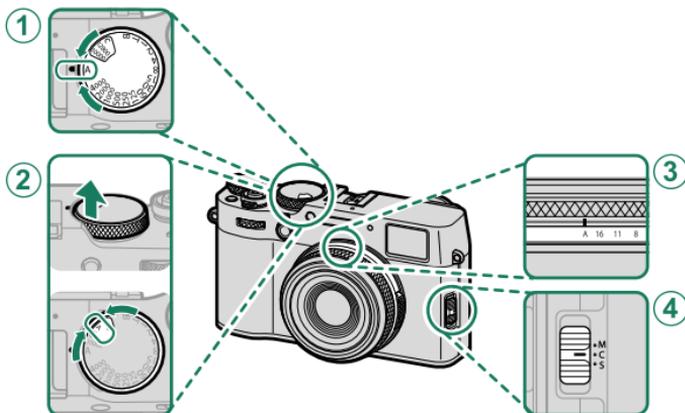
## 動画を撮影する

ここでは、オートモードの動画を撮影する流れを説明します。

- 1 **DRIVE/DELETE** ボタンを押してドライブメニューを表示させ、動画を選びます。



- 2 カメラの設定をプログラム (P) 撮影の設定にします。

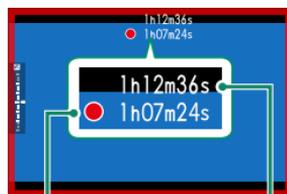


	設定	
① シャッタースピード	A (オート)	68
② ISO 感度	A (オート)	91
③ 絞り設定	A (オート)	68
④ フォーカスモード	C (AF-C)	78

### 3 シャッターボタンを全押しします。

動画撮影が開始されます。

- 撮影中は、●が表示されます。
- 動画撮影中は画面の外周が赤色で、ハイスピード撮影中は緑色で表示されます。
- 動画撮影の残り時間（カウントダウン）と撮影時間（カウントアップ）が表示されます。



動画撮影の撮影時間

動画撮影の残り時間

### 4 もう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

- ❗ 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようにご注意ください。
- 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
- 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。



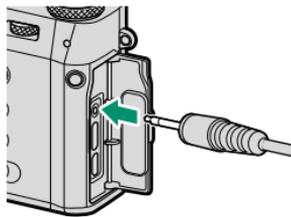
- 以下の点に気を付けることで、より長く撮影することができます。
  - できるだけ直射日光を避ける
  - 使用しないときはこまめに電源を切る
- 動画の記録中は背面のインジケータランプが点灯します。**動画設定 > タリーランプ**で、点灯するランプ（インジケータランプまたは AF 補助光ランプ）の切り替えや点灯または点滅の設定を変更できます。動画撮影中に露出補正を変更できますが、補正段数は±2の範囲となります。
- **動画設定 > REC 枠表示**を **OFF** に設定すると画面の外周の色表示をオフにできます。
- 動画撮影中も以下の操作が行えます。
  - 感度の変更
  - 次の操作による AF のやり直し
    - シャッターボタンの半押し
    - ファンクションボタンに **AF-ON** が割り当てられているボタンの操作
    - タッチパネル操作
  - **ヒストグラム**や**電子水準器切替**を割り当てたファンクションボタンを押して、ヒストグラムや水準器を表示
- 撮影モードや撮影の設定によっては、動画撮影できない場合や設定が反映された動画が撮影されない場合があります。
- 動画撮影時にフォーカスエリアを変更するには、**フォーカス設定 > フォーカスエリア選択**を選んでから、フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルを操作します（82）。

### 温度保護機能について

カメラやバッテリーの温度が上昇すると、カメラを保護するために自動的に電源がオフになる場合があります。温度警告が表示された場合は、画像にノイズが多くなる可能性があります。一度、電源をオフにし、しばらくたってからご使用ください。

### 外部マイクについて

このカメラでは、外部マイクを使用できます。外部マイクはプラグインパワーを必要としない  $\phi 2.5\text{mm}$  ピンで取り付けるものをご使用ください。詳しくはステレオマイクの使用説明書をご覧ください。



## 動画の設定について

動画の設定は静止画撮影メニューの **動画設定** または動画撮影メニューで変更できます (図 28)。

- 静止画撮影メニューの **動画設定** では、**動画リリース** を割り当てたファンクションボタンを押して動画を撮影するときの簡単な設定ができます (図 177)。
- 動画撮影メニューでは、ドライブメニューで **動画** を選んでからシャッターボタンを押して撮影するときの設定ができます (図 181)。
- **動画モード** で動画サイズやフレームレートなどを変更できます。
- **メディア記録設定** でファイル形式やビットレート、動画の記録先などを変更できます。
- 動画撮影時のピント合わせの方法はフォーカスモード切換スイッチで設定します。フォーカスモードを **S** にしても、**フォーカス設定** > **顔検出 / 瞳 AF 設定** が **顔検出 ON** または **被写体検出 AF 設定** が **被写体検出 ON** のときは、自動的に **C** になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、**顔検出 ON** や **被写体検出 ON** にしても顔検出や被写体検出は行われません。

**!** 静止画撮影メニューの **動画設定** は動画撮影メニューの設定と共通です。片方の設定を変更すると、もう片方の設定も自動的に変更されます。

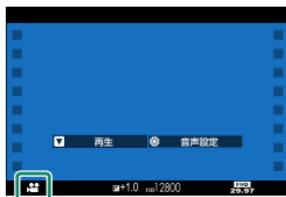
### 背景ボケを生かした動画について

絞りをできるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。絞りを **A** 以外に設定し、絞り値を調整します。

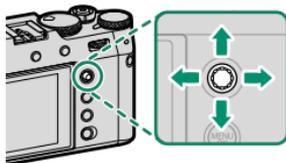
## 動画を再生する

撮影した動画をカメラで再生します。

**PLAY** ボタンを押して画像が再生されているときに動画を選択すると、が表示されます。動画を選択してからフォーカスレバーを下に押し、動画を再生できます。



動画再生時の操作は、フォーカスレバーで行います。



	1 コマ再生中	▶ 再生中	⏸ 一時停止中
上	情報表示の切り替え	停止	
下	再生	一時停止	再生
左右	前後の画像に移動	再生速度	コマ送り

動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。



❗ スピーカーを指などでふさがないようにください。音が聞き取りにくくなります。



- 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。フォーカスレバーで動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、**音設定 > 再生音量**でも設定できます。
- ヘッドホンなどで音を聞く場合は USB 端子を使用します。アナログ音声出力に対応した市販の変換ケーブルで USB 端子から変換する必要があります。
- カメラとテレビを HDMI ケーブルで接続してから **PLAY** ボタンを押すと、撮影した動画をカメラのかわりにテレビで見ることができます ( 56)。

### 動画の再生速度について

フォーカスレバーの左右で、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの ▶ (◀) の数で表示されます。▶ (◀) の数が多いほど速度が速くなります。



再生アイコン

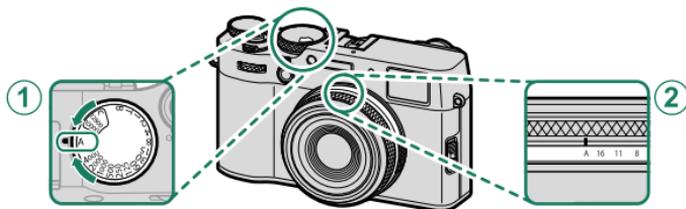
# 5 撮影に関する設定

## P、S、A、Mで撮影する

シャッタースピードと絞り値の設定を変更してP、S、A、Mで撮影します。

### プログラム (P) 撮影

カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。



#### 設定

①	シャッタースピード	A (オート)
②	絞り設定	A (オート)

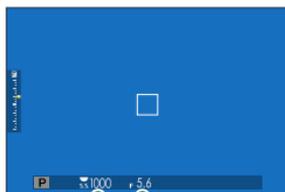
表示画面に **P** が表示されます。



**!** 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「---」と表示されます。

## プログラムシフトの設定

リアコマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせをえることができます。



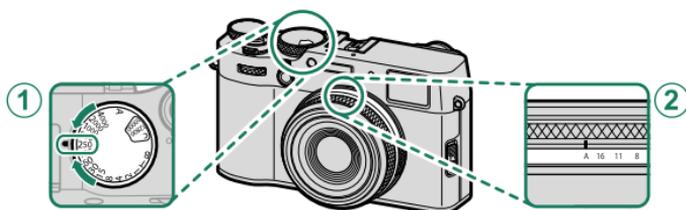
絞り値  
シャッタースピード

- ❗ 次のとき、プログラムシフトは使用できません。
- TTL 自動調光機能付き外部フラッシュを使用しているとき
  - **画質設定** > **ダイナミックレンジ**が **AUTO** のとき
  - 動画を撮影しているとき

🔌 電源をオフにすると、設定したプログラムシフトは解除されます。

## シャッタースピード優先 (S) 撮影

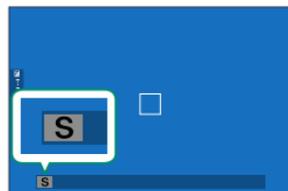
設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。



### 設定

①	シャッタースピード	任意 (自分で設定)
②	絞り設定	A (オート)

表示画面に **S** が表示されます。



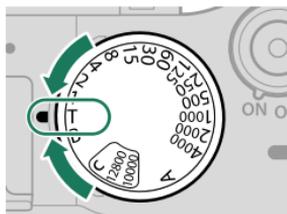
- ❗ 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「—」と表示されます。

- 🔧 リアコマンドダイヤルでシャッタースピードを  $1/3$  段きざみで微調整できます。
- シャッターボタンを半押ししている間もシャッタースピードを変更できます。
- シャッタースピードを 1 秒以上に設定したときは、撮影中にカウントダウンで残りの露光時間が表示されます。
- 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**10 画質設定 > 長秒時ノイズ低減** を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。
- 長時間露光撮影中にカメラが動くとピントがずれるので、三脚のご使用をおすすめします。

## タイム撮影 (T)

シャッタースピードを **T** に設定すると、タイム撮影ができます。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

- 1** シャッタースピードを **T** に設定します。



- 2** リアコマンドダイヤルで露光時間を設定します。



- 3** シャッターボタンを全押しすると、設定した時間シャッターが開きます。

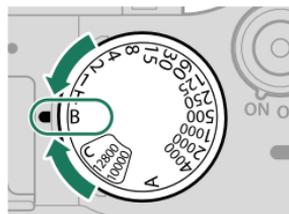
露光時間を 1 秒以上に設定したときは、撮影中にカウントダウンで残りの露光時間が表示されます。

-  長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定 > 長秒時ノイズ低減** を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

## バルブ撮影 (B)

シャッタースピードを **B** に設定すると、バルブ撮影ができます。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

### 1 シャッタースピードを **B** に設定します。



### 2 シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開きます。

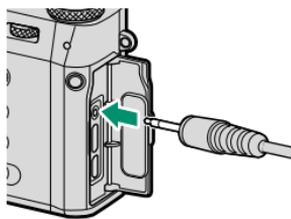
- シャッターが開くのは、最大 60 分間です。
- 撮影中は、経過時間が表示されます。



- 絞りを **A** (オート) に設定している場合は、シャッタースピードは 30 秒に固定されます。
- 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定 > 長秒時ノイズ低減** を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

## リモートレリーズを使用する

長時間露光撮影時には、リモートレリーズが便利です。マイク/リモートレリーズ端子に、別売のリモートレリーズ RR-100 や市販の電子式リモートレリーズを取り付けます。

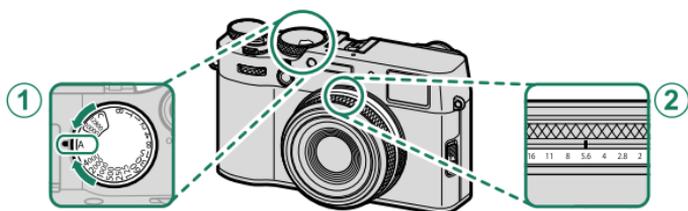


-  マイク/リモートレリーズ端子にリモートレリーズを取り付けると、設定確認の画面が表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、**マイク/リモートレリーズ設定**を  **リモートレリーズ**に設定してください。

マイク/リモートレリーズの  
設定を確認してください  
**OK** 決定 **BACK** スキップ

## 絞り優先 (A) 撮影

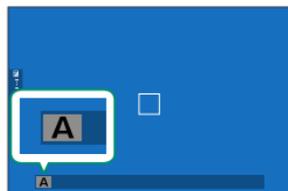
設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。



### 設定

①	シャッタースピード	A (オート)
②	絞り設定	任意 (自分で設定)

表示画面に **A** が表示されます。

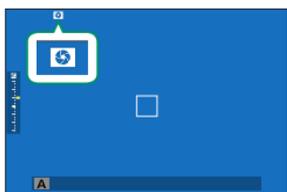


- ❗ 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「---」と表示されます。

📁 シャッターボタンを半押ししている間も絞りを変更できます。

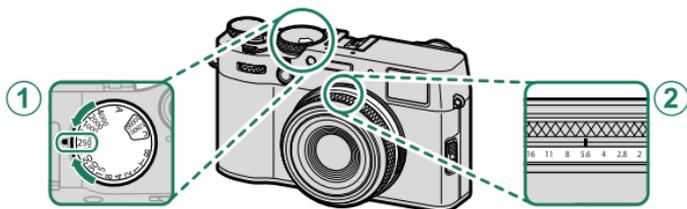
### 被写界深度を確認するには

被写界深度を確認するには、ファンクションボタンに**被写界深度確認**を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、**S**が表示され、そのときの絞り値の被写界深度がスルー画で確認できます。



## マニュアル (M) 撮影

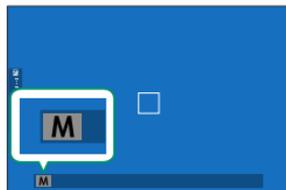
マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値を撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。マニュアルで撮影するには、露出インジケータを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。



### 設定

①	シャッタースピード	任意（自分で設定）
②	絞り設定	任意（自分で設定）

表示画面に **M** が表示されます。



 リアコマンドダイヤルでシャッタースピードを  $1/3$  段きざみで微調整できます。

## 露出設定プレビューについて

**表示設定 > マニュアル時モニター露出 / WB 反映**が**露出反映 / WB 反映**のときは、露出を反映した画像が画面に表示されます。

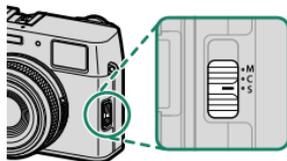


**フラッシュ撮影**など、撮影時に露出が変わる場合は、**マニュアル時モニター露出 / WB 反映**を**露出反映 / WB 反映**以外にしてください。

## オートフォーカス撮影

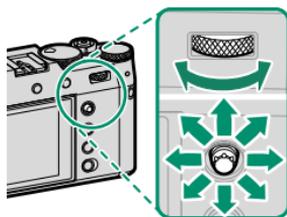
ここでは、カメラが自動的にピントを合わせて撮影するときの設定について説明しています。

- 1 フォーカスモード切換スイッチを **S** または **C** に設定します ( 82 )。



- 2 AF モードを選びます ( 80 )。

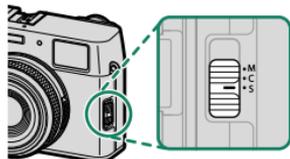
- 3 フォーカスエリアの位置やサイズを変更します ( 82 )。



- 4 撮影します。

## フォーカスモード

フォーカスモードは、フォーカスモード切換スイッチで設定します。



### フォーカスモードの種類

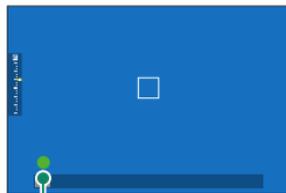
フォーカスモード	内容
<b>S</b> (AF-S)	シングル AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが一度だけ自動的にピントを合わせます。スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。
<b>C</b> (AF-C)	コンティニュアス AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが常にピントを合わせ続けます。動きのある被写体の撮影に適しています。
<b>M</b> (マニュアルフォーカス)	意図した場所にピントを手動で合わせます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します (86)。

 フォーカスモードが **S** または **C** のときは、**フォーカス設定 > プリ AF** を **ON** にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも常にピントを合わせ続けます。

## 合焦マークについて

合焦マークでピントの状況を確認できます。

合焦マーク	状況
( )	ピントが合うところを探しています。
● (緑点灯)	<b>S</b> のときにピントが合って固定されています。
(●) (緑点灯)	<b>C</b> のときにピントが合っています。被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。
○ (白点滅)	ピントが合っていません。
<b>MF</b>	<b>M</b> のときに表示されます。



合焦マーク

## AF モードの選択

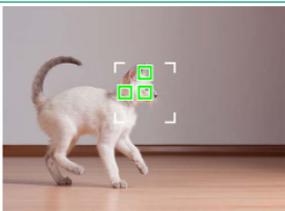
フォーカスモードと AF モードの組み合わせで、さまざまな撮影シーンに応じたフォーカス設定を選択できます。

### AF モードの設定方法

- 1 MENU/OK ボタンを押して、撮影メニューを表示します。
- 2  フォーカス設定 > AF モードを選びます。
- 3 設定する AF モードを選びます。

### AF モードの種類

- フォーカスモードが S (AF-S) のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	被写体を 1 点のスポットで捉えるモードで、基本的な AF モードです。フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせます。	
 ゾーン	シングルポイントでは捉えにくい、やや動きのある被写体やスナップなどに向くモードです。フォーカスエリア選択で設定したゾーンにピントを合わせます。	
 ワイド	画面内にあるコントラストが高い被写体に自動でピントを合わせるモードです。ピントの合った位置に AF エリアが表示されます。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (p.82、84)、  フォーカス設定 > AF モードオール設定で設定したフォーカスエリアを選択できます。	

## ● フォーカスモードが C (AF-C) のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	<p>前後直線的な動きをスポットで捉えるモードです。フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせ続けます。</p>	
 ゾーン	<p>ある程度予測可能な動きに向けた AF モードです。フォーカスエリア選択で設定したゾーンに常にピントを合わせ続けます。</p>	
 トラッキング	<p>画面内を広く動く被写体に向くモードです。被写体の移動に合わせて全フォーカスエリア内をカメラが自動で追尾します。</p>	
 オール	<p>フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (82、84)、 <b>フォーカス設定</b> &gt; <b>AF モード</b> <b>オール設定</b> で設定したフォーカスエリアを選択できます。</p>	

## フォーカスエリアの変更

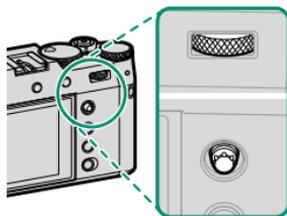
フォーカスモードが**S**または**C**のときのフォーカスエリアを変更できます。

### フォーカスエリアの変更方法

- 1 MENU/OK ボタンを押して、撮影メニューを表示します。
  - 2  フォーカス設定 > フォーカスエリア選択を選び、フォーカスエリア選択画面を表示します。
  - 3 フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルでフォーカスエリアを変更します。
-  タッチ操作によるフォーカスエリアの変更は「撮影時のタッチ操作について」をご覧ください (p.30)。

## フォーカスエリアの操作

フォーカスエリアの移動はフォーカスレバーで、サイズ変更はリアコマンドダイヤルでそれぞれ操作します。**AFモード**の設定によって操作が異なります。



AFモード	フォーカスレバー		リアコマンドダイヤル	
				
	8方向移動	中央押し	回す	中央押し
	移動した方向にフォーカスエリアが移動	フォーカスエリアが中央に戻る	サイズ変更 (6段階)	100%に戻る
				
			なし	

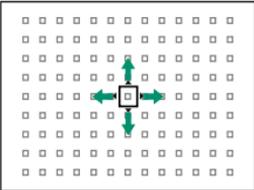
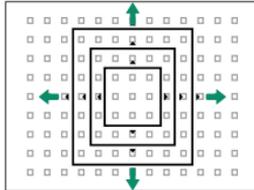
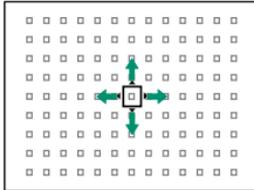
-  **ワイド/トラッキング**のフォーカスエリアは、フォーカスモードが**C**のときのみ有効です。
- DISP/BACK** ボタンを押してフォーカスエリアを中央に戻すこともできます。

## フォーカスエリアの選択画面

フォーカスエリアの選択画面は AF モードの設定によって異なります。



- 小さな四角 (□) ひとつがフォーカスエリアポイントで、枠で囲んだエリアがフォーカスエリアです。
- ゾーンカスタム 1、ゾーンカスタム 2、ゾーンカスタム 3 は  フォーカス設定 > ゾーンカスタム設定 で設定できます。

		
		
<p> フォーカス設定 &gt; フォーカス点数切り替えでフォーカスエリアポイントの点数を 117 と 425 から選べます。</p>	<p>117 のフォーカスエリアポイントを 3×3、5×5、7×7、<b>ゾーンカスタム 1</b>、<b>ゾーンカスタム 2</b>、<b>ゾーンカスタム 3</b> から選べます。</p>	<p>コンティニューアス AF でトラッキングしたい被写体の位置にフォーカスエリアを移動できます。</p>

### オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前にある被写体など）

## 拡大表示してピントを確認する

リアコマンドダイヤルの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます。



通常表示



拡大表示

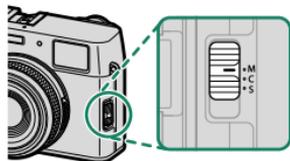


- フォーカスモードが **S** のときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。
- 拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動できます。
- フォーカスモードが **S** のときは、**AF モード** を  **シングルポイント** に設定してください。
- フォーカスモードが **C** または  **フォーカス設定 > プリ AF** が **ON** のときは、拡大表示できません。
- リアコマンドダイヤルの中央押しは、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定** で他の機能を割り当てることができます。また拡大表示の機能を他のボタンに割り当てすることもできます ( 319)。

## マニュアルフォーカス撮影

意図した場所にピントを手動で合わせて撮影する方法を説明します。

- 1 フォーカスモード切換スイッチを **M** に設定します。

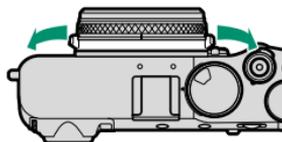


画面に **MF** が表示されます。



- 2 フォーカスリングを回してピントを合わせます。

フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。



- 3 撮影します。

 フォーカスリングを回す方向は、 操作ボタン・ダイヤル設定 > フォーカスリングで設定できます。

### マニュアルフォーカス時の AF ロック機能について

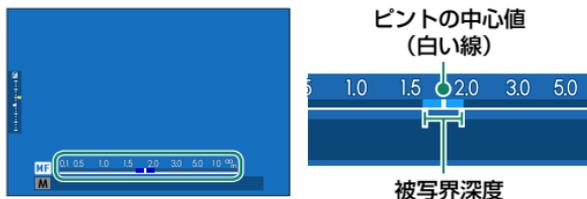
- AFロックまたは**AF-ON**が割り当てられているファンクションボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。ピントを合わせる位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。フォーカスエリアのサイズはリアコマンドダイヤルで変更できます。素早くピントを合わせたいときに便利です。
-  **フォーカス設定** >   **ワンブッシュ AF 時の動作**で、AF ロックを割り当てたファンクションボタンの動作を変更できます。**AF-S** (シングル AF) のときはボタンを押すとオートフォーカスでピントを合わせます。**AF-C** (コンティニユアス AF) のときはボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

## ピントの確認方法

マニュアルフォーカス撮影では、以下の方法でピントを確認できます。

### 距離指標を目安にする

白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、**表示設定 > 距離指標の単位**でメートルとフィートを切り替えられます。



- 距離指標を表示するには、以下の設定が必要です。
  - 表示設定 > 画面のカスタマイズ**で「AF 時の距離指標」「MF 時の距離指標」に  を入れる。
  - DISP/BACK** ボタンを押して、**スタンダード** (情報表示あり) 画面に切り替える。
- 被写界深度のスケール (ゲージ) の基準を **フォーカス設定 > 被写界深度スケール** で設定できます。**フィルム基準** はプリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にし、**ピクセル基準** はパーソナルコンピューターなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。

## 拡大表示して確認する（フォーカスチェック）

**カメラアイコン** フォーカス設定 > フォーカスチェックを ON にすると、フォーカスリングを回したときに自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。



- 拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動できます。
- 拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。ただし、MF アシストにデジタルスプリットイメージまたはデジタルマイクロプリズムを設定しているときは、倍率変更できません。

## 画面に表示された画像で確認する

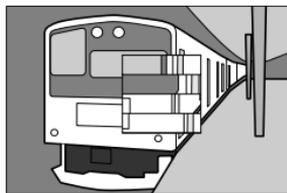
ピントの確認方法を静止画撮影メニューの **カメラアイコン** フォーカス設定 > MF アシスト (154) または動画撮影メニューの **カメラアイコン** フォーカス設定 > MF アシスト (200) で選べます。



静止画撮影時と動画撮影時で使用できるピントの確認方法が異なります。

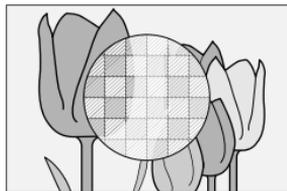
### デジタルスプリットイメージ

画面中央部にスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整してください。



### デジタルマイクロプリズム

ピントがずれているときは像のボケが強調されて格子模様になり、ピントが合うと格子模様が消えて像が明確になります。



## ● フォーカスピーキング

コントラストの高い輪郭部分が強調されます。フォーカスリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。



## ● フォーカスマーター

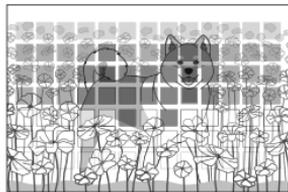
フォーカスエリアの下に矢印が表示され、被写体の前後どちらにピントが合っているかを示します。矢印が左を指しているときは被写体より手前に、右を指しているときは被写体の後ろにピントが合っています。矢印が真上を指すようにフォーカスを調整してください。



**操作ボタン・ダイヤル設定 > フォーカスリングを**  **反時計回りに設定**すると、矢印の表示は左右逆になります。

## ● フォーカスマップ

フォーカスエリアポイントに四角の指標が表示され、ピントが合っているポイントと合っていないポイントを色で示します。被写体にピントが合っているポイントや被写体と同じ距離のポイントには緑色の指標が表示されます。ピントの位置よりも手前のポイントには黄色の指標、後ろのポイントには青色の指標が表示されます。

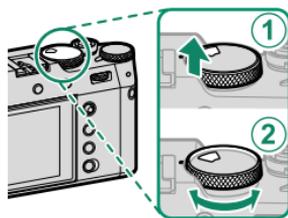


- 動画撮影メニューの **フォーカス設定** > **MFアシスト**で指標の色をモノクロに変更できます。このとき、ピントの位置よりも手前のポイントには白色の指標、後ろのポイントには黒色の指標が表示されます。
- オートフォーカスが苦手な被写体では指標が表示されないことがあります (図 84)。

## ISO 感度を変更

光に対する ISO 感度を変更できます。

シャッタースピード/感度ダイヤルを引き上げてから回して、ISO 感度を設定します。



ISO 感度

ダイヤル設定	説明
A (オート)	被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。 ☑ 撮影設定 > 感度 AUTO 設定で <b>AUTO1</b> 、 <b>AUTO2</b> 、 <b>AUTO3</b> の設定を選びます。
C (コマンド)	フロントコマンドダイヤルで 64 ~ 51200 の ISO 感度を変更できます。64 ~ 100 と 25600、51200 は拡張モードです。拡張モードでは標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。
125 ~ 12800	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。

### ISO 感度の設定について

ISO 感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて ISO 感度設定を使い分けてください。

## A (オート) 設定について

☑ **撮影設定 > 感度 AUTO 設定**で ISO 感度を **A (オート)** に合わせたときの **基準 ISO 感度**、**上限 ISO 感度**、**低速シャッター限界**を設定できます。**AUTO1**、**AUTO2**、**AUTO3** にそれぞれ異なった値を設定できます。

設定	設定値	工場出荷時の設定値		
		AUTO1	AUTO2	AUTO3
基準 ISO 感度	125 ~ 12800	125		
上限 ISO 感度	400 ~ 12800	800	3200	12800
低速シャッター限界	1/2000 ~ 30 秒、 AUTO	AUTO		

**基準 ISO 感度**と**上限 ISO 感度**を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、**低速シャッター限界**では、ISO 感度が自動で切り替わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。

- **上限 ISO 感度**よりも**基準 ISO 感度**を高く設定している場合は、**上限 ISO 感度**で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- **基準 ISO 感度**と**上限 ISO 感度**の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、**低速シャッター限界**で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。
- **低速シャッター限界**を **AUTO** にすると、レンズの焦点距離に応じてカメラが自動的に低速シャッター限界の値を設定します (手ブレ補正の ON/OFF によって、設定は変わりません)。

## 測光モードを変更

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

 **撮影設定** > **測光**で使用する測光モードを設定します。

 測光モードを変更するときは、**フォーカス設定** > **顔検出 / 瞳 AF 設定**と**被写体検出 AF 設定**を **OFF** にしてください。

設定	説明
 マルチ	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、  （マルチ）をおすすめします。
 中央部重点	撮影画面の中央部を重点的に測光して露出値を決定します。
 スポット	画面の約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
 アベレージ	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

 **フォーカス設定** > **測光 & フォーカスエリア連動**を **ON** にしているときは、フォーカスフレームの位置を測光します（ 155）。

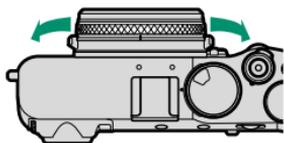
## デジタルテレコン撮影

デジタルテレコンを使うと、異なる焦点距離の拡大画像を撮影できます。

1 コントロールリングにデジタルテレコンを割り当てます ( 12 )。

2 コントロールリングで、拡大倍率を選びます。

コントロールリングを回すと、画面の中央を中心に画面が拡大表示されます。



通常 (35 mm\*)



50 mm\*



70 mm\*



\*35 mm 判フィルム換算

3 撮影します。

拡大表示された状態が撮影されます。



- デジタルテレコンを使うと、画像サイズが自動的に変更される場合があります。
- RAW 画像は拡大されません。再生メニューの **RAW 現像** で **デジタルテレコン** を **ON** にしてから現像すると、拡大した画像を保存できます。
- 撮影モードによっては、デジタルテレコンが解除されたり、選択できない場合があります ( 171 )。

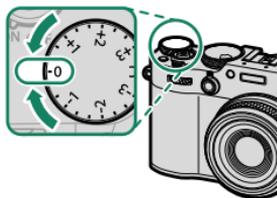


- デジタルテレコンは **撮影設定** > **デジタルテレコン** から設定できます。
- テレコンバージョンレンズ装着時の拡大表示は 72 mm と 100 mm、ワイドコンバージョンレンズ装着時の拡大表示は 41 mm と 58 mm になります。

## 露出補正

画像の明るさを調整できます。

露出補正ダイヤルを回して、露出を補正します。



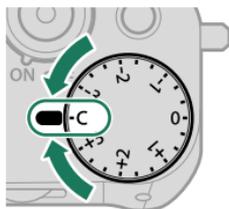
- ❗ モードによって補正段数が制限されることがあります。
- 露出補正の結果は撮影画面に反映されます。ただし、以下の設定では反映されないことがあります。
  - 露出補正量が±3段を超えたとき
  - **ダイナミックレンジ**を **200/200%**、**400/400%**に設定したとき
  - **Dレンジ優先**を**強**または**弱**に設定したとき

この場合、シャッターボタンを半押しすると、補正した明るさを液晶モニターまたはファインダーで確認できます。

なお、動画モードにおいて **ダイナミックレンジ**を **200/200%**、**400/400%**に設定、または、F-Log撮影の場合も露出補正が反映されないことがあります。この場合は撮影モードをマニュアル (**M**) にして直接露出を指定することで対応してください。

## C (カスタム) について

露出補正ダイヤルを **C** の位置にしてフロントコマンドダイヤルを回すと、露出が設定できます。



- フロントコマンドダイヤルによる露出補正では、 $\pm 5$  の範囲で補正が可能になります。
- フロントコマンドダイヤルの中央を押すと、フロントコマンドダイヤルに割り当てている機能を切り替えることができます。

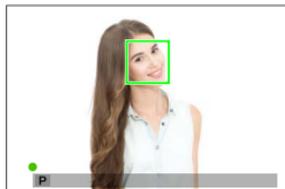
## AE/AF ロック撮影

シャッターボタンを半押しすると、明るさとピントが固定されます。

1 AE/AF ロックしたい被写体に AF フレームを合わせます。

2 シャッターボタンを半押しします。

被写体に露出とピントが合い、AF フレームが緑点灯します。



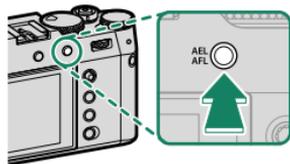
3 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

 シャッターボタンによる AE/AF ロック撮影を行う場合は、 操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AF、半押し AE を ON にしておく必要があります。

## ボタンによる AE/AF ロック

**AEL/AFL** ボタンを押すと、AE ロックと AF ロックを同時に行います。

- ボタンで AE ロック / AF ロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。
- **操作ボタン・ダイヤル設定** > **AE/AF-LOCK 設定** を押下切替にすると、ボタンを放しても AE ロックや AF ロックは解除されなくなります。解除するときは、もう一度ボタンを押します。



**AEL/AFL ボタン**  
(AE/AF ロック)

- **AEL/AFL** ボタンには **操作ボタン・ダイヤル設定** > **ファンクション (Fn) 設定** で他の機能を割り当てることができます。また使用するファンクションボタンは変更できます (p.319)。
- AE ロックと AF ロックをそれぞれ別のファンクションボタンに割り当てることで、AE ロックや AF ロックを個別に行うことができます。

## ブラケティング撮影

一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケティング撮影ができます。

- 1 **DRIVE/DELETE** ボタンを押してドライブメニューを表示させ、使用したいブラケティングを選びます。



- 2 撮影します。

### **ISO** ISO ブラケティング

撮影した1枚の画像から、設定したISO感度を変化させて3枚の画像を作成します。変化させるISO感度はドライブモード選択画面で $\pm 1/3$ 、 $\pm 2/3$ 、 $\pm 1$ から選べます。

### **WB** ホワイトバランス BKT

一度シャッターボタンを押すと、「センター（ノーマル）」、「ブルー（プラス）」、「アンバー（マイナス）」の3枚の画像を作成します。設定したホワイトバランスから $\pm 1$ 、 $\pm 2$ 、 $\pm 3$ ステップの幅をドライブモード選択画面で設定できます。

## BKT ブラケットング

### AE ブラケットング

画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」に変えながら選んだ撮影コマ数分連続撮影します。 **撮影設定 > AE ブラケットング設定**で1コマ/連続撮影やステップ幅、撮影順序などを設定できます。

 アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定した**ステップ数**で撮影されません。

### フィルムシミュレーション BKT

撮影した1枚の画像から、それぞれ設定したフィルムシミュレーションの設定に変化させて3枚の画像を作成します。変化させるそれぞれのフィルムシミュレーションの設定は  **撮影設定 > フィルムシミュレーション BKT** で設定します。

### ダイナミックレンジ BKT

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジの設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3枚連続で撮影します。

 ISO感度を固定値に設定しているときは自動的にISO 500以上になります。ダイナミックレンジブラケットングを解除すると、ISO感度は元の設定に戻ります。

**FOCUS** フォーカス BKT

一度シャッターボタンを押すと、設定に応じてピントを変えながら連続で撮影されます。**撮影設定 > フォーカス BKT 設定**で撮影の方法を**マニュアル**または**AUTO**から選べます。



- 撮影中は、ズーム操作を行わないでください。
- 三脚のご使用をおすすめします。

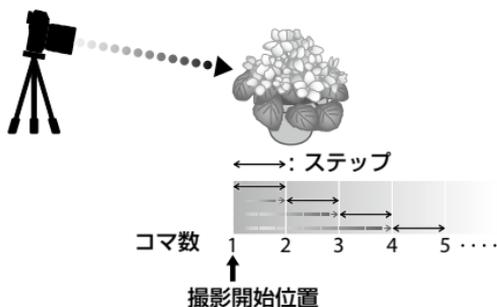
**マニュアル**

**マニュアル**を選ぶと、次の項目を手動で設定できます。

サブメニュー	内容
コマ数	撮影するコマ数を選びます。
ステップ	ピントの変化量を選びます。
撮影間隔	次の撮影までの時間を選びます。

**コマ数 / ステップとピント位置の関係について**

コマ数 / ステップとピント位置の関係は図のようになります。



- ピント位置は、撮影開始位置から無限遠側に向かって移動します。
- **ステップ**の数値が小さいとピント位置の間隔は狭くなり、大きいと広がります。
- ピント位置が無限遠に到達すると、**コマ数**の設定に関わらず撮影を終了します。

## AUTO

**AUTO** を選ぶとコマ数とステップをカメラが自動で設定します。

1 撮影メニューから 撮影設定 > フォーカス BKT 設定を選び、MENU/OK ボタンを押します。

2 **AUTO** を選んでから、撮影間隔を設定します。  
撮影画面が表示されます。

3 被写体のもっとも手前にピントを合わせて MENU/OK ボタンを押します。  
距離指標上に **A** が設定されます。

もっとも遠い方を先に設定しても、ピントを合わせる範囲は変わりません。



4 被写体のもっとも遠い方にピントを合わせて DISP/BACK ボタンを押します。

距離指標上に **B** が設定され、ピントを合わせる範囲 (**A** と **B** の間) が設定されます。

DISP/BACK ボタンの代わりに MENU/OK ボタンを押して再度 **A** を設定することもできます。



5 撮影します。  
カメラがコマ数とステップを自動で設定します。撮影コマ数は撮影画面に表示されます。



## 連続撮影（連写）

シャッターボタンを押し続けている間、各連写設定に応じたコマ数で連続撮影します。動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

- 1 **DRIVE/DELETE** ボタンを押してドライブメニューを表示させ、 **CH** 高速連写、 **CL** 低速連写のいずれかを選びます。



- 2 連写速度を選び、シャッターボタンを押すと連続撮影します。

シャッターボタンを放すか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

- ❗ 連写中にファイル No. が 9999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます。
- 連写中にメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
- 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
- シャッタースピード、ISO 感度、シーン、フォーカスモードによっては、連写速度が変わる場合があります。
- 撮影条件によっては、連写速度が低下したり、フラッシュが発光しなかったりする場合があります。
- 連続撮影では、撮影した画像を記録する時間が長くなる場合があります。
-  **撮影設定** > **シャッター方式** の設定によって選べる連写の種類が異なります。

## ピントや露出について

- ピントを自動で変えながら撮影したいときは、フォーカスモードを **C** に設定してください。
- 露出を自動で変えながら撮影したいときは、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AE** を **OFF** にしてください。



絞りや ISO 感度、露出補正などの撮影条件によっては、露出の自動調整が有効にならない場合があります。

## HDR 撮影

一度シャッターボタンを押すと明るさの異なる 3 枚の画像を撮影し、1 枚の画像に合成します。白飛びや黒つぶれの少ない画像を撮影できます。

- 1 **DRIVE/DELETE** ボタンを押してドライブメニューを表示させ、**HDR** を選びます。



- 2 明るさの変化量を設定します。

設定	おすすめ用途
HDR AUTO	ダイナミックレンジを 200% から 800% の間で自動で設定します。
HDR200	ダイナミックレンジを 200% に設定します。
HDR400	ダイナミックレンジを 400% に設定します。
HDR800	ダイナミックレンジを 800% に設定します。
HDR800+	ダイナミックレンジがもっとも広くなるようにカメラが最適な設定を行います。

- 3 撮影します。  
合成された画像が撮影されます。



- 撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- 被写体が動いたり構図が変わったりする場合や、被写体の明るさが変わる場合は、意図したとおりの画像が撮影できないことがあります。
- 画像の周辺部分がわずかにトリミングされ、解像度が若干低下します。
- ダイナミックレンジが広がるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。
- 拡張感度は使用できません。
- HDR の設定と ISO 感度の設定によっては、シャッタースピードが設定した値にならないことがあります。
- フラッシュは発光しません。



HDR 撮影で合成された画像には再生時に  アイコンが表示されます。

## パノラマ撮影

カメラを動かしながら撮影した複数の画像を合成し、高画質な1枚のパノラマ写真を作成します。

- 1 **DRIVE/DELETE** ボタンを押してドライブメニューを表示させ、**Adv. >** パノラマを選びます。



- 2 撮影する角度（撮影画角）を選びます。

フォーカスレバーを左に動かし、撮影画角変更画面を表示させ、撮影する画角の大きさを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 3 撮影方向を選びます。

フォーカスレバーを右に動かし、撮影方向選択画面を表示させ、撮影する方向を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 4 シャッターボタンを全押しします。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

- 5 矢印方向にカメラを動かします。

ガイドの終端までカメラが動くと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。



## うまく撮影するには

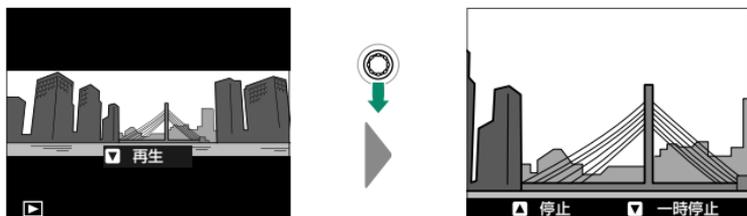
- 一定の速度でゆっくりと小さな円を描くようにカメラを動かします。
- ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまくいかないときは、移動速度を変えてください。
- カメラがブレないように脇をしめて撮影してください。
- 三脚を使うと、よりきれいに撮影できます。



- 撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が保存されないことがあります。
- 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
- 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
- 以下の場合はパノラマ撮影には適していません。
  - 被写体が動いている
  - 被写体とカメラの距離が近すぎる
  - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
  - 波や滝など常に模様が変わる風景
  - 明るさが大きく変動するシーン
- 露出は、最初にシャッターボタンを半押しした時点で固定されます（**操作ボタン・ダイヤル設定** > 半押し AE が ON のとき）。

## パノラマ画像の再生

1コマ再生時にパノラマ写真を選択してフォーカスレバーを下に動かすと、パノラマ写真を再生できます。横方向に撮影したパノラマ写真は左から右に、縦方向に撮影した写真は下から上に表示されます。

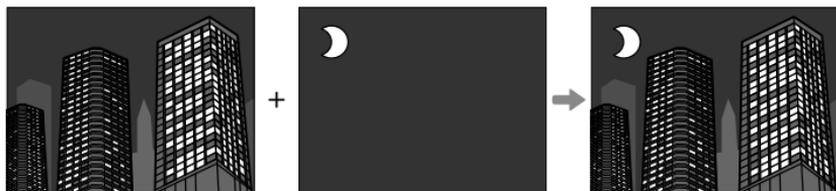


- パノラマ写真を1コマ再生しているときは、リアコマンドダイヤルを回して拡大/縮小表示できます。
- パノラマ再生時の操作は、フォーカスレバーで行います。

	1コマ再生中	再生中	一時停止中
上	—	停止	
下	再生	一時停止	再生
左右	前後の画像を表示	再生方向の変更	コマ送り

## 多重露出撮影

複数の画像を重ねて1つの画像に合成します。



- 1 DRIVE/DELETE ボタンを押してドライブメニューを表示させ、多重露出を選びます。



- 2 画像をどのように合成するかを選びます。

設定	説明
加算	撮影した画像の露出を加算して合成します。合成する枚数に応じてマイナスの露出補正をしてください。
加算平均	重ね合わせた画像の露出が適正になるように自動的に露出を補正して合成します。同じ構図で撮影したときは背景が適正露出になるように補正されます。
比較 (明)	重ね合わせた画像の同じ位置を比較して、もっとも明るい部分が残るように合成します。色や明るさによって色が混ざることがあります。
比較 (暗)	重ね合わせた画像の同じ位置を比較して、もっとも暗い部分が残るように合成します。色や明るさによって色が混ざることがあります。

- 3 1枚目の画像を撮影します。

#### 4 MENU/OK ボタンを押します。

2 枚目の撮影画面になります。

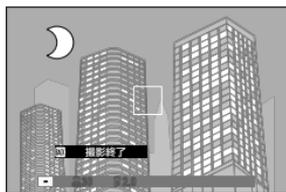


- 1 枚目の画像を撮り直す場合はフォーカスレバーを左に動かしてください。
- **DISP/BACK** ボタンを押すと、1 枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。



#### 5 2 枚目の画像を撮影します。

1 枚目の画像が撮影画面に薄く表示されているので、その画像を見ながら 2 枚目の画像の位置を調整してください。

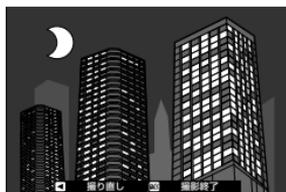


#### 6 MENU/OK ボタンを押します。

2 枚の画像を合成した画像が表示されて、次の画像の撮影画面になります。



- 2 枚目の画像を撮り直す場合はフォーカスレバーを左に動かしてください。
- **DISP/BACK** ボタンを押すと、撮影した画像が合成され、多重露出撮影を終了します。



#### 7 繰り返し撮影します。

一度に 9 枚までの画像を合成できます。

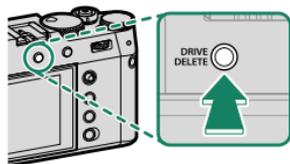
#### 8 撮影が終わったら **DISP/BACK** ボタンを押します。

撮影した画像を合成した画像が保存されて、多重露出撮影を終了します。

## アドバンストフィルター撮影

さまざまなフィルター効果を加えて撮影できます。

- 1 **DRIVE/DELETE** ボタンを押してドライブメニューを表示させ、**Adv. >** アドバンストフィルターを選びます。



- 2 使用したいアドバンストフィルターを選びます。

- 3 撮影します。

## アドバンストフィルターの種類

設定	説明
 トイカメラ	レトロな雰囲気のあるトイカメラ風な写真に仕上がります。
 ミニチュア	ジオラマ風に上下をぼかします。
 ポップカラー	コントラストと彩度を強調します。
 ハイキー	全体的に階調を明るくし、コントラストを抑えます。
 ローキー	全体を暗く落ち着いたせつつ、ハイライト部分を強調します。
 ダイナミックトーン	ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。
 ソフトフォーカス	全体にぼかしを加え、やわらかな雰囲気を与えます。
 パートカラー (レッド)	特定の色域 (カッコ内の色) だけを残し、残りをモノクロにします。
 パートカラー (オレンジ)	
 パートカラー (イエロー)	
 パートカラー (グリーン)	
 パートカラー (ブルー)	
 パートカラー (パープル)	



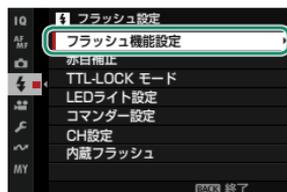
被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色味にならなかったりする場合があります。

## フラッシュ撮影

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

### 1 撮影メニューの **[F]** フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定を選びます。

内蔵フラッシュの設定画面が表示されます。



 この設定はショートカット機能でも設定できます ( 310)。

### 2 フラッシュの設定を変更します ( 115)。 フォーカスレバーで変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。



### 3 DISP/BACK ボタンを押します。

フラッシュモードが設定されます。

-  撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。
- 電子シャッターを使用しているときやパノラマ撮影などを行っているときは、フラッシュは発光しません。
- 撮影モードが **S** (シャッター速度優先) または **M** (マニュアル) のときは、シャッター速度を同調速度  $1/2000$  秒よりも長い時間に設定してください。

-  TTL モードでは、フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。
-  **基本設定 > 電子音 & フラッシュ** を **OFF** にしているときは、フラッシュは発光しません。
- 別売のレンズフード装着時はケラレが起こることがあるため内蔵フラッシュでの撮影はおすすめできません。

## フラッシュ機能設定

内蔵フラッシュでは、以下の項目を設定できます。



項目	設定 / 説明
① モード (発光モード)	<p>フラッシュの発光モードを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>TTL</b>: TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整し、<b>TTL モード</b>で TTL 撮影の発光モードを選択します。</li> <li>● <b>M</b>: 被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。<b>発光量</b>でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。</li> <li>● <b>⚡ (プライマリーフラッシュ)</b>: スタジオフラッシュなど、主灯 (プライマリーフラッシュ) の発光に同期して発光可能なセカンダリーフラッシュをコントロールするときに選択します。</li> <li>● <b>OFF (OFF)</b>: フラッシュを使用しません。</li> </ul>
② 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<p>フラッシュの調光補正または発光量を設定します。設定値は選択している発光モードによって異なります。</p>

項目	設定 / 説明
③ TTL モード	<p>TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>TTL (フラッシュ発光 AUTO)</b>: 被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。</li> <li>● <b>TTL (スタンダード)</b>: 一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。</li> <li>● <b>TTL (スローシンクロ)</b>: 夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。</li> </ul>
④ 同調モード	<p>フラッシュが発光するタイミングを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>FRONT (先幕)</b>: シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。</li> <li>● <b>REAR (後幕)</b>: シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。</li> </ul>

### 赤目補正について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。赤目現象を補正したいときは、**1** フラッシュ設定 > 赤目補正を赤目抑制発光に設定します。

### フラッシュ使用時のシャッタースピードについて

フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は  $1/2000$  秒以下です。

### 別売フラッシュについて

このカメラでは、別売の富士フィルム製クリップオンフラッシュが使用できます。

### 他社製のフラッシュをお使いになる時のご注意

カメラのホットシューに 300V 以上の電圧がかかるフラッシュは使用できません。

## 撮影メニュー

# 6

## 画質設定（静止画）

静止画撮影時の画質に関する機能を設定できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**IQ**（画質設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



### 画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。

#### 設定値

<b>L</b> 3:2	(7728 × 5152)	<b>L</b> 4:3	(6864 × 5152)
<b>L</b> 16:9	(7728 × 4344)	<b>L</b> 5:4	(6432 × 5152)
<b>L</b> 1:1	(5152 × 5152)		

#### 設定値

<b>M</b> 3:2	(5472 × 3648)	<b>M</b> 4:3	(4864 × 3648)
<b>M</b> 16:9	(5472 × 3080)	<b>M</b> 5:4	(4560 × 3648)
<b>M</b> 1:1	(3648 × 3648)		

#### 設定値

<b>S</b> 3:2	(3888 × 2592)	<b>S</b> 4:3	(3456 × 2592)
<b>S</b> 16:9	(3888 × 2184)	<b>S</b> 5:4	(3264 × 2592)
<b>S</b> 1:1	(2592 × 2592)		

スポーツファインダーモードによる撮影、または連写で **1.29X クロップ** の連写速度を選んでいる場合の画像サイズは以下のとおりです。

設定値			
<b>M 3:2</b>	(6000 × 4000)	<b>M 4:3</b>	(5328 × 4000)
<b>M 16:9</b>	(6000 × 3376)	<b>M 5:4</b>	(4992 × 4000)
<b>M 1:1</b>	(4000 × 4000)		

 **画像サイズ**は、カメラの電源をオフにしたり、撮影モードを切り替えたりしても保持されます。

## 画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	説明
<b>FINE</b>	圧縮率を低くして画質を優先するモードです。
<b>NORMAL</b>	圧縮率を高くして撮影枚数を優先するモードです。
<b>FINE+RAW</b>	FINE で撮影した JPEG 画像や HEIF 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
<b>NORMAL+RAW</b>	NORMAL で撮影した JPEG 画像や HEIF 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
<b>RAW</b>	RAW ファイルのみを保存します。

### ファンクションボタンを使って RAW 画像を撮影する

画質モードで **FINE**、**NORMAL** を選択していても、ファンクションボタンに **RAW** を割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで RAW 画像を撮影できます（ 319）。再度ファンクションボタンを押すか、撮影すると、元の設定（左列）に戻ります。

設定されている画質モード	ファンクションボタン (RAW を割り当て済み) を押した場合
<b>FINE</b>	<b>FINE+RAW</b>
<b>NORMAL</b>	<b>NORMAL+RAW</b>
<b>FINE+RAW</b>	<b>FINE</b>
<b>NORMAL+RAW</b>	<b>NORMAL</b>
<b>RAW</b>	<b>FINE</b>

## RAW 記録方式

RAW 画像の記録方式を設定できます。

設定	説明
非圧縮	データを圧縮せずに RAW 画像を保存します。
ロスレス圧縮	データを圧縮して RAW 画像を保存します（データを完全に復元できません）。「FUJIFILM RAW Converter <sup>*1</sup> 」、「Capture One <sup>*1</sup> 」、「RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPix <sup>*2</sup> 」、「FUJIFILM X RAW STUDIO」などロスレス圧縮 RAW の現像に対応したソフトウェアを使うとデータを欠落させずに現像できます。記録した画像は <b>非圧縮</b> と同等の画質になり、ファイルサイズは約 30～90% になります。
圧縮	データを非可逆圧縮して RAW 画像を保存します（データを完全には復元できません）。記録した画像は <b>非圧縮</b> とほぼ同等の画質になり、ファイルサイズは約 25～35% になります。

\*1 対応時期については Capture One 社のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.captureone.com/>

\*2 対応時期については以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/support/compatibility/software/raw-file-converter-ex-powered-by-silkipix/>

## JPEG/HEIF 選択

記録する画像のファイル形式を JPEG と HEIF で切り替えることができます。

設定	説明
JPEG	JPEG で撮影します。再生互換性に優れたファイル形式です。
HEIF	HEIF で撮影します。圧縮効果に優れた保存形式ですが、画像の再生や転送できる環境が限られています。



- 多重露出のときは、**HEIF** に設定していても自動的に **JPEG** に切り替わります。
- **HEIF** を選んでいるときは、**明瞭度**の設定は無効になります。また、**色空間**は **sRGB** になります。
- HEIF 画像は拡張子が「.HIF」のファイルとしてメモリーカードに保存されます。このファイルをパーソナルコンピューターで再生する場合は、ファイルの拡張子を「.HEIC」に変更してください。ただし、カメラとパーソナルコンピューターを USB 接続して画像を転送する場合、拡張子は自動的に「.HEIC」に変更されます。

## フィルムシミュレーション

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。表現意図に応じてフィルムを選ぶ感覚で、色再現や階調表現を使い分けることができます。

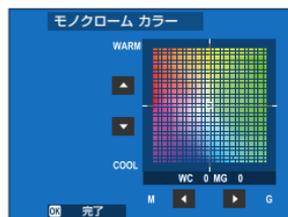
設定	説明
 <b>PROVIA/スタンダード</b>	標準的な発色と階調で人物・風景など幅広い被写体に適します。
 <b>Velvia/ビビッド</b>	高彩度な発色とメリハリある階調表現で風景・自然写真に最適です。
 <b>ASTIA/ソフト</b>	落ち着いた発色とソフトな階調でしっとりとした表現に適します。
 <b>クラシッククローム</b>	発色をおさえ暗部のコントラストを高めることで落ち着いた表現に適します。
 <b>REALA ACE</b>	標準的な発色とメリハリのある階調であらゆるシーンに適します。
 <b>PRO Neg. Hi</b>	コントラストを高めたややメリハリのあるポートレート撮影に適します。
 <b>PRO Neg. Std</b>	やわらかな階調で肌色の質感を再現したいポートレート撮影に適します。
 <b>クラシックネガ</b>	深い色とメリハリのある階調で、被写体をしっかりとした立体感で表現します。
 <b>ノスタルジックネガ</b>	アンバーに味付けされたハイライトと色乗りの良いシャドウで、印刷された写真のような雰囲気表現します。
 <b>ETERNA/シネマ</b>	落ち着いた発色と豊かなシャドウトーンで動画に適します。
 <b>ETERNA プリーチバイパス</b>	低彩度かつ高コントラストの独特な発色で撮影できます。動画撮影にも適します。

設定	説明
 ACROS	<p>質感豊かでシャープな表現のモノクロです。さらに <b>Ye</b>、<b>R</b>、<b>G</b> のフィルターを選んでコントラストを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  ACROS + Ye フィルター：コントラストをやや強調し、青空が少し濃くなります。</li> <li>●  ACROS + R フィルター：コントラストを強調し、青空が濃くなります。</li> <li>●  ACROS + G フィルター：唇、肌の調子を出し、ポートレートに適します。</li> </ul>
 モノクロ	<p>モノクロで表現します。さらに <b>Ye</b>、<b>R</b>、<b>G</b> のフィルターを選んでコントラストを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  モノクロ + Ye フィルター：コントラストをやや強調し、青空が少し濃くなります。</li> <li>●  モノクロ + R フィルター：コントラストを強調し、青空が濃くなります。</li> <li>●  モノクロ + G フィルター：唇、肌の調子を出し、ポートレートに適します。</li> </ul>
 セピア	セピア調で表現します。

-  フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です。
- この設定はショートカット機能でも設定できます（ 310）。
- フィルムシミュレーションについては、以下のウェブサイトも併せてご覧ください。  
[https://fujifilm-x.com/ja-jp/tag/the-world-of-film-simulation/?post\\_type=xstories](https://fujifilm-x.com/ja-jp/tag/the-world-of-film-simulation/?post_type=xstories)

## モノクローム カラー

フィルムシミュレーションの **ACROS** または **モノクロ** で撮影したモノクロの色調を、赤みがかかった温かみのある温黒調（ウォームトーン）や、青みがかかった冷たさを感じる冷黒調（クールトーン）に調整できます。**WARM** から **COOL**、または **G**（緑）から **M**（マゼンタ）の2つの軸で調整できます。



## グレイン・エフェクト

画像にザラっとした粒状の質感を与えます。

### 強度

設定	説明
強	濃い粒状を与えます。
弱	薄い粒状を与えます。
OFF	使用しません。

### 粒度

設定	説明
大	粒の粗い質感を与えます。
小	粒の細かい質感を与えます。

## カラークローム・エフェクト

赤や緑、黄色などの飽和しがちな彩度の高い色情報を階調豊かに表現します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

## カラークロームブルー

青系の色情報を階調豊かに表現します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

## スムーズスキン・エフェクト

人物の肌をなめらかに補正します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

## ホワイトバランス

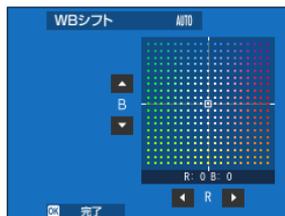
ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

設定	説明
 <b>AUTO ホワイト優先</b>	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。白熱電球下で白色が再現されやすくなります。
<b>AUTO</b>	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 <b>AUTO</b> をおすすめします。
 <b>AUTO 雰囲気優先</b>	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。白熱電球下で、より温かみのある雰囲気を出します。
 <b>カスタム 1</b>	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを設定します。
 <b>カスタム 2</b>	
 <b>カスタム 3</b>	
 <b>色温度設定</b>	色温度を設定します。
 <b>晴れ</b>	晴天の屋外での撮影用です。
 <b>日陰</b>	曇天や日陰などでの撮影用です。
 <b>蛍光灯 1</b>	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
 <b>蛍光灯 2</b>	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
 <b>蛍光灯 3</b>	白色蛍光灯の下での撮影用です。
 <b>電球</b>	電球、白熱灯の下での撮影用です。
 <b>水中</b>	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。

-  人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られない場合は、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- フラッシュ発光時は、**AUTO**/ **AUTO ホワイト優先** /  **AUTO 雰囲気優先** /  **水中** 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください。
- この設定はショートカット機能でも設定できます (p.310)。

## WB シフト

ホワイトバランスを選んだあとに、**MENU/OK** ボタンを押すと、WB シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。フォーカスレバーでホワイトバランスのシフト量を調整します。



- ホワイトバランスを選んだあとに、**DISP/BACK** ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。
- フォーカスレバーでシフト量を調整するときは、フォーカスレバーによる斜め移動はできません。

## カスタムホワイトバランス

カスタムホワイトバランスでは、自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

- 白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。

**1** ホワイトバランスの設定画面からカスタムホワイトバランス ( $\Omega_1/\Omega_2/\Omega_3$ ) を選びます。

**2** 白い紙などの被写体を画面内に表示します。



- **MENU/OK** ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。
- カスタムホワイトバランスを取得するエリアのサイズや位置を変更することもできます。

### 3 シャッターボタンを全押しして設定します。

-  前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。

### 4 「GOOD!」と表示されたら、MENU/OK ボタンを押して決定します。

- 「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。
- 「OVER」と表示されたときは - (マイナス) 側に露出補正してから、再度測定してください。
- 「UNDER」と表示されたときは + (プラス) 側に露出補正してから、再度測定してください。



### **K** 色温度を設定する

光源の色温度に合わせて設定します。

-  色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。

- 1 ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。  
色温度が表示されます。



- 2 フォーカスレバーで色温度を調整し、**MENU/OK** ボタンを押します。  
WB シフト画面が表示されます。



- リアコマンドダイヤルを回して 10K きざみで調整することもできます。
- 色温度は 2500K から 10000K の間で調整できます。
- シフト量を調整しないときは、色温度を選んだあとに **DISP/BACK** ボタンを押してください。

- 3 フォーカスレバーでホワイトバランスのシフト量を調整します。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押します。

色温度が設定されます。設定した色温度が画面に表示されます。



### 色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。色温度が低いほど赤味を帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。

## ダイナミックレンジ

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、逆光や明暗差の大きなシーンで白とびを抑えて、より見た目に近い画像を撮影できます。

設定	おすすめ用途
AUTO (自動調整)	☺100 100% コントラストのある画像が撮影できます。
	☺200 200% ⇄
☺400 400%	明暗差が大きいシーンでの、白とびを抑えます。

 ダイナミックレンジが広くなるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。

-  • ダイナミックレンジが **AUTO** のときは、☺100 100%または ☺200 200%で自動調整され、シャッターボタンを半押しすると絞りとシャッタースピードが表示されます。
- ☺200 200% は ISO 感度が ISO 250 以上 ISO 12800 以下、☺400 400% は ISO 500 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。

## D レンジ優先

明暗差の大きいシーンで、白とびと黒つぶれの両方を抑えるよう階調を補正して自然な印象の画像を撮影します。

設定	説明
<b>AUTO</b>	明暗差に応じて、自動的に階調を補正します。
<b>強</b>	階調補正を強くします。明暗差の大きいシーンに適しています。
<b>弱</b>	階調補正を弱くします。明暗差のやや大きいシーンに適しています。
<b>OFF</b>	階調補正を行いません。



- **弱**は ISO 感度が ISO 250 以上 ISO 12800 以下、**強**は ISO 500 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。
- **D レンジ優先**が **OFF** 以外に設定されている場合、**トーンカーブ**、**ダイナミックレンジ**は自動的に設定されるため、変更することができなくなります。

## トーンカーブ

トーンカーブを参考にしながら、ハイライト部やシャドウ部の調子をそれぞれ設定できます。硬くしたいときは「+」側に、柔らかくしたいときは「-」側に設定します。



設定	設定値
ハイライト	-2 ~ +4
シャドウ	-2 ~ +4

## カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは「+」側に、薄くしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4

## シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4

## 高感度ノイズ低減

高い解像感を優先するかノイズの少なさを優先するか、撮影者が重視するポイントによって、高感度における質感描写の調整ができます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは「+」側に、画像の輪郭を残したいときは「-」側に設定します。

設定値								
-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4

## 明瞭度

ハイライト部とシャドウ部の階調をなるべく保ったまま、画像をはっきりとさせます。画像をはっきりとさせたいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

❗ 0以外の値に設定して撮影した場合、画像処理のため保存に時間がかかります。

## 長秒時ノイズ低減

ON にすると、長時間露光撮影時のノイズを低減できます。

設定値	
ON	OFF

❗ ON にすると、画像処理のため保存に時間がかかります。

## 色空間

画像の使用目的に合わせて、カラースペースを選択できます。

設定	説明
sRGB	一般的なディスプレイの基準色再現域で、通常の撮影では sRGB に設定します。
Adobe RGB	より広い色再現域を持つ色空間で、商用印刷用途などに適しています。

## ピクセルマッピング

撮影画像や動画の輝点が気になってきたときなどに実行すると、輝点が軽減されます。

1 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**画質設定** タブを選びます。

2 **ピクセルマッピング** を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、**ピクセルマッピング** を実行します。



- 実行しても、思うように軽減されないことがあります。
- 十分に充電されたバッテリーをご使用ください。
- カメラの温度が高いときはピクセルマッピングは実行できません。
- 処理には数十秒程度かかることがあります。

## カメラ カスタム選択

カメラ **カスタム登録 / 編集** で保存した **カスタム 1 ~ 7** の設定を呼び出します。

設定値			
選択しない	カスタム 1	カスタム 2	カスタム 3
カスタム 4	カスタム 5	カスタム 6	カスタム 7



カメラ設定を使用しない場合は、**選択しない** を選びます。

## 📷 カスタム登録 / 編集

自分好みの撮影メニューの設定を組み合わせることで保存できます。保存した設定は、**📷 画質設定 > 📷 カスタム選択**で呼び出せます。

### カスタム設定を作成する

カスタム設定を新規に作成できます。

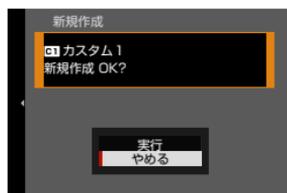
**1** 撮影メニューから **📷 画質設定 > 📷 カスタム登録 / 編集** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

**2** C1 ~ C7 のうち、新規作成の場所を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



**3** 実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。  
選んだ場所に現在のカメラの設定が登録されます。



## カスタム設定の内容を変更する

作成したカスタム設定の内容を変更して保存できます。

- 1 撮影メニューから 画質設定 > カスタム登録 / 編集 を選び、MENU/OK ボタンを押します。

動画の設定を変更する場合は、動画撮影メニューの 動画設定 > カスタム登録 / 編集 で変更します。

- 2 設定を変更したいカスタムを選び、MENU/OK ボタンを押します。

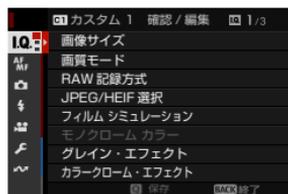


- 3 確認 / 編集を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- 4 撮影メニューの一覧からカスタム登録したメニューの項目を選んで MENU/OK ボタンを押します。

選んだ項目の設定ができます。



- 5 MENU/OK ボタンを押すと、項目の設定を終了して撮影メニューの一覧に戻ります。

続けて別の項目を設定することができます。



静止画撮影メニューの **画質設定** > **カスタム登録内容の自動更新**や動画撮影メニューの **動画設定** > **カスタム登録内容の自動更新をしない**に設定している場合、設定を変更した項目には赤い丸が表示され、自動的に保存されません。

- 設定を変更した項目を選んで **Q** ボタンを押すと、選んだ項目を個別に保存できます。
- 手順3の画面に戻り、**変更を保存**を選ぶと、設定を変更した項目をすべて保存できます。**変更をリセット**を選ぶと、変更をすべて保存せずに元の設定に戻します。
- 赤い丸が付いた変更中のカスタムをコピーした場合に、変更中のカスタムがコピーの対象となります。

## カスタム設定をコピーする

選んだカスタム設定の内容を複製したり、別のカスタム設定に上書きしたりできます。カスタム設定の名前を変更している場合、コピー先のカスタム名はコピー元のカスタム名と同じになります。

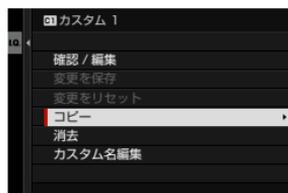
- 1 撮影メニューから **画質設定** > **カスタム登録 / 編集** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

 動画の設定を変更する場合は、動画撮影メニューの **動画設定** > **カスタム登録 / 編集** で変更します。

- 2 コピー元のカスタム設定を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



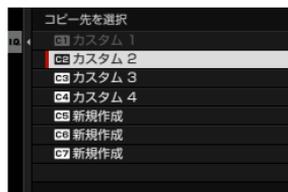
- 3 コピーを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



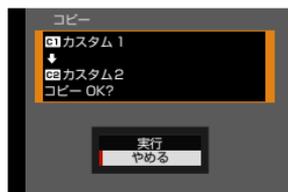
- 4 C1 ~ C7 から、コピーしたい場所を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

 すでに作成されているカスタム設定を選ぶと、そのカスタム設定に登録されている内容を上書きします。



- 5 実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。  
カスタム設定が複製または上書きされます。



## カスタム設定を消去する

選んだカスタム設定を消去します。

- 1 撮影メニューから  画質設定 >  カスタム登録 / 編集を選び、MENU/OK ボタンを押します。

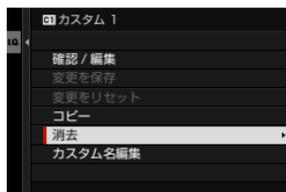


動画の設定を変更する場合は、動画撮影メニューの  動画設定 >  カスタム登録 / 編集で変更します。

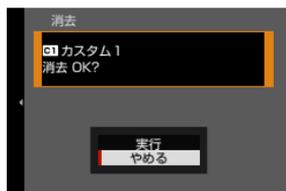
- 2 消去したいカスタム設定を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- 3 消去を選び、MENU/OK ボタンを押します。確認画面が表示されます。



- 4 実行を選んで MENU/OK ボタンを押します。選んだカスタム設定が消去されます。



## カスタム設定の名前を変更する

カスタム設定の名前を変更できます。

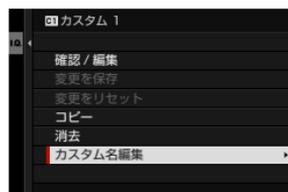
- 1 撮影メニューから  画質設定 >  カスタム登録 / 編集を選び、MENU/OK ボタンを押します。

 動画の設定を変更する場合は、動画撮影メニューの  動画設定 >  カスタム登録 / 編集で変更します。

- 2 名前を変更したいカスタム設定を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- 3 カスタム名編集を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- 4 カスタム設定の名前を入力して設定を選びます。  
カスタム設定の名前が変更されます。

## カスタム登録内容の自動更新

カスタム登録の内容を自動更新できます。

設定	説明
する	カスタム設定（カスタム 1 ～ 7）の内容を変更すると、設定内容が自動的に更新されます。
しない	カスタム登録の内容を自動更新しません。カスタム登録内容を変更する場合は手動で行います（ <a href="#">📖 136</a> ）。

## フォーカス設定（静止画）

静止画撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**AF MF**（フォーカス設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



### フォーカスエリア選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときのピントを合わせるエリアの位置を変更できます。フォーカスモードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます（[82](#)）。

### AF モード

フォーカスモードが **S** または **C** のときの AF モードを設定します（[80](#)）。

### ゾーンカスタム設定

AF モードがゾーンのときのフォーカスエリアの範囲を変更できます。

#### サブメニュー

ゾーンカスタム 1

ゾーンカスタム 2

ゾーンカスタム 3

### AF モードオール設定

AF モードがオールのときに選べるフォーカスエリアを設定します。撮影スタイルに合わせて、使用したいフォーカスエリアだけを設定できます。フォーカスモードが **S**（AF-S）または **C**（AF-C）のときでそれぞれ設定できます。

#### サブメニュー

AF-S

AF-C

## AF-C カスタム設定

フォーカスモードを **C** に設定したときのピントの追従性を設定します。シーンに応じた **SET 1 ~ 5** を選びます。**SET 6 カスタム** で設定値を任意で設定することもできます。



設定	説明
<b>SET 1</b> 汎用性の高い 基本的な設定	動きのある被写体全般に適用する標準的な設定です。
<b>SET 2</b> 障害物があるとき や、フレームアウト しやすいとき	ロックしている被写体にピントを合わせ続けようとします。被写体がフォーカスエリアから外れてしまったり、被写体以外がフォーカスエリアに入ってしまうシーンに適しています。
<b>SET 3</b> 急加速 / 急減速する 被写体向け	急激な加速や減速に反応してピントを合わせようとします。被写体の速度変化が大きいシーンに適しています。
<b>SET 4</b> 急に現れる 被写体向け	フォーカスエリア内に入ってきたものに対して即座にピントを合わせようとします。急に現れる被写体や被写体を切り替えながら撮影する場合に適しています。
<b>SET 5</b> 前後左右に激しく 動く被写体向け	被写体の速度変化が大きく、さらに上下左右にも動いてフォーカスエリアから外れやすいシーンに適しています。
<b>SET 6</b> カスタム	被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性をお好みで設定できます。 <b>SET 1 ~ 5</b> で設定されている設定値を参考にして各特性を設定してください (p.144, 146)。

## 各設定の特性について

それぞれの設定は、**被写体保持特性**、**速度変化特性**、**ゾーンエリア特性**の設定値で構成されています。

### 被写体保持特性

AF エリアに距離差のある被写体以外のものが入ってきた場合、それまで追っていた被写体を保持するかどうかを決める特性です。設定値が大きいほどピントを合わせようとしている被写体を長く捉えようとします。



#### 設定値

0

1

2

3

4



- 数値が大きいほど、意図しない被写体にピントが合ってしまうと、ピントを合わせたい被写体になかなか切り替わらない場合があります。
- 数値が小さいほど、AF エリアに入ってきた意図しない被写体に切り替わる場合があります。

6

撮影メニュー

### 速度変化特性

被写体が速度変化した場合の被写体位置の予測度合いを決める特性です。数値が大きいほど急速な動きに反応し、ピント精度を上げようとします。



#### 設定値

0

1

2



- 数値が大きいほど、光の反射やコントラストがない被写体などの AF が苦手な被写体ではピントが不安定になる場合があります。

## ゾーンエリア特性

ゾーン AF エリア内のどのエリアを優先してピントを決めるかを定める特性です。



設定	説明
手前	常に手前のエリアを優先してピントを選びます。
オート	初回 AF ではゾーン中央付近の被写体にピントを合わせ（ロック）、そのあとはロックした被写体が含まれるエリアを自動で選びます。
中央	常に中央のエリアを優先してピントを選びます。

**!** ゾーンエリア特性は AF モードに **[Z]** ゾーンを選んでいるときのみ有効です。

### SET 1 ～ 5 の特性について

SET 1 ～ 5 の特性の各設定値は以下のように設定されています。

AF-C カスタム設定	被写体保持特性	速度変化特性	ゾーンエリア特性
SET 1	2	0	オート
SET 2	3	0	中央
SET 3	2	2	オート
SET 4	0	1	手前
SET 5	3	2	オート

## SET 6 カスタムの設定手順

- 1 AF-C カスタム設定の SET 6 カスタムを選びます。



- 2 被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性の設定値を設定します。フォーカスレバーで設定する項目を選び、フロントコマンドダイヤルで設定値を変更します。設定画面で **DRIVE/DELETE** ボタンを押すと、設定をリセットします。
- 3 **DISP/BACK** ボタンで設定を決定します。

## 縦 / 横位置 AF モード切替

カメラを横向きで撮影するときと、縦向きで撮影するときの AF モードを別々に設定できます。

設定	説明
OFF	横向きと縦向きを同じ位置に設定します。
フォーカスエリアのみ	フォーカスエリアの位置のみ別々に設定します。
ON	縦向きと横向きをそれぞれ別々に設定します。

## AF ポイント表示

**AF** フォーカス設定 > AF モードがゾーンまたはワイド/トラッキングのときのフォーカスエリアポイント枠を表示するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	OFF

## フォーカスポイント循環

フォーカスエリアを画面の一番端まで移動したときに、画面端で止まるか、反対側の端に回り込むかを設定できます。

設定	説明
する	フォーカスエリアが画面の一番端に移動すると、反対側の端に回り込みます。
しない	フォーカスエリアが画面端で止まります。

## フォーカス点数切り替え

AF モードがシングルポイントのときやマニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。

設定	説明
117 点 (9 × 13)	117 点 (9 × 13) のフォーカスエリアポイントから選べます。
425 点 (17 × 25)	425 点 (17 × 25) のフォーカスエリアポイントから選べます。

## プリ AF

ON にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも AF サーチを実行します。常に AF サーチが行われるため半押し後のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときに有効です。

### 設定値

ON

OFF

❗ ON にすると、バッテリーの消耗が早くなります。

## AF 補助光

ON にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

### 設定値

ON

OFF

- ❗
- シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
  - 被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
  - 人の目に近づけて発光させないでください。

## 顔検出 / 瞳 AF 設定

顔検出を使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物の明るさが適正になるように撮影できます。また、**瞳 AF** で、左右どちらの目にピントを合わせるかを選べます。



設定	説明
顔検出 ON	<p>顔検出を使用します。さらに瞳 AF の動作を選べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>瞳 AF OFF</b>：顔検出のみ行い、瞳 AF は行いません。</li> <li>● <b>瞳 AF AUTO</b>：顔を検出したときにカメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。</li> <li>● <b>瞳 AF 右目優先</b>：顔を検出したときに優先して右目にピントを合わせます。</li> <li>● <b>瞳 AF 左目優先</b>：顔を検出したときに優先して左目にピントを合わせます。</li> </ul>
OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。

- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。
- **顔検出 ON** に設定すると、**被写体検出 AF 設定**は自動的に **OFF** になります。



- フォーカスエリア内やフォーカスエリアの近くに顔を検出すると、顔の上に白い枠が表示されます。
- フォーカスエリア内に複数の顔を検出した場合は、カメラが自動で顔を選択します。
- 画面をタッチしてフォーカスエリアを移動すると、ピントを合わせる顔を変更できます。**AFモード**が **[ ] ワイド** のときはフォーカスレバー操作でピントを合わせる顔を変更することもできます。
- 目にピントが合っているときに**右目 / 左目切替**を割り当てたファンクションボタンを押すと、ピントを合わせる目を切り替えることができます。
- ピントを合わせた顔が撮影画面から外れると、顔が撮影画面に戻ることを一定時間待つため、顔以外の場所に白い枠が残ることがあります。
- 撮影条件によっては連写後に選択した顔が解除されることがあります。
- 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせるできない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。
- この設定はショートカット機能でも設定できます ( 310)。

## 被写体検出 AF 設定

動物や乗り物など、あらかじめ設定された種類の被写体を検出し、その被写体にピントを合わせるかどうかを設定できます。

設定	説明
被写体検出 ON	<p>被写体検出を使用します。さらに検出する被写体の種類を選べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>🐾 <b>動物</b>：犬、猫を検出して追尾します。</li> <li>🐦 <b>鳥</b>：鳥、昆虫を検出して追尾します。</li> <li>🚗 <b>クルマ</b>：主にモータースポーツの車両や、車両のフロント部分を検出して追尾します。</li> <li>🏍️ <b>バイク &amp; 自転車</b>：バイクや自転車のライダーを検出して追尾します。</li> <li>✈️ <b>飛行機</b>：飛行機のコックピットや機首、ボディ、ドローンを検出して追尾します。</li> <li>🚆 <b>電車</b>：鉄道車両の運転室や車両前面を検出して追尾します。</li> </ul>
OFF	被写体検出を使用しません。

❗ 被写体検出 ON に設定すると、👤 **顔検出 / 瞳 AF 設定** は自動的に OFF になります。



- フォーカスエリア内やフォーカスエリアの近くに被写体を検出すると、被写体の上に白い枠が表示されます。
- フォーカスエリア内に複数の被写体を検出した場合は、カメラが自動で被写体を選択します。
- 画面をタッチしてフォーカスエリアを移動すると、ピントを合わせる被写体を変更できます。**AFモード**が  **ワイド**のときはフォーカスレバー操作でピントを合わせる被写体を変更することもできます。
- ピントを合わせた被写体が撮影画面から外れると、被写体が撮影画面に戻ることを一定時間待つため、被写体以外の場所に白い枠が残ることがあります。
- 撮影条件によっては連写後に選択した被写体が解除されることがあります。
- 縦位置撮影時も被写体を検出できます。
- この設定はショートカット機能でも設定できます (📖 310)。

## AF+MF

**ON** に設定すると、AF ロック状態（シャッターボタンを半押ししたときなど）でフォーカスリングを回したときに AF ロックが解除され、マニュアルフォーカスで撮影できます。

設定値	
ON	OFF
 <ul style="list-style-type: none"> <li>フォーカスリングを回してから一定時間カメラを操作しないと、自動的に設定されているフォーカスモードに戻ります。</li> <li><b>MF アシストのデジタルスプリットイメージとデジタルマイクロプリズムは使用できません。</b></li> </ul>	

### AF+MF 時のフォーカス位置拡大表示について

 **フォーカス設定 > フォーカスチェック** を **ON** にしてフォーカスリングを回すと、**AF モードがシングルポイント** のときにエリア選択位置でフォーカス位置を拡大表示できます。拡大倍率はリアコマンドダイヤルを回して切り替えます。

## MF アシスト

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のピント確認方法を設定します（📖 89）。

設定	説明
デジタル スプリット イメージ	画面中央部にスプリットイメージが表示されます。 スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整できます。スプリットイメージは <b>モノクロ</b> 、 <b>カラー</b> のいずれかを選べます。
デジタル マイクロ ブリズム	ピントがずれているときは像のボケが強調されて格子模様になり、ピントが合うと格子模様が消えて像が明確になります。
フォーカス ピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。
<b>OFF</b>	通常表示です（MF アシストを使用しません）。

## MF アシストフォーカスリング連動

**ON** にすると、マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回したときのみ **MF アシスト** で設定した表示が表示されます。

設定値	
<b>ON</b>	<b>OFF</b>

 フォーカスリングを回してから一定時間カメラを操作しないと、**MF アシスト** が終了します。

## フォーカスチェック

**ON** にすると、マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）にフォーカスリングを回すと自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。

設定値	
ON	OFF



- フォーカスレバーを中央に押すと通常表示に戻ります。
- 拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。

## 測光 & フォーカスエリア連動

**ON** にすると、測光がマルチまたはスポットのときにフォーカスフレームの位置に連動して測光します。

設定値	
ON	OFF

## カメラアイコン ワンプッシュ AF 時の動作

フォーカスモードが **M** のときの AF ロックまたは **AF-ON** を割り当てたファンクションボタンによるピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
AF-S	ボタンを押すと、オートフォーカスでピントを合わせます。
AF-C	ボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。



動画の設定も同時に変更されます（📖 201）。

## 被写界深度スケール

被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を変更できます。

設定	説明
ピクセル基準	パーソナルコンピューターなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。
フィルム基準	プリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にします。

 動画の設定も同時に変更されます（ 201）。

## レリーズ優先 / フォーカス優先

シャッターボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカスモードが **AF-S** のときと、**AF-C** のときでそれぞれ個別に設定できます。

設定	説明
レリーズ	ピントが合っていないくてもすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したいときに設定します。
フォーカス	ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。

 **AF+MF** が **ON** のときは、設定にかかわらずピントが合っていないくてもすぐに撮影できます。

## フォーカスリミッター

ピントを合わせる距離を制限して、ピントを合わせるスピードを速くします。

設定	説明
OFF	フォーカスリミッターを使用しません。
カスタム	最短距離と最長距離を指定してピントを合わせる範囲を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>実行</b>：設定した範囲で撮影します。</li> <li>• <b>設定</b>：2つの対象物を指定して、その間の範囲にピントを合わせるように設定します。</li> </ul>
プリセット1 プリセット2	あらかじめ設定されている範囲でピントを合わせて撮影します。

 フォーカスリミッターで設定、表示される距離は、実際の距離と異なる場合があります。

-  **カスタム**設定時は次の操作もできます。
  - タッチパネルで2つの対象物をタッチして指定することもできます。
  - 対象物を選ぶかわりにフォーカスリングを回して無限遠に合わせると、最長距離を無限遠に設定できます。
- 動画の設定も同時に変更されます（📖 201）。

## タッチパネルモード

液晶モニター（LCD）のタッチ操作で、ピント合わせやフォーカスエリア選択ができるように設定できます。

タッチパネルモード	意味
 ショット	シャッターボタンを押す代わりに、画面のピントを合わせたいところをタッチして撮影します。連写撮影では、画面を押し続けている間、連続撮影します。
 AF	<ul style="list-style-type: none"><li>フォーカスモードが <b>S</b> (AF-S) のときは、タッチした場所にピントを合わせ、AF ロックします。AF ロックを解除するには、<b>AF OFF</b> アイコンをタッチします。</li><li>フォーカスモードが <b>C</b> (AF-C) のときは、タッチした被写体にピントを合わせ続けます。ピント合わせの動作を解除するには、<b>AF OFF</b> アイコンをタッチします。</li><li>フォーカスモードが <b>M</b> (MF) のときは、ワンブッシュ AF の動作になり、タッチした場所にピントを合わせます。</li></ul>
 AF OFF	
 エリア選択	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
 OFF	タッチパネルモードを無効にします。



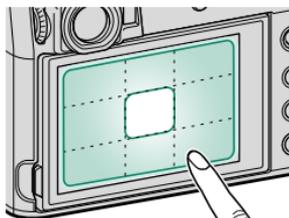
- タッチパネルの動作は AF モードによって異なります。
-  操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 >  タッチパネル設定が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。

## ピント位置拡大中のタッチパネルの動作

ピント位置拡大中（フォーカスチェックがオンのとき）は、タッチパネルの動作が異なります。

### ■ 画面の中央をタッチしたときの動作

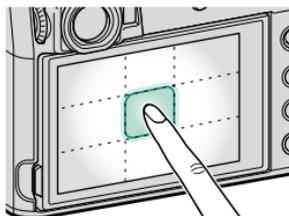
画面の中央をタッチしたときは、以下のように動作します。



タッチパネルモード	動作
ショット	AF-S/MF：撮影
AF	AF-S：AF
	MF：ワンプッシュ AF
エリア選択	AF-S：AF
	MF：ワンプッシュ AF
OFF	AF-S/MF：OFF

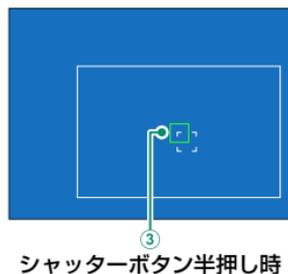
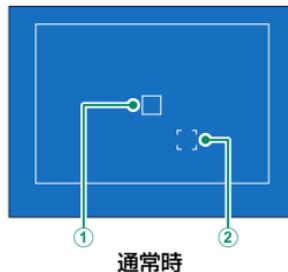
### ■ 画面の中央以外の場所をタッチしたときの動作

タッチパネルモードや静止画/動画撮影の状態に関わらず、シングルタッチすると常に拡大表示する位置が移動するだけで、他の動作は行いません。



## AF フレーム補正

OVF を使用して近くの被写体を撮影したときに、実際にピントが合う位置の目安を表示します。**ON** にすると、通常の AF フレーム(①)に加えて撮影距離が約 50cm のときにピントが合う位置を示す補正枠(②)が表示されます。シャッターボタンを半押しすると、実際にピントが合っている位置に緑色の AF フレーム(③)が表示されます。



### 設定値

ON

OFF



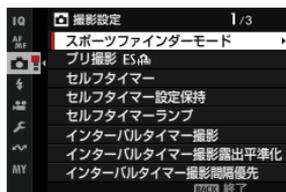
- 50cm よりも近い位置にピントが合ったときは補正枠は表示されません。
- フォーカスレバーの中央を押すと、一時的に **OFF** にできます。

## 撮影設定（静止画）

静止画撮影時の設定を設定できます。

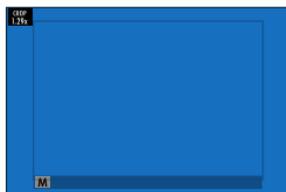
静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、  
**📷**（撮影設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



### スポーツファインダーモード

撮影画面をクロップし、枠内を撮影します。  
スポーツや鳥など動く被写体を撮影する場合に  
便利です。



設定	説明
ON	画面内に画角 1.29 倍相当のフレーム（枠）が表示され、フレーム（枠）内をクロップして撮影します。
OFF	クロップ撮影しません。

- 
- 撮影メニューの **IQ** 画質設定 > 画像サイズは **M** サイズのみ選べます。
  - 電子シャッターで撮影可能なモードのときは使用できません。

## プリ撮影 ES

シャッターボタンを全押ししてから撮影画像がメモリーカードに記録されるまでのタイムラグを抑えるために、シャッターボタンを半押ししたときから電子シャッターによる撮影を開始し、全押し直前の画像から連写した画像をメモリーカードに記録します。

設定値	
ON	OFF

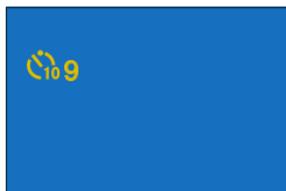


- 連写設定が **CH** (高速連写) で **ES 電子シャッター** のときにプリ撮影を行います (  168 )。
- フラッシュは発光しません。

## セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてからセルフタイマーが開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがきれるまでの秒数が表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。



設定	説明
🕒 2 秒	シャッターボタンを全押ししてから 2 秒後にシャッターがきれます。シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐときなどに使用します。セルフタイマー開始と同時にカメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。
🕒 10 秒	シャッターボタンを全押ししてから 10 秒後にシャッターがきれます。撮影者を含めた集合写真を撮影するときなどに使用します。カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。
OFF	セルフタイマーを使用しません。

- ❗
- シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならなかったりすることがあります。
  - セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。

## セルフタイマー設定保持

ON にすると、電源をオフにしてもセルフタイマーの設定が維持されます。

設定値	
ON	OFF

## セルフタイマーランプ

ON にすると、セルフタイマー撮影中にセルフタイマーランプが点滅します。夜景を撮影するときなどは OFF に設定してください。

設定値	
ON	OFF

## インターバルタイマー撮影

設定した時間ごとに自動撮影するインターバルタイマー撮影の撮影間隔と撮影回数を設定できます。

- 1 撮影メニューから 撮影設定 > インターバルタイマー撮影を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- 2 カメラ内タイマーで撮影を選び、MENU/OK ボタンを押します。  
インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



タイマー付きリモートリリースで撮影するときは外部タイマーで撮影を選んでください。撮影画面に戻り、リモートリリースで撮影ができます。

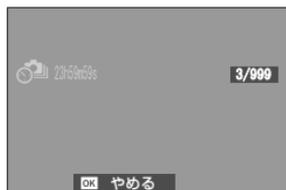
### 3 撮影間隔と撮影回数を設定し、MENU/OK ボタンを押します。

開始時間設定画面が表示されます。



### 4 開始時間を設定し、MENU/OK ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影が開始されます。



**!** バルブ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。

- 📷** 三脚のご使用をおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れに注意してください。
- インターバルタイマー撮影中に **PLAY** ボタンを押すと、撮影した画像を確認できます。もう一度 **PLAY** ボタンを押すか、撮影の時間になると、撮影画面に戻ります。
- インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると画面表示が復帰します。
- 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを押すと、画面表示が復帰します。
- インターバルタイマー撮影中で画面の表示が消えているときは、インジケータランプが緑色に点滅します。
- 撮影回数を  $\infty$  に設定すると、インターバルタイマー撮影設定前の画面に表示されていた撮影可能枚数まで撮影します。

## インターバルタイマー撮影露出平準化

ON にすると、インターバルタイマー撮影時にカメラが自動で露出を調整し、直前に撮影された画像と明るさが大きく変化しないようにします。

### 設定値

ON

OFF

- ❗ 被写体の明るさが大きく変化するとき、露出が安定しないように見えることがあります。その場合、**インターバルタイマー撮影の撮影間隔**を短くすることをおすすめします。
- マニュアル (M) 撮影のときは、感度が A (オート) のときのみ露出の平準化を行います。

## インターバルタイマー撮影間隔優先

ON にすると、インターバルタイマー撮影時にシャッタースピードが撮影間隔よりも長くなるように、カメラが自動でシャッタースピードを調整します。

### 設定値

ON

OFF

- ❗ シャッタースピードが A (オート) のときのみ有効です。

## AE ブラケットング設定

AE ブラケットング撮影の撮影コマ数などを設定できます。

サブメニュー	内容
コマ数 / ステップ数設定	AE ブラケットングで撮影するコマ数と明るさの変化量（ステップ数）を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>コマ</b>：撮影するコマ数を選びます。</li> <li>• <b>ステップ</b>：明るさの変化量を選びます。</li> </ul>
1コマ / 連続	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>1コマ</b>：シャッターボタンを押すたびに1枚ずつ撮影します。</li> <li>• <b>連続</b>：シャッターボタンを1度押すと、<b>コマ数 / ステップ数設定</b>の設定にしたがって連続撮影します。</li> </ul>
撮影順序設定	AE ブラケットングの撮影順序を設定できます。

## フィルムシミュレーション BKT

フィルムシミュレーション BKT 撮影する3枚の画像に対するフィルムシミュレーションの設定をそれぞれ（フィルム1、フィルム2、フィルム3）設定します（📖 122）。

## フォーカス BKT 設定

フォーカス BKT 撮影の方法を**マニュアル**か**AUTO**で選べます（📖 101）。

## 測光

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します（📖 93）。

## シャッター方式

使用するシャッター方式を変更できます。電子シャッターを使用すると、シャッター音を消して撮影することもできます。

設定	説明
MS メカニカルシャッター	メカニカルシャッターで撮影します。
ES 電子シャッター	電子シャッターで撮影します。
M/E メカニカル+電子	カメラが状況に応じてメカニカルまたは電子シャッターで撮影します。

ES 電子シャッターまたは M/E メカニカル + 電子に設定すると、シャッター速度ダイヤルを **4000** にしたあとにリアコマンドダイヤルで、より高速のシャッター速度を選べます。

-  電子シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
- 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
  - 高速シャッター使用時においても、手持ち撮影すると画像が歪んで撮影される場合があります。三脚のご使用をおすすめします。
  - 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。
  - シャッター音を消して撮影できますが (図 279)、被写体のプライバシーや肖像権などに十分ご配慮の上、お客様の責任でお使いください。
- **MS メカニカルシャッター**使用時は開放側の絞り値では露出精度が低下する場合があります (絞りによる制限 F2:1/2000 秒まで、F4.5 以上:1/4000 秒まで)。また、**M/E メカニカル + 電子**使用時も絞り値によって**メカニカル**と**電子シャッター**の切り替わるタイミングが変わります。

-  電子シャッター使用時は、以下の機能制限があります。
- ISO 感度は 125 ~ 12800 に制限されます。
  - 電子シャッターで撮影されるときは、長秒時ノイズ低減は機能しません。
  - フラッシュは発光しません。

## フリッカー低減

蛍光灯などの照明下で画面や画像に発生するちらつき（フリッカー現象）を低減します。

設定	説明
全コマ	全コマでフリッカー低減処理を行います。1コマ目のみでフリッカー低減処理を行う場合に対し、連写速度が遅くなります。
1コマ目のみ	1コマ目のみでフリッカー低減処理を行い、2枚目以降（連写時）はその処理を継続します。連写中にフリッカーが見えてきてしまうことがあります。
OFF	フリッカー低減を行いません。



- フリッカー低減を使用すると、撮影にかかる時間が長くなります。
- 電子シャッターでは、フリッカー低減がOFFになります。
- 動画撮影では、使用できません。

## フリッカーレス S.S. 設定

ON にすると、LED 照明などで発生するフリッカー現象の影響を低減するために、通常よりもシャッタースピードを細かく設定することができます。

設定値	
ON	OFF



撮影モードが **S** または **M** のときのみ有効です。

## ブレ防止モード

手ブレ補正の ON/OFF を設定します。

設定	説明
常時	常に手ブレ軽減を行います。
撮影時	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。フォーカスモードが C のときは、シャッターボタン半押し時も手ブレを軽減します。
OFF	手ブレ軽減を使用しません。OFF のときは、  が表示されます。



手ブレ補正機能が動作すると、振動や動作音を感じる場合があります。

## 感度 AUTO 設定

ISO 感度を A (オート) に合わせたときの基準 ISO 感度、上限 ISO 感度、低速シャッター限界を設定できます。AUTO1、AUTO2、AUTO3 にそれぞれ異なった値を設定できます (📖 92)。

## コンバージョンレンズ

使用する別売のコンバージョンレンズに合わせて設定を変更します (📖 330)。

設定	説明
ワイド	別売のワイドコンバージョンレンズを装着時に選びます。
テレ	別売のテレコンバージョンレンズを装着時に選びます。
OFF	コンバージョンレンズを非装着時に選びます。

## デジタルテレコン

異なる焦点距離の拡大画像を撮影できます（ 94）。

設定	説明
70 mm	画像を2倍に拡大して撮影できます。画像は切り抜かれ、画像サイズが <b>L</b> や <b>M</b> の場合は自動的に <b>S</b> に変更されます。
58 mm <sup>*1</sup>	
100 mm <sup>*2</sup>	
50 mm	画像を1.4倍に拡大して撮影できます。画像は切り抜かれ、画像サイズが <b>L</b> の場合は自動的に <b>M</b> に変更されます。
41 mm <sup>*1</sup>	
72 mm <sup>*2</sup>	
OFF	デジタルテレコンを使用しません。

\*1 ワイドコンバージョンレンズ装着時

\*2 テレコンバージョンレンズ装着時

## ND フィルター

**ON** にすると、カメラに内蔵された ND フィルターが使用され、光量を4段分減らすことができます。明るい場所でもシャッター速度を遅くしたり、絞りを開いたりできるようになります。スローシャッターでは動きのある写真が、絞りを開いた設定では背景ボケを活かした写真が撮影できます。

設定値	
ON	OFF

 ND フィルターは動画撮影時でも使用できます。

## ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーションをインストールしておく必要があります。

 スマートフォンアプリケーションについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/>

## フラッシュ設定（静止画）

静止画撮影時のフラッシュに関する設定を変更できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、  
**f**（フラッシュ設定）タブを選びます。



### フラッシュ機能設定

フラッシュの発光モードや発光量または発光強度などを設定できます。使用するフラッシュによって設定できる項目が異なります。



各フラッシュの設定は「オプション品・外部機器の使い方」の「クリップオンフラッシュ」をご覧ください（[図 332](#)）。

### 赤目補正

暗い場所でフラッシュ撮影したときの「赤目現象」を軽減します。

設定	説明
赤目抑制発光	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光による赤目補正を行います。
OFF	赤目補正を行いません。

赤目抑制発光は、TTL モードで使用できます。

## TTL-LOCK モード

TTL ロックの動作方法を設定します。TTL ロックを使用すると、TTL 発光による複数撮影においてフラッシュの発光量を一定にするためにブレ発光による演算結果をロックして撮影条件や調光を保つことができます。

設定	説明
直前の発光条件でロック	カメラが記憶している直前の撮影で使用された TTL 発光の撮影条件でロックします。
調光発光してロック	調光発光して、その調光結果でロックします。



- TTL ロックを使用するには、ファンクションボタンに **TTL-LOCK** を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、TTL ロックを設定したり、解除したりすることができます (P.319)。
- ロックしていても調光補正はできません。
- **直前の発光条件でロック** を設定していても直前の発光条件がないときは、エラーメッセージが表示されます。

## LED ライト設定

フラッシュの LED ビデオライトを静止画撮影時の AF 補助光やキャッチライトとして使用するかどうかを設定できます。LED ライトを搭載したクリップオンフラッシュを使用しているときに設定できます。

設定	説明
キャッチライト	キャッチライトとしてのみ使用します。
AF 補助光	AF 補助光としてのみ使用します。
AF 補助光+ キャッチライト	AF 補助光とキャッチライトとして使用します。
OFF	どちらも使用しません。



フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

## コマンダー設定

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。

設定	説明
<b>Gr A</b>	A グループに設定します。
<b>Gr B</b>	B グループに設定します。
<b>Gr C</b>	C グループに設定します。
<b>OFF</b>	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。



フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

## CH 設定

コマンダーフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。

設定値			
CH1	CH2	CH3	CH4

## 内蔵フラッシュ

内蔵フラッシュを使用するかどうかを設定します。

設定	説明
ON	内蔵フラッシュを使用します。
OFF	内蔵フラッシュを使用しません。別売のクリップオンフラッシュを使用したり、ホットシューにシンクロケーブルを取り付けて他のフラッシュを使用する場合に設定します。

## 動画設定（静止画）

静止画撮影時に**動画リリース**を割り当てたファンクションボタンを押して動画を撮影するときの設定ができます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、（動画設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



### 動画モード

動画撮影メニューと共通のメニューです（ 182）。設定を変更すると動画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

### ハイスピード撮影

動画撮影メニューと共通のメニューです（ 183）。設定を変更すると動画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

### メディア記録設定

動画撮影メニューと共通のメニューです（ 184）。設定を変更すると動画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

### ブレ防止モード

動画撮影メニューと共通のメニューです（ 189）。設定を変更すると動画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

### ブレ防止モードブースト

動画撮影メニューと共通のメニューです（ 189）。設定を変更すると動画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

## オーディオ設定

動画撮影時の音声に関する設定を変更できます。

### 内蔵マイクレベル設定

内蔵マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

### 外部マイクレベル設定

外部マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

### マイク端子設定

マイク/リモートリリース端子に取り付ける機器を設定します。

設定	説明
マイク	外部マイクを直接取り付けるときに選びます。
ライン	ライン出力する外部音声機器を取り付けるときに選びます。

## マイクレベルリミッター

マイクへの音声信号の過大入力による音割れを抑制します。

設定値	
ON	OFF

## 風音低減

動画撮影時に風音によるノイズを低減して録音します。

設定値	
ON	OFF

## ローカットフィルター

動画撮影時に低域ノイズをカットして録音します。

設定値	
ON	OFF

## ヘッドホン音量

ヘッドホンの音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1～10	音量を1～10に設定します。

## マイク / リモートリリース設定

動画撮影メニューと共通のメニューです (📖 206)。設定を変更すると動画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

## REC 枠表示

動画撮影メニューと共通のメニューです (📖 191)。設定を変更すると動画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

## 動画設定（動画）

動画撮影に関する設定を変更できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、  
（動画設定）タブを選びます。



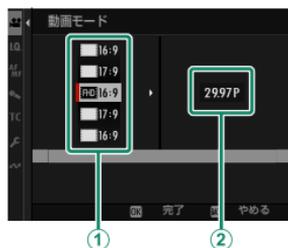
### 動画設定一覧

現在の動画撮影の設定を一覧表示します。

 動画のクイックメニューが表示されているときに **DISP/BACK** ボタンを押しても表示できます。

## 動画モード

撮影する動画の画像サイズとアスペクト比、フレームレートを変更できます。



1 撮影メニューから **動画設定** > **動画モード**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

2 フォーカスレバーの上下で動画の画像サイズとアスペクト比を選び (①)、フォーカスレバーを右に動かします。

- **6.2K 16:9** を選ぶと、アスペクト比 16:9 の 6.2K 動画を撮影します。
- **4K 16:9**、**DCI 17:9** を選ぶと、それぞれアスペクト比 16:9 または 17:9 の 4K 高画質動画を撮影します。
- **4K 16:9**、**DCI 17:9** を選ぶと、それぞれアスペクト比 16:9 または 17:9 の 4K 動画を撮影します。
- **FHD 16:9**、**FHD 17:9** を選ぶと、それぞれアスペクト比 16:9 または 17:9 の FULL HD 動画を撮影します。

3 フレームレートを選び (②)、**MENU/OK** ボタンを押します。

設定値					
23.98P	24P	25P	29.97P	50P	59.94P

 フレームレートは、動画モードによって選択できる設定値が異なります。

## ハイスピード撮影

ハイスピード動画を撮影するかどうかを設定できます。素早く動く被写体の撮影や、肉眼では確認しづらい一瞬のアクションもスローモーションのような映像で楽しむことができます。**ON** を選ぶと撮影時と再生時のフレームレートをそれぞれ設定できます。

 **ON HDMI ONLY** を選ぶと HDMI 端子に接続した外部レコーダーにのみ出力することができます。このとき、撮影時のフレームレートの **200P** と **240P** は選べません。また、再生時のフレームレートは設定できません。

## 画像サイズ

設定値	
 16:9	 17:9

## 撮影時

設定値			
100P	120P	200P	240P

## 再生時

設定値					
23.98P	24P	25P	29.97P	50P	59.94P

- 
- 音声は記録されません。
  - 撮影 1 秒に対し、設定されたビットレートを目標に圧縮してメモリーカードに記録します。
  - 再生フレームレートによって選択できる撮影フレームレートが変わります。

## セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてから録画が開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがきれるまでの秒数がカウントダウン表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。



設定値			
3 秒	5 秒	10 秒	OFF

## メディア記録設定

動画の記録先やファイル形式、圧縮方式、ビットレートについての設定ができます。

### メディア記録設定

動画の記録先やファイル形式、圧縮方式などを設定できます。

### 動画の記録先

撮影した動画の記録先や記録方法、出力先を設定できます。

設定	説明
	メモリーカードにのみ保存します。
HDMI	HDMI 端子に接続した機器にのみ出力します。

## ファイル形式、圧縮方式

動画のファイル形式や、圧縮方式を設定できます。

設定	説明
H.264 420 MOV	再生互換性が高い圧縮方式です。4:2:0 8bit データを Long GOP で圧縮します。
H.264 420 MP4	WEB へのアップロードなどに適した動画を撮影できます。
H.265 420 MOV	H.264 よりも圧縮効率が高い圧縮方式です。4:2:0 10bit データを Long GOP で圧縮します。
H.265 422 MOV	H.264 よりも圧縮効率が高い圧縮方式です。4:2:2 10bit データを Long GOP で圧縮します。



- HDMI 端子に接続した機器には、H.264 の場合は 4:2:2 8bit、H.264 以外の場合は 4:2:2 10bit で出力します。
- **Long GOP** は良好な画質と高い圧縮率を備えた圧縮方式です。データ量は小さく、長時間の撮影に適しています。
- **動画モード、ハイスピード撮影、F-Log/HLG 撮影** の設定によって、設定できるファイル形式や圧縮方式が異なります。

## ビットレート

動画のビットレートを設定できます。

設定値		
50Mbps	100Mbps	200Mbps



ビットレートはハイスピード動画や圧縮方式の設定によって選択できる設定値が異なります。映像によっては設定値より低い値となる場合があります。

## HDMI 出力設定

HDMI 端子に接続した機器に撮影画面を出力する場合の設定ができます。

### HDMI 出力情報表示

ON にすると、動画を HDMI で出力したときに、カメラに表示されている情報表示をそのまま表示します。

設定値	
ON	OFF

### HDMI レックコントロール

動画撮影時に、シャッターボタンと連動して動画の開始 / 停止制御信号を HDMI 機器に送るかどうかを設定します。

設定値	
ON	OFF

## 動画クロップ倍率固定モード

動画のクロップ倍率を 1.25 倍に固定します。動画設定を変更したときに撮影範囲を合わせやすくなります。

設定値	
ON	OFF

## F-Log/HLG 撮影

F-Log 撮影および HLG (Hybrid Log-Gamma) による映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。

設定	説明
  	メモリーカードと外部レコーダーの両方にフィルムシミュレーション映像が記録・出力されます。
 F-Log  F-Log	メモリーカードと外部レコーダーの両方に F-Log で撮影された映像が記録・出力されます。
 F-Log2  F-Log2	メモリーカードと外部レコーダーの両方に F-Log2 で撮影された映像が記録・出力されます。
 HLG  HLG	メモリーカードと外部レコーダーの両方に HLG で撮影された映像が記録・出力されます。



- F-Log** および **FLog2** は、撮影後の映像処理 (ポストプロダクション) を前提としたやわらかいガンマカーブで、広い色空間の映像になります。  
**FLog2** は **F-Log** よりもダイナミックレンジが広いガンマカーブです。  
**F-Log** は ISO 感度が ISO 500 以上、ISO 12800 以下、**FLog2** は ISO 感度が ISO 1000 以上、ISO 12800 以下になります。
- HLG** (Hybrid Log-Gamma) は、国際標準規格 (ITU-R BT2100) に準拠した動画撮影方式のひとつです。HLG 方式で記録した映像を HLG 対応ディスプレイで再生することで、明暗差の大きいシーンや、彩度が高い被写体においてリアリティのある高品位な映像を表現できます。ISO 感度は ISO 800 以上、ISO 12800 以下になります。
- フィルムシミュレーションの映像 (🎞️) は、撮影メニューの **画質設定 > フィルムシミュレーション** で選んでいる設定になります。

## データレベル設定

撮影する動画の信号値の範囲を設定できます。

設定	説明
ビデオレンジ	動画の階調を 8bit の場合は 16 ～ 235、10bit の場合は 64 ～ 940 の制限された範囲で記録します。
フルレンジ	動画の階調を 8bit の場合は 0 ～ 255、10bit の場合は 0 ～ 1023 の範囲で記録します。

## 測光

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 93)。

## フリッカーレス S.S. 設定

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 169)。

設定値

ON

OFF

## ブレ防止モード

手ブレ補正のモードを設定します。

設定	説明
IBIS	センサーシフト式（IBIS）のブレ補正を行います。
IBIS + DIS	IBISに加え、電子式（DIS）のブレ補正を行います。 <b>動画モード</b> に応じて画角がクロップされます。大きな手ブレを補正することができます。
OFF	ブレ補正を行いません。 <b>OFF</b> のときは、  が表示されます。

 手ブレ補正機能が動作すると、振動や動作音を感じる場合があります。

## ブレ防止モードブースト

手ブレ補正の強さを設定します。

設定	説明
ON	構図を固定して撮影する場合に適しています。
OFF	構図を変えながら撮影する場合に適しています。

 **ブレ防止モードブースト**を割り当てたファンクションボタンを押すと、動画撮影中に設定を切り替えることができます（ 319）。

## ゼブラ設定

動画モードの画面に、露出オーバーで白とびが発生しそうな高輝度部分を縞状のパターン（ゼブラ）で表示できます。

設定	説明
ゼブラ右	 右上がりのゼブラ表示になります。
ゼブラ左	 左上がりのゼブラ表示になります。
切	ゼブラ表示しません。

## ゼブラレベル

ゼブラ設定のゼブラレベル（輝度レベル）を設定します。

設定値										
50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100

## 動画専用操作モード

**ON** にすると、コマンドダイヤルとタッチ操作で撮影時の設定を変更できます。動画撮影時、カメラの操作音を記録したくないときに便利です（ 32）。

設定値	
ON	OFF

## REC 枠表示

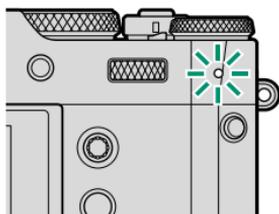
**ON** にすると、動画の撮影中であることを示す赤い枠を画面に表示します。

設定値	
ON	OFF

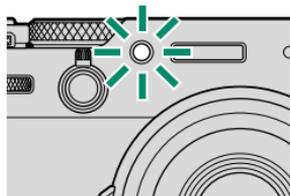
 ハイスピード撮影時は緑色の枠が表示されます。

## タリーランプ

動画撮影中に点灯するランプの切り替え（インジケータランプまたは AF 補助光ランプ）や点灯または点滅の設定を変更できます。



インジケータランプ



AF 補助光ランプ

設定	説明
前面 OFF 背面	動画撮影中はインジケータランプが点灯します。
前面 OFF 背面	動画撮影中はインジケータランプが点滅します。
前面 背面	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプが点灯します。
前面 背面 OFF	動画撮影中は AF 補助光ランプが点灯します。
前面 背面	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプが点滅します。
前面 背面 OFF	動画撮影中は AF 補助光ランプが点滅します。
前面 OFF 背面 OFF	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプは消灯します。

## カスタム選択

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、静止画とは別に設定してください（ 134）。

## カスタム登録 / 編集

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、静止画とは別に設定してください（ 135）。

## カスタム登録内容の自動更新

静止画と共通のメニューです（ 141）。

## コンバージョンレンズ

静止画と共通のメニューです（ 170）。

## ND フィルター

静止画と共通のメニューです（ 171）。

## ワイヤレス通信

静止画と共通のメニューです（ 172）。

## 画質設定（動画）

動画撮影時の画質に関する機能を設定できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**IQ**（画質設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



### フィルム シミュレーション

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 122）。

### モノクローム カラー

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 124）。

### ホワイトバランス

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 126）。

## ダイナミックレンジ

撮影する動画のダイナミックレンジを変更できます。

設定	説明
 100%	それぞれの設定については「ダイナミックレンジ」(頁 130) を参照してください。
 200%	
 400%	



- 動画撮影時のダイナミックレンジには、**AUTO**（自動調整）はありません。
-  **200%**は ISO 感度が ISO 250 以上 ISO 12800 以下、 **400%**は ISO 500 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。
-  **動画設定 > F-Log/HLG 撮影**が   の場合に設定できます。

## トーンカーブ

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (頁 132)。

## カラー

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (頁 132)。

## シャープネス

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 132)。

## 高感度ノイズ低減

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 132)。

## フレーム間ノイズリダクション

**AUTO** にすると、撮影条件に応じて自動的にフレーム間のノイズを軽減します。

設定値	
<b>AUTO</b>	<b>OFF</b>

 カメラを動かした場合や動いている被写体を撮影した場合は、残像が出る場合があります。

## 周辺光量補正

**ON** にすると、動画の周辺光量を補正します。

設定値	
<b>ON</b>	<b>OFF</b>

 撮影した動画に縞模様が発生する場合は **OFF** にしてください。

## フォーカス設定（動画）

動画撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**AF**（フォーカス設定）タブを選びます。

メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



### フォーカスエリア選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときのピントを合わせるエリアの位置を変更できます。フォーカスモードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます（[図 82](#)）。

！ 動画撮影中はフォーカスエリアのサイズ変更はできません。

### AF モード

動画撮影時のピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
オートエリア	ピントを合わせるエリアをカメラが自動的に選びます。
ワイド/ トラッキング	フォーカスモードが <b>C</b> のときにフォーカスレバーを中央に押すか画面をタッチすると、被写体を自動で追尾します。フォーカスモードが <b>S</b> のときはピントを合わせる被写体をカメラが自動的に選びます。
エリア選択	ピントを合わせるエリアを選べます。

## AF-C カスタム設定

動画撮影時にフォーカスモードを**C**に設定したときのピントの追従性を設定します。

### 被写体保持特性

AF エリアに距離差のある被写体以外のものが入ってきた場合、それまで追っていた被写体を保持するかどうかを決める特性です。被写体保持特性については、「AF-C カスタム設定」の「各設定の特性について」の「被写体保持特性」（ 144）を参照してください。

#### 設定値

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---



- 数値が大きいほど、意図しない被写体にピントが合ってしまうと、ピントを合わせたい被写体になかなか切り替わらない場合があります。
- 数値が小さいほど、AF エリアに入ってきた意図しない被写体に切り替わる場合があります。

### AF 速度

AF でピントを合わせる速度を調整します。速度を速くしたいときは「+」側に、遅くしたいときは「-」側に設定します。

#### 設定値

-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5
----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----

## フォーカスポイント循環

静止画と共通のメニューです（ 147）。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

## 顔検出 / 瞳 AF 設定

動画撮影時の顔検出の設定ができます。

設定	説明
顔検出 ON	設定については「  顔検出 / 瞳 AF 設定」(📖 149) を参照してください。
OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。

 動画撮影時はフォーカスモード切換スイッチを **S** にしても、 フォーカス設定 >  顔検出 / 瞳 AF 設定が顔検出 ON のときは、自動的に **C** (コンティニュアス AF) になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、 顔検出 / 瞳 AF 設定を顔検出 ON にしても顔検出は行われません。

## 被写体検出 AF 設定

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください(📖 151)。

 動画撮影時はフォーカスモード切換スイッチを **S** にしても、 フォーカス設定 >  被写体検出 AF 設定が被写体検出 ON のときは、自動的に **C** (コンティニュアス AF) になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、 被写体検出 AF 設定を被写体検出 ON にしても被写体検出は行われません。

## AF+MF

ON にすると、フォーカスモードが **S** や **C** のときにマニュアルフォーカスで撮影できます。シャッターボタンを半押しすると解除できます。

設定値	
ON	OFF

## MF アシスト

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のピント確認方法を設定します（ 89）。

設定	説明
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。
フォーカスマーター	画面上の矢印の向きで被写体の前後どちらにピントが合っているかを表示します。
フォーカスマーター + ピーキング	フォーカスマーターとフォーカスピーキングの両方を使用してピントが確認できます。
フォーカスマップ	ピントが合っている場所や外れている場所を示す指標を画面上に表示します。
OFF	通常表示です（MF アシストを使用しません）。

## MF アシストフォーカスリング連動

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 154）。

## フォーカスチェック

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（ 155）。

## ワンプッシュ AF 時の動作

静止画と共通のメニューです（ 155）。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

## 被写界深度スケール

静止画と共通のメニューです（ 156）。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

## フォーカスリミッター

静止画と共通のメニューです（ 157）。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

## タッチパネルモード

液晶モニター（LCD）のタッチ操作で、ピント合わせやフォーカスエリア選択ができるように設定できます。

タッチパネルモード	意味
 AF	<p>ピントを合わせたいところの画面をタッチして、ピント合わせを行います。シャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度全押しすると動画撮影を終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>フォーカスモードが <b>S</b> (AF-S) のときは、動画撮影中にもう一度画面をタッチすると、タッチした場所でピントを合わせ直します。</li><li>フォーカスモードが <b>C</b> (AF-C) のときは、動画撮影中、タッチした場所にピントを合わせ続けます。</li><li>フォーカスモードが <b>M</b> (MF) のときは、動画スタンバイ中はタッチした場所でワンプッシュ AF の動作を行い、動画撮影中はタッチした場所にフォーカスエリアを移動します。</li></ul>
 エリア選択	<p>フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動します。シャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度全押しすると動画撮影を終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>フォーカスモードが <b>S</b> (AF-S) のときは、動画撮影中にもう一度画面をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動します。ピント合わせをする場合は、<b>AF-ON</b> を割り当てたボタンを押してください。</li><li>フォーカスモードが <b>C</b> (AF-C) のときは、動画撮影中、タッチした場所にピントを合わせ続けます。</li><li>フォーカスモードが <b>M</b> (MF) のときは、タッチした場所にフォーカスエリアを移動させません。</li></ul>
 OFF	<p>タッチパネルモードを無効にします。</p>



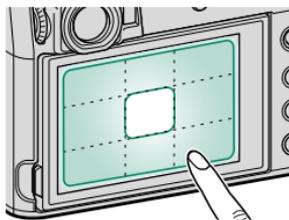
- タッチパネルの動作は AF モードによって異なります。
-  操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 >  タッチパネル設定が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。

### ピント位置拡大中のタッチパネルの動作

ピント位置拡大中 (フォーカスチェックがオンのとき) は、タッチパネルの動作が異なります。

#### ■ 画面の中央をタッチしたときの動作

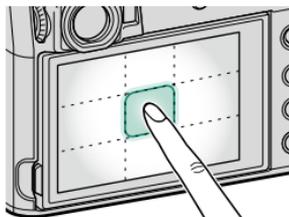
画面の中央をタッチしたときは、以下のように動作します。



タッチパネルモード	動作
AF	AF-S : AF
	MF : ワンプッシュ AF
エリア選択	AF-S : AF
	MF : ワンプッシュ AF
OFF	AF-S/MF : OFF

#### ■ 画面の中央以外の場所をタッチしたときの動作

タッチパネルモードや静止画 / 動画撮影の状態に関わらず、シングルタッチすると常に拡大表示する位置が移動するだけで、他の動作は行いません。



## フォーカスチェックロック

拡大表示中に動画撮影を開始したときに、拡大表示を維持したまま撮影するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	OFF

## オーディオ設定 (動画)

動画撮影時の音声に関する設定を変更できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、  
📷 (オーディオ設定) タブを選びます。



### 内蔵マイクレベル設定

内蔵マイクの音量を調節できます。

設定	説明
<b>AUTO</b>	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
<b>マニュアル</b>	マイクレベルを 25 段階から設定できます。
<b>OFF</b>	マイクレベルをオフにします。

### 外部マイクレベル設定

外部マイクの音量を調節できます。

設定	説明
<b>AUTO</b>	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
<b>マニュアル</b>	マイクレベルを 25 段階から設定できます。
<b>OFF</b>	マイクレベルをオフにします。

## マイク端子設定

マイク入力端子に取り付ける機器を設定します。

設定	説明
マイク	外部マイクを直接取り付けるときに選びます。
ライン	ライン出力する外部音声機器を取り付けるときに選びます。

## マイクレベルリミッター

マイクへの音声信号の過大入力による音割れを抑制します。

設定値	
ON	OFF

## 風音低減

動画撮影時に風音によるノイズを低減して録音します。

設定値	
ON	OFF

## ローカットフィルター

動画撮影時に低域ノイズをカットして録音します。

設定値	
ON	OFF

## ヘッドホン音量

ヘッドホンの音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1 ~ 10	音量を1 ~ 10に設定します。

## マイク / リモートレリーズ設定

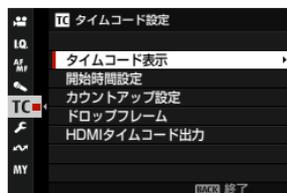
マイク / リモートレリーズ端子にマイクを取り付ける場合は  **マイク**、リモートレリーズを取り付ける場合は  **リモートレリーズ** を選択してください。

設定値	
 <b>マイク</b>	 <b>リモートレリーズ</b>

## タイムコード設定（動画）

動画撮影時の時間を表すタイムコード（時間 / 分 / 秒 / フレーム）  
についての設定ができます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、  
**TC**（タイムコード設定）タブを選びます。



### タイムコード表示

**ON** にすると、動画撮影画面や再生画面にタイムコードを表示します。

設定値	
<b>ON</b>	<b>OFF</b>

### 開始時間設定

タイムコード値を調整できます。

設定	説明
手動設定	タイムコードの開始時間を手動で設定できます。
現在時刻	現在のカメラの時間 / 分 / 秒がタイムコードの開始時間になります。
リセット	00 時間 00 分 00 秒にタイムコードをリセットします。

### カウントアップ設定

タイムコードのカウントを動画撮影中のみ行うか、常時カウントを行うか  
を選べます。

設定	説明
レックラン	動画撮影中のみ、タイムコードのカウントを行います。
フリーラン	常時タイムコードのカウントを行います。

## ドロップフレーム

動画のフレームレートが **59.94P** と **29.97P** の場合に、タイムコードのカウントと実際の映像時間に生じた小数点以下の部分の差のズレを補正するためにタイムコードを間引く（ドロップフレームを行う）かどうかを設定できます。

設定	説明
ON	ドロップフレームを行います。タイムコードと映像時間を厳密に合わせたいときに選びます。
OFF	ドロップフレームを行いません。



- ドロップフレームの設定により、タイムコードの表示が異なります。



TC 00:00:00:00

ON

TC 00:00:00:00

OFF

- 動画のフレームレートが **23.98P** の場合、ドロップフレームは常に **OFF** になります。

## HDMI タイムコード出力

動画を HDMI で出力するときに、タイムコードを付加するかどうかを選びます。

設定値

ON

OFF

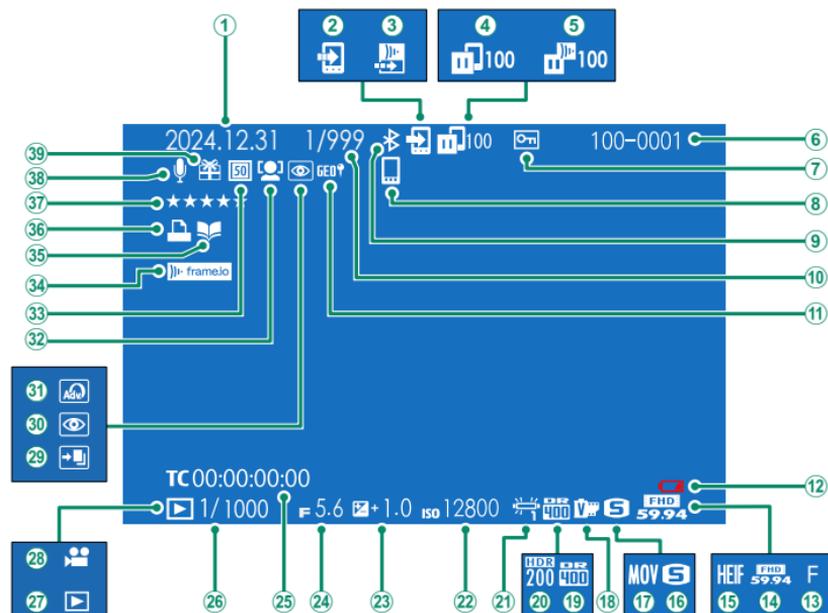
# 画像の再生と再生メニュー

# 7

## 再生時の表示画面

再生時は、画面（EVF/LCD）に次の情報が表示されます。

❗ 説明のため情報はすべて表示しています。



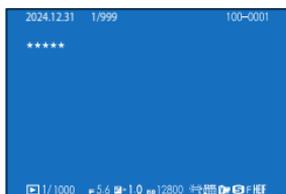
① 日付・時刻.....	47、49、271	②① ホワイトバランス.....	126
② 通信状況		②② ISO感度.....	91
③ Frame.io 画像転送予約		②③ 露出補正.....	95
④ 画像転送状況		②④ 絞り値.....	69、74、75
⑤ Frame.io 画像転送状況		②⑤ タイムコード.....	207
⑥ コマ NO. ....	306	②⑥ シャッタースピード.....	69、70、75
⑦ プロテクト.....	224	②⑦ 再生モード.....	55
⑧ Bluetooth 接続先.....	240	②⑧ 動画アイコン.....	65
⑨ Bluetooth ON/OFF		②⑨ HDR 画像.....	105
⑩ コマ数表示		③⑩ 赤目補正.....	173
⑪ 位置情報.....	308	③① アドバンスドフィルター.....	112
⑫ バッテリー残量不足.....	46	③② 顔検出.....	149
⑬ 画質モード.....	119	③③ デジタルテレコン.....	171
⑭ 動画モード.....	182	③④ Frame.io 接続状態.....	255
⑮ HEIF 画像.....	121	③⑤ フォトブックアシスト.....	231
⑯ 画像サイズ.....	118	③⑥ プリント予約.....	233
⑰ ファイル形式.....	185	③⑦ レーティング.....	227
⑱ フィルム シミュレーション.....	122	③⑧ ボイスメモ.....	226
⑲ ダイナミックレンジ.....	130	③⑨ プレゼント.....	55
⑳ HDR.....	105		

## 情報表示の切り替え

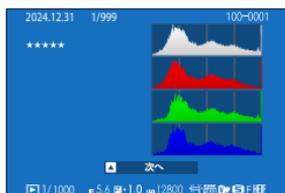
再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



スタンダード



情報表示なし



INFO 画面

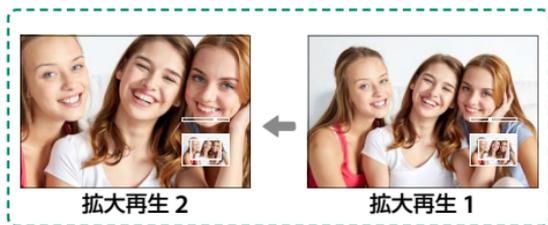


## 再生方法

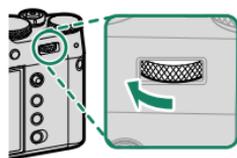
再生画像を拡大表示したり、一覧表示したりできます。

拡大表示や複数画像の一覧表示は、1コマ再生時にリアコマンドダイヤルで操作します。リアコマンドダイヤルを左右に回すと図の順に表示が切り替わります。図と逆の向きに回すと逆の順に切り替わります。

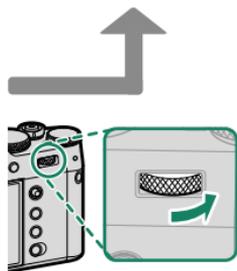
 拡大表示や一覧表示のときに **DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押すと1コマ再生画面に戻ります。



再生ズーム (拡大表示)



1コマ再生画面



マルチ再生 (一覧表示)



9コマ再生



マイクロサムネイル再生

## 再生ズーム

1コマ再生時にリアコマンドダイヤルを右に回すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押すか、リアコマンドダイヤルの中央を押します。

 最大ズーム倍率は、撮影時の **画質設定 > 画像サイズ** によって変わります。

### ナビゲーションについて

拡大表示中にフォーカスレバーで、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。



ナビゲーション

## マルチ再生

1コマ再生時にリアコマンドダイヤルを左に回すと、9コマ、100コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示できます。

-  フォーカスレバーで画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示できます。
- フォーカスレバーの上下でページを切り替えることもできます。

## 再生メニュー

画像の再生に関する機能を設定できます。

再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。



### RAW 現像

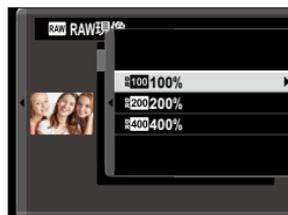
撮影した RAW ファイルを、パーソナルコンピューターを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて別ファイルで保存（現像）できます。

#### 現像手順

- 1 再生画面で現像する RAW 画像を選びます。
- 2 **再生メニュー** > **RAW 現像**を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。  
設定できる機能の一覧が表示されます。



- 4 フォーカスレバーを上下に動かして変更する項目を選びます。
- 5 フォーカスレバーを右に動かして設定の変更に移ります。



---

**6** フォーカスレバーを上下に動かして設定を変更します。

---

**7** MENU/OK ボタンを押して、決定します。

手順3の画面に戻ります。手順7までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

---

**8** Q ボタンを押します。

保存する画像のプレビューが表示されます。

---

**9** MENU/OK ボタンを押して、別ファイルとして保存します。

---

 RAW 画像の再生時に Q ボタンを押しても、**RAW 現像**を表示できます。

## RAW 現像設定項目一覧

項目	機能
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。
ファイル形式	保存する画像ファイルの形式を変更できます。
画像サイズ	記録する画像の大きさを変更できます。
画質モード	記録する画像の圧縮率を変更できます。
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たままに近い写真を撮影できます。
D レンジ優先	明暗差の大きいシーンで、白とびと黒つぶれの両方を抑えるよう階調を補正して自然な印象の画像を撮影します。
フィルム シミュレーション	色調を変更できます。
モノクローム カラー	フィルムシミュレーションの <b>ACROS</b> や <b>モノクロ</b> で撮影したモノクロ画像の色調を調整できます。
グレイン・エフェクト	画像にザラっとした粒状の質感を与えます。
カラークローム・エフェクト	赤や緑、黄色などの飽和しがちな彩度の高い色情報を階調豊かに表現します。
カラークローム ブルー	青系の色情報を階調豊かに表現します。
スムーズスキン・エフェクト	人物の肌をなめらかに補正します。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。
トーンカーブ	画像のハイライト部やシャドウ部の強弱を調整します。
カラー	撮影時における画像の色の濃さを設定します。
シャープネス	撮影時における画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。
高感度ノイズ低減	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。
明瞭度	画像をはっきりとさせます。
色空間	画像に適用する色空間を設定します。
HDR モード	白飛びや黒つぶれを少なくします。
デジタルテレコン	異なる焦点距離の拡大画像をデジタル超解像で処理します。

**!** 撮影時の設定によって設定できない項目があります。

## HEIF を JPEG/TIFF に変換

撮影した HEIF 画像を JPEG 画像や TIFF 画像に変換できます。

### 画像を選択

変換したい HEIF 画像を選択して、変換できます。

### ファイル形式

変換するファイル形式を設定できます。

設定値		
JPEG	TIFF 8bit	TIFF 16bit

## 消去

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。

**!** 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパーソナルコンピューターにコピーしておいてください。

設定	説明
1コマ	画像を1コマだけ消去します。
複数指定	指定した画像をまとめて消去します。
全コマ	画像がすべて消去されます。

### 1 コマ消去

1 消去メニューから1コマを選びます。

2 消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

-  **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

## 複数指定消去

- 1 消去メニューから複数指定を選びます。
- 2 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。
  - 選択された画像は  が表示されます。
  - 選択を解除するときは、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
- 3 まとめて消去する画像を選択指定したあと、**DISP/BACK** ボタンを押します。  
消去実行画面が表示されます。
- 4 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。

 プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、 が表示されます。

## 全コマ消去

- 1 消去メニューから全コマを選びます。
- 2 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。

 **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。  
● プリント予約を設定している画像を消去しようとする、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

## トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。
- 2  再生メニュー > トリミングを選びます。
- 3 リアコマンドダイヤルとフォーカスレバーでトリミングしたい部分を調整します。
- 4 MENU/OK ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。
- 5 MENU/OK ボタンを押して、トリミングします。



- 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- トリミングを行ったあとの記録画素数が **640** のときは、**実行**が黄色で表示されます。
- トリミングした画像の縦横比は、3:2 になります。

## リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。
- 2  再生メニュー > リサイズを選びます。
- 3 変更するサイズを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。

 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

# プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

1  再生メニュー > プロテクトを選びます。

2 プロテクトの方法を選びます。

設定	説明
設定 / 解除	プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されている画像はプロテクト設定が解除されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>手順3のあとに、続けてフォーカスレバーで設定 / 解除する画像を選べます。</li></ul>
全コマ設定	すべての画像がプロテクトされます。
全コマ解除	すべての画像のプロテクト設定が解除されます。

3 MENU/OK ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。

4 DISP/BACK ボタンを押して、プロテクトを終了します。

 メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。

-  画像転送予約している画像をプロテクトすると、転送予約は解除されます。
- 再生画面で **Fn2** ボタンを押してもプロテクトを設定したり解除したりすることができます。

## 画像回転

撮影した画像を回転して再生できます。

- 1  表示設定 > 縦横自動回転再生を ON にします。
  - 2 再生画面で回転したい画像を選びます。
  - 3  再生メニュー > 画像回転を選びます。
  - 4 フォーカスレバーの下（時計回りに 90° 回転）または上（反時計回りに 90° 回転）で画像を回転します。
  - 5 MENU/OK ボタンを押して、回転を決定します。
-  ・プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。

・他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパーソナルコンピューターで再生する場合は、画像は回転表示しません。

・ 表示設定 > 縦横自動回転再生を ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

## ボイスメモ設定

静止画に音声を記録できます。

1 再生メニュー > ボイスメモ設定を ON にします。

2 再生画面でボイスメモを記録したい画像を選びます。

3 フロントコマンドダイヤルの中央を押している間、ボイスメモが記録されます。

30 秒経過すると、記録は終了します。



- すでにボイスメモが記録されている画像に再度記録すると、上書き記録されます。
- プロテクトされている画像にボイスメモは記録できません。
- 画像を消去すると、記録されているボイスメモも消去されます。

### ボイスメモの再生について

再生時にボイスメモが記録されている画像を選択すると、が表示されます。

- フロントコマンドダイヤルの中央を押すと、ボイスメモを再生できます。
- ボイスメモ再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。
- 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。フォーカスレバーで再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。再生音量は、 **音設定 > 再生音量**でも設定できます。

## レーティング

撮影した画像に星の数でランクを付けることができます。

**1** 再生メニュー＞レーティングを選びます。

**2** フロントコマンドダイヤルでランク付けをしたい画像を選び、リアコマンドダイヤルで★の数（0～5）を設定します。



- フロントコマンドダイヤルの代わりにフォーカスレバーで画像を選ぶこともできます。
- 1コマ再生画面や9コマ再生画面、マルチサムネイル画面のときに **AEL/AFL** ボタンを押して、レーティングの画面に切り替えることもできます。
- タッチパネルで画像の拡大や縮小ができます。
- 以下の画像はレーティングを設定できません。
  - プロテクトされている画像
  - 動画
  - プレゼント画像（他のカメラで撮影した画像）

## スマートフォンに画像転送

Bluetooth® でペアリングしているスマートフォンに画像を転送できます (📖 240)。

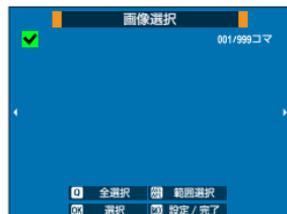
### 1 スマートフォンに画像転送 > 画像を選択して転送を選びます。

 予約リセットを選ぶと、スマートフォンへの画像転送予約をすべて解除できます。

### 2 転送予約する画像を選びます。

**MENU/OK** ボタンを押して画像を選択します。

- 表示する画像を絞り込みたいときは、画像を選択する前に **DISP/BACK** ボタンを押してください。
- **Q** ボタンを押すと画像を全選択できます。
- **AEL/AFL** ボタンを押すと、開始する画像と終了する画像を選んで範囲選択できます。



### 3 DISP/BACK ボタンを押してから転送開始を選びます。

画像が転送されます。



## 画像の絞り込み

画像選択画面で **DISP/BACK** ボタンを押してから **絞り込み** を選ぶと、表示する画像の絞り込みができます。



**!** **絞り込み** を選ぶと、その前に選んだ画像は選択解除されます。

- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで転送予約することができます。
- 以下の画像は転送予約できません。
  - プロテクトされている画像
  - 動画
  - RAW 画像
  - プレゼント画像（他のカメラで撮影した画像）
- ネットワーク / USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth ON/OFF** が **ON** で、**電源 OFF** 中の **画像転送** が **ON** のときは、カメラの電源がオフのときでも画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。
- **操作ボタン・ダイヤル設定 > Fn1 ボタン設定** を **♪ 選択 & スマートフォン転送予約** に設定しておくこと、**Fn1** ボタンを押して画像選択画面を呼び出すこともできます。

## ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーションをインストールしておく必要があります。

-  スマートフォンアプリケーションについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/>

-  操作ボタン・ダイヤル設定 >  Fn1 ボタン設定を  ワイヤレス通信に設定しておく、Fn1 ボタンを押してスマートフォンと通信できます。

## スライドショー

撮影した画像を順番に自動再生します。**MENU/OK** ボタンを押すと、スライドショーを開始 / 終了します。**DISP/BACK** ボタンを押すと、スライドショー終了のガイダンスを表示します。フォーカスレバーの左右で、コマ送りします。

-  スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。

## フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます。

### フォトブックを作成する

1 再生メニュー＞フォトブックアシストを選びます。

2 新規 BOOK を選び、MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 画像を選択します。

フォーカスレバーを上動かすと表示されている画像を選択または選択解除し、下動かすと表示されている画像を表紙にします。



- 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。
- 最初に選択した画像は、自動的に表紙と1枚目の画像になります。表紙は、あとからでも変更できます。

4 画像の選択が終わったら、MENU/OK ボタンを押します。

5 作成終了を選びます。

全て選択を選ぶと、全画像がフォトブック作成中の画像として選択されます。

6 MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。



- フォトブックで選択できる画像は 300 枚までです。
- 画像が 1 枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

#### 作成したフォトブックについて

カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭で簡単に注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<https://www.fujifilm.com/jp/ja/consumer/photoprinting/print>

## 作成したフォトブックを見る

---

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。フォーカスレバーの左右で次や前の画像に移動できます。

## 作成したフォトブックを編集 / 削除する

---

- 1 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** ボタンを押します。
  - 2 編集または削除を選びます。
    - **編集**：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです。
    - **削除**：表示されているフォトブックを削除できます。
  - 3 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。
-

## プリント予約 (DPOF)

プリント予約 (DPOF) であらかじめ DPOF 指定 (プリント予約) しておくと、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店でお店プリントするときに、指定した内容で簡単にプリントできます。

1 再生メニュー > プリント予約 (DPOF) を選びます。

2 日付の有無を設定します。

設定	説明
日付あり設定 	撮影日を印字します。
日付なし設定	撮影日を印字しません。
全コマ解除	現在設定されている DPOF 指定 (プリント予約) を一度に解除できます。

3 プリント予約する画像を選びます。

4 プリント枚数を選びます (最大 99 枚)。

 DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまでフォーカスレバーを下に動かします。



プリント枚数

 手順 3 と 4 を繰り返して、プリントする画像をすべて予約します。

5 合計枚数を確認して、もう一度 MENU/OK ボタンを押します。

-  DPOF 指定 (プリント予約) した画像には、再生時に  が表示されます。
- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

## instax プリンタープリント

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。あらかじめネットワーク/USB設定メニューの **instax プリンター接続設定** で、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力しておく必要があります。

1 プリンターの電源を入れます。

2  再生メニュー > instax プリンタープリントを選ぶと、カメラとプリンターの接続が始まります。



3 プリントしたい画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

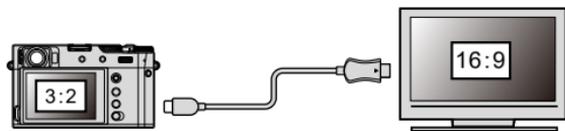


- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが始まります。

## 表示比率

静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



### 設定値

16:9

3:2



3:2 で撮影した静止画をテレビで全画面表示したいときは、**16:9** に設定してください。**16:9** に設定すると上下が切れた状態でフル画面表示されます。



# ネットワーク /USB 機能と設定

## メニュー

# 8

## ネットワーク /USB 機能の概要

このカメラはパーソナルコンピューターやスマートフォンと接続して、撮影した画像を転送したり、パーソナルコンピューターやスマートフォンでカメラを操作して撮影することができます。

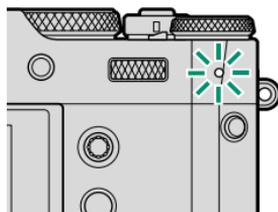
### このカメラでできること

このカメラでできることは次の通りです。

ネットワーク /USB 機能	内容	頁
スマートフォンアプリケーションと接続	スマートフォンと Bluetooth® で接続して、撮影した画像を転送したり、ライブビューを確認しながらカメラを操作できます。	240
USB カードリーダー	パーソナルコンピューターやスマートフォンと USB ケーブルで接続して、メモリーカード内の画像を転送できます。	244
ウェブカメラ	パーソナルコンピューターと USB ケーブルで接続して、パーソナルコンピューター上でウェブカメラとして使用できます。	249
instax プリント	instax プリンターと接続して、撮影した画像をプリントできます。	250
Frame io へファイル転送	Frame.io に撮影したファイルを転送できます。	252
RAW 現像	カメラの画像処理エンジンを使用した RAW 現像をパーソナルコンピューター上で行えます。	259
設定の保存読込	パーソナルコンピューターにカメラの設定を保存したり、保存した設定を読み込んだりできます。	260

## カメラのインジケータランプの表示

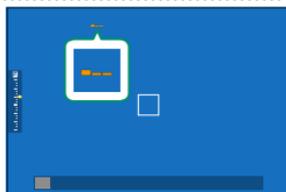
カメラのインジケータランプで、Frame.io などとの接続状態を確認できます。



インジケータランプ	接続状態
赤色点滅	ネットワークに接続していません。
赤色点灯	ネットワークに接続していません。転送待ちの画像があります。
橙色点滅	ネットワークに接続していますが、Frame.io と接続していません。
橙色と赤色の交互点灯	ネットワークに接続していますが、Frame.io と接続していません。転送待ちの画像があります。
緑色点滅	Frame.io への転送ができます。
緑色と赤色の交互点灯	Frame.io への転送ができます。転送待ちの画像があります。

### EVF や LCD の表示

Frame.io などとの接続状態は EVF や LCD に表示されるアイコンでも確認できます。



アイコン	接続状態
	ネットワークに接続していません。
	ネットワークに接続していますが、Frame.io と接続していません。
	Frame.io への転送ができます。

## スマートフォンアプリケーション を使用する

カメラとスマートフォンを Bluetooth® で接続すると、撮影画像をスマートフォンへ転送したり、ライブビューを確認しながらカメラをスマートフォンで操作できます。

 撮影画像の転送時は自動的に無線 LAN で接続します。

### スマートフォンにアプリケーションをインストールする

カメラとスマートフォンを接続するためには、あらかじめ専用のアプリケーションをスマートフォンにインストールする必要があります。以下のウェブサイトをご覧ください。スマートフォンにアプリケーションをインストールしてください。

<https://fujifilm-dsc.com/>



 使用できるアプリケーションはスマートフォンの OS によって異なります。

### カメラとスマートフォンを接続する

カメラとスマートフォンをペアリングして、Bluetooth® で接続します。

- 1 撮影画面で  (Bluetooth) ボタンを長押しします。

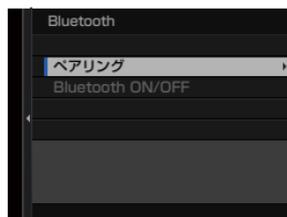


 再生画面で長押ししたときは、手順 3 に進みます。

- 2 Bluetooth** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 3 ペアリング** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

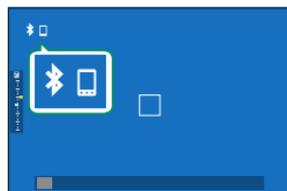


- 4 スマートフォンのアプリケーションを起動し、カメラとペアリング** します。

詳しい手順は以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/>

ペアリングをすると、自動的にカメラとスマートフォンが Bluetooth で接続されます。カメラとスマートフォンが接続されると、カメラの表示画面にスマートフォンアイコンと白い Bluetooth アイコンが表示されます。



- 一度ペアリングを行うと、スマートフォンアプリケーションを起動するたびに自動的にカメラと接続します。
- スマートフォンと接続しないときは Bluetooth をオフにするとカメラの消費電力を抑えることができます。

## スマートフォンアプリケーションを使用する

スマートフォンアプリケーションを使用して、次のようにスマートフォンに画像を転送できます。

 あらかじめ **Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth ON/OFF** を **ON** にしてください。

### スマートフォンアプリケーションで選んで画像を転送する

スマートフォンアプリケーションで転送する画像を選んで、スマートフォンに画像を転送することができます。

 スマートフォンアプリケーションの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/>

### 撮影した画像を自動的に転送する

ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > 撮影時 自動画像転送** を **ON** にすると、撮影した画像がペアリングしているスマートフォンに自動的に転送されます。

-  ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth ON/OFF** が **ON** で、**電源 OFF** 中の画像転送が **ON** のときは、カメラの電源がオフのときでも画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。
- ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > スマートフォン送信時圧縮** を **ON** にすると、転送する画像のサイズを圧縮して転送します (p.263)。
- ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > ファイル形式選択** で、転送する画像のファイル形式を設定できます。

## 再生メニューから画像を選んで転送する

スマートフォンに画像転送 > 画像を選択して転送で、選んだ画像をBluetooth®でペアリングしているスマートフォンに転送できます(📖 228)。

## USB カードリーダーとして使用する

カメラとスマートフォンやパーソナルコンピュータを USB ケーブルで接続すると、撮影画像を転送できます。

### スマートフォンに画像を転送する

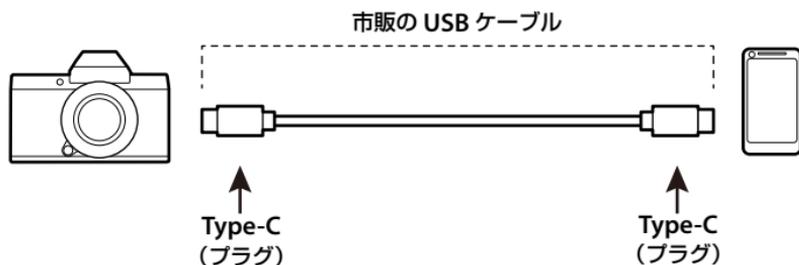
スマートフォンに画像を転送するときは、ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定** を自動または給電 OFF / 通信 ON にしてからカメラとスマートフォンを USB ケーブルで接続します。

### Android のスマートフォンをお使いの方

スマートフォンに搭載されている USB 端子の形状によって、接続方法が異なります。

#### USB Type-C の場合

カメラに搭載されている USB 端子 (Type-C) と接続するケーブルをご用意ください。



**1** ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定** を自動または給電 OFF / 通信 ON にします。

**2** 接続モードで **USB カードリーダー** を選びます。

- 
- 3** カメラの電源がオンになっている状態でカメラとスマートフォンをUSBケーブルで接続します。



「Camera Importer」以外のアプリケーション（「フォト」など）へのアクセスを許可するかどうかを確認する通知が表示された場合は、「キャンセル」をタップして手順4に進みます。

- 
- 4** スマートフォンを操作して、「Android システム・USB PTP に接続しました」の通知をタップします。

- 
- 5** USB デバイス用のアプリケーションの中から「Camera Importer」を選びます。

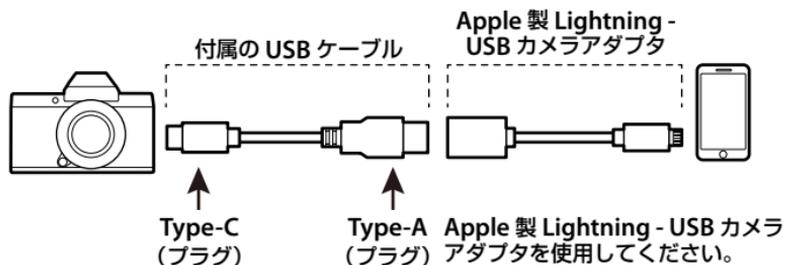
自動的に「Camera Importer」アプリケーションが起動し、画像 / 動画をインポートできます。



「Camera Importer」アプリケーションから「There is no MTP device connected」などの通知が表示された場合は、USBケーブルを抜いて、手順3からやり直してください。

## iOS のスマートフォンをお使いの方

Apple 製 Lightning - USB カメラアダプタが必要です。



**1** ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定** を給電 **OFF** / 通信 **ON** にします。

**2** 接続モードで **USB カードリーダー** を選びます。

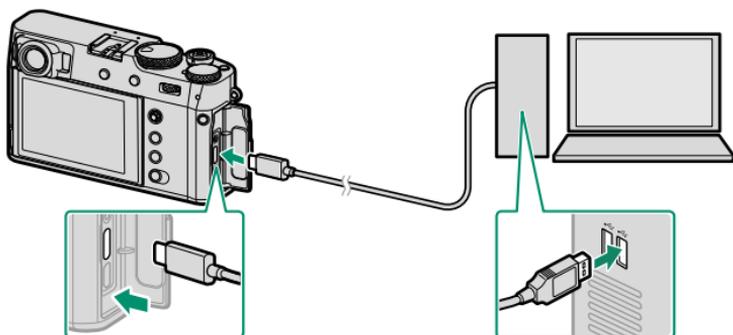
**3** カメラの電源がオンになっている状態でカメラとスマートフォンを USB ケーブルで接続します。

「写真」アプリケーションを起動すると、画像 / 動画をインポートできます。

- ⚠️ USB Type-C を搭載した iPad などを接続するときは、Type-C to C の USB ケーブルを使用してください。
- USB Type-C と Lightning のケーブルで直接つないだ場合、正しく接続できません。Apple 製 Lightning - USB カメラアダプタを使用してください。

## パーソナルコンピューターに画像を転送する

- 1 ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定**を自動または給電 **OFF** / 通信 **ON** にします。
- 2 接続モードで **USB カードリーダー**を選びます。
- 3 カメラの電源をオフにします。
- 4 パーソナルコンピューターを起動します。
- 5 USB ケーブルで、カメラとパーソナルコンピューターを接続します。



USB 端子 (Type-C)

**!** USB ケーブルは、長さが 1m 以内で、データ転送が可能なものをご使用ください。

- 6 カメラの電源をオンにします。
- 7 画像を転送します。
  - **Mac OS X / OS X / macOS の場合**：OS 標準アプリケーションの「イメージキャプチャ」などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。ファイルサイズが 4GB を超える場合は、カードリーダーでファイルを取り込んでください。
  - **Windows の場合**：OS 標準アプリケーションなどで画像や動画を取り込んでください。



- USB ケーブルを取り外すときは、カメラの電源をオフにしてください。
- USB ケーブルは、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパーソナルコンピューターを接続してください。
- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手持のカードリーダーを使って、転送してください。
- カメラとパーソナルコンピューターの接続を外す前に、カメラのインジケータランプが消灯、もしくは緑色に点灯していることを確認してください。
- カメラとパーソナルコンピューターの通信時には、USB ケーブルを抜かないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えたりすることがあります。
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパーソナルコンピューターの接続を外したあとに行ってください。
- ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパーソナルコンピューターのようにご利用になれないことがあります。
- パーソナルコンピューターでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パーソナルコンピューターの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

## ウェブカメラとして使用する

カメラをパーソナルコンピューターに接続して、ウェブカメラとして使用できます。

- 1 ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定**を自動または給電 **OFF** / 通信 **ON** にします。
- 2 接続モードで **USB WEBCAM** を選びます。
- 3 カメラとパーソナルコンピューターを USB ケーブルで接続してから、カメラの電源をオンにします (📖 247)。
- 4 ウェブカメラを使用するアプリケーション上で、カメラを選択します。

## instax プリントする

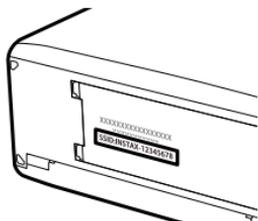
別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像をプリントできます。

### プリンターとの接続を設定する

ネットワーク/USB 設定メニューの **instax プリンター接続設定** を選び、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力します。

#### プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



## 画像をプリントする

1 プリンターの電源を入れます。

2 再生メニューの instax プリンタープリントを選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



3 プリントしたい画像を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

# Frame.io にファイル転送する

撮影したファイルを Frame.io に転送できます (📖 349)。



カメラの日付設定をしていない場合は正しい日付を事前に設定してください。

## 無線 LAN で接続する

無線 LAN で Frame.io と接続します。

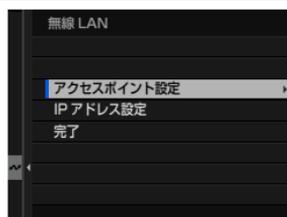
### 1 Frame.io Camera to Cloud > 接続するを選びます。



### 2 無線 LAN を選びます。



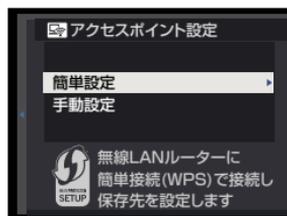
### 3 アクセスポイント設定を選びます。 IP アドレス設定を選ぶと任意の IP アドレス を設定できます (📖 254)。



### 4 簡単設定を選びます。



手動設定を選ぶと手動で無線 LAN ルーターを選んだり、無線 LAN ルーターの SSID を入力して設定することができます。



- 5 画面の指示にしたがって無線 LAN ルーターを操作します。



フォーカスレバーを上動かすと PIN コードが表示されます。PIN コードを無線 LAN ルーターに設定することでカメラを接続することもできます。

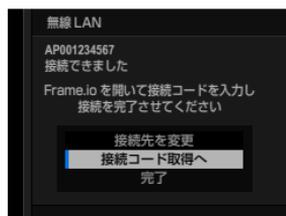


- 6 登録が完了したら MENU/OK ボタンを押します。



- 7 接続が完了したら接続コード取得へを選びます。

接続コードが表示されます。



- 8 パーソナルコンピューターなどから Frame.io へログインし、カメラに表示された接続コードを入力します。

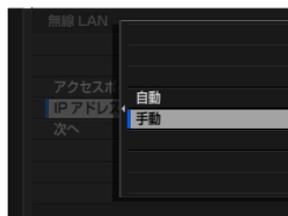
- 9 Frame.io にファイルを転送します (📖 256)。

## IP アドレスを設定して接続する

手動で IP アドレスなどのネットワーク /USB 設定を登録し、Frame.io に接続します。

### 1 手動を選びます。

- 自動を選ぶとカメラに IP アドレスが自動的に割り当てられます。



### 2 手動でアドレスの設定をします。

- IP アドレスを選んで IP アドレスを入力します。
- サブネットマスクを選んでサブネットマスクを入力します。



- **ゲートウェイ**を選んでゲートウェイを入力します。



- **DNS サーバー**を選んで DNS サーバーを入力します。



### 接続状態の確認

Frame.io との接続状態は EVF や LCD に表示されるアイコンで確認できます。



アイコン	接続状態
 (白)	Frame.io に接続しています。
 (黄)	Frame.io へのファイル転送をカメラ側で一時停止しています。接続を再開するには、 <b>Frame.io Camera to Cloud &gt; アップロード設定の転送 / 一時停止を転送</b> にしてください。
 (グレー)	Frame.io に接続していません。
 (赤)	Frame.io サーバーのカメラステータスが paused に設定されています。接続を再開するには、パーソナルコンピューター側などで Frame.io の paused の設定を解除してください。

## Frame.io へファイルを転送する

### Frame.io Camera to Cloud でファイルを選んで転送する

1 ネットワーク /USB 設定メニューの Frame.io Camera to Cloud を選びます。

2 アップロード設定 > 画像を選択して転送を選びます。

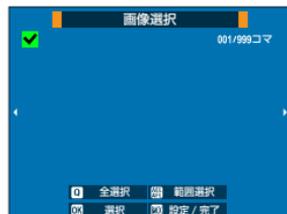


- NETWORK と Frame.io には接続状態が表示されます。
- PROJECT と USER にはパーソナルコンピューターなどで Frame.io に入力した内容が表示されます。使用する文字によってはカメラに正しく表示されないことがあります。この場合は文字が「?」で表示されます。

3 転送予約するファイルを選びます。

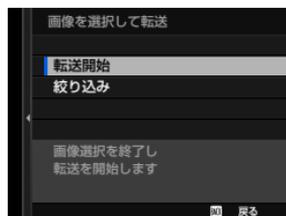
**MENU/OK** ボタンを押してファイルを選択します。

- 表示する画像を絞り込みたいときは、ファイルを選択する前に **DISP/BACK** ボタンを押してください。
- **Q** ボタンを押すとファイルを全選択できます。
- **AEL/AFL** ボタンを押すと、開始するファイルと終了するファイルを選んで範囲選択できます。



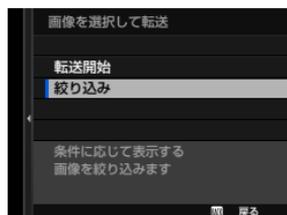
#### 4 DISP/BACK ボタンを押してから転送開始を選びます。

Frame.io にファイルが転送されます。



#### ファイルの絞り込み

画像選択画面で **DISP/BACK** ボタンを押してから **絞り込み** を選ぶと、表示するファイルの絞り込みができます。



**絞り込み** を選ぶと、その前に選んだファイルは選択解除されます。



- 同じメモリーカードで最大 9999 枚まで転送予約することができます。
- **Frame.io Camera to Cloud > 電源 OFF 中の画像転送が ON** のときは、カメラの電源がオフのときでもファイルを Frame.io に転送します。

## 撮影したファイルを自動転送する

Frame.io Camera to Cloud > アップロード設定の撮影時 自動画像転送を ON にすると、撮影したファイルを自動的に転送予約します。

## 再生画面でファイルを選んで転送する

操作ボタン・ダイヤル設定 >  Fn1 ボタン設定を  Frame.io 転送予約に設定しておく、再生画面で Fn1 ボタンを押して転送予約をしたり、予約を上書き / キャンセルしたりできます。

## RAW 現像する

X RAW STUDIO を使用して、カメラの画像処理エンジンを使用した RAW 現像をパーソナルコンピュータ上で行うことができます。

- 1 ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定を自動または給電 OFF / 通信 ON** にします。
- 2 接続モードで **USB RAW 現像 / 設定保存読込** を選びます。
- 3 カメラとパーソナルコンピュータを USB ケーブルで接続してから、カメラの電源をオンにします ( 247 )。
- 4 X RAW STUDIO を起動します。  
X RAW STUDIO 上で RAW 現像ができます。



使用するソフトウェアの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/products/software/>

## 設定の保存や読み込みをする

FUJIFILM X Acquire を使用して、パーソナルコンピューターにカメラの設定を保存したり、保存した設定を読み込んだりすることができます。

### パーソナルコンピューターで設定の保存や読み込みをする

- 1 ネットワーク / USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定**を自動または給電 **OFF** / 通信 **ON** にします。
- 2 接続モードで **USB RAW 現像 / 設定保存読み込み**を選びます。
- 3 カメラとパーソナルコンピューターを USB ケーブルで接続してから、カメラの電源をオンにします (📖 247)。
- 4 FUJIFILM X Acquire を起動します。

FUJIFILM X Acquire 上で設定の保存や読み込みができます。



使用するソフトウェアの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/products/software/>

## ネットワーク /USB 設定メニュー

カメラのネットワーク /USB 機能の設定を変更できます。

撮影画面または再生画面で **MENU/OK** ボタンを押し、**ネットワーク /USB 設定** タブを選びます。



### Bluetooth/ スマートフォン設定

Bluetooth 接続に関する設定や、スマートフォンに関するさまざまな設定ができます。

 スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーションをインストールしておく必要があります。

#### ペアリング登録

スマートフォンアプリケーションがインストールされているスマートフォンとペアリング登録します。

#### ペアリング接続先選択

ペアリング登録で登録したスマートフォンの中から接続するスマートフォンを選びます。**接続なし**を選択するとスマートフォンと接続しません。

#### ペアリング削除

ペアリング登録されているスマートフォンの情報を削除できます。

 削除されたスマートフォンはペアリング接続先選択のリストからも削除されます。

## Bluetooth 機器一覧

ペアリング登録されている機器のうち、スマートフォン以外の機器の一覧を確認したり、ペアリングを削除したりできます。

## Bluetooth ON/OFF

ON にすると、ペアリング登録したスマートフォンでスマートフォンアプリケーションが起動したときに、カメラが自動的にスマートフォンと接続します。

設定値	
ON	OFF

## 撮影時 自動画像転送

ON にすると、撮影したときに画像を自動的に転送します。

設定値	
ON	OFF

## スマートフォン位置情報同期

ON にすると、ペアリング登録されているスマートフォンと位置情報を同期します。

設定値	
ON	OFF

**!** スマートフォンアプリケーションが起動している必要があります。なお、スマートフォンアプリケーションが起動していても、途中でペアリングが切断された場合は、同期も中断されます。最後に位置情報を取得してから 30 分以上更新がないと、カメラの位置情報取得マークが赤い表示に変わります。

## 名前

無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。

## 電源 OFF 中の画像転送

ON にすると、カメラの電源をオフにしたときに、撮影した画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。

設定値	
ON	OFF

## スマートフォン送信時圧縮

スマートフォンへ画像を送信するときの画像サイズを変更できます。ON にすると、画像サイズを圧縮して送信します。ON での使用をおすすめします。

設定値	
ON	OFF



- メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズは変更されません。
- 記録画像サイズが L サイズ、M サイズの場合に、画像サイズを圧縮して転送します。

## 無線通信周波数設定

無線 LAN 通信を行うときの無線 LAN の周波数を設定します。

設定値	
2.4GHz (IEEE802.11 b/g/n)	5GHz (IEEE802.11 a/n/ac)



- 5GHz の一部のチャンネルについて、屋外での使用が禁止されている国・地域があります。ご使用になる前に 5.2GHz 帯 (W52) が使用可能かご確認ください。
- 購入した国・地域によって選べる設定値は異なります。

## ファイル形式選択

転送する画像のファイル形式を設定します。JPEG と HEIF の ON と OFF をそれぞれ設定できます。

## 機内モード

ON にすると無線 LAN や Bluetooth をオフにできます。

### 設定値

ON

OFF

## instax プリンター接続設定

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力して、プリンターとの接続を設定します (📖 250)。

## Frame.io Camera to Cloud

Frame.io に関するさまざまな設定ができます。

### 接続する

Frame.io に接続できます。

サブメニュー	説明
無線 LAN	無線 LAN で接続します。
接続コードを取得	Frame.io プロジェクトに接続するための接続コードを表示します。

 接続コードはカメラが Frame.io に接続しているときのみ表示されます。

### 切断する

Frame.io プロジェクトとの接続を解除して、ネットワーク接続を終了します。

## ファイル形式選択

転送するファイル形式を選択できます。ファイル形式ごとに ON と OFF を設定できます。

サブメニュー		
MOV/MP4	JPEG	RAW
HEIF	TIFF	

## アップロード設定

Frame.io でファイルを転送するときの設定ができます。

### 画像を選択して転送

撮影したファイルを選んで転送予約できます。

### 撮影時 自動画像転送

ON にすると、撮影したファイルを自動的に転送予約します。

設定値	
ON	OFF

### 転送 / 一時停止

Frame.io への転送を一時停止したり、再開したりすることができます。

設定値	
転送	一時停止

## 電源 OFF 中の画像転送

ON にすると、カメラの電源をオフにしたときにファイルを Frame.io に転送します。

設定値	
ON	OFF

## ルート証明書

Frame.io への接続に必要なルート証明書をカメラに設定できます。

サブメニュー	説明
記録メディアから 読込	メモリーカード内にあるルート証明書を読み込んで設定できます。
削除	設定されているルート証明書を削除できます。

## アップロード状況

Frame.io へのファイルの転送状況を確認できます。

## 転送予約リスト

転送待ちのファイルを確認できます。

## 転送予約リセット

Frame.io へのすべての転送予約を解除できます。

## 接続モード

外部機器とカメラを接続して使用する機能を設定します。

設定	説明
USB カードリーダー	USB ケーブルでパーソナルコンピューターとカメラを接続すると、自動的にメモリーカードのデータをパーソナルコンピューターに転送するモードになります。接続していないときは通常のカメラとして動作します。
USB WEBCAM	パーソナルコンピューターとUSB ケーブルで接続して、パーソナルコンピューター上でウェブカメラとして使用できます。
USB RAW 現像 / 設定保存読込	<p>USB ケーブルでパーソナルコンピューターとカメラを接続すると、自動的に「USB RAW 現像」「設定保存読込」が可能になります。接続していないときは通常のカメラとして動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>USB RAW 現像</b>：(使用ソフトウェア：FUJIFILM X RAW STUDIO) カメラに搭載している画像処理エンジンで、高速、高品質にRAW 現像を行います。</li> <li>• <b>設定保存読込</b>：(使用ソフトウェア：FUJIFILM X Acquire) カメラの設定の保存、読込ができます。カメラの設定全体を瞬時に切り替えたり、複数の同一機種カメラ間で設定を共有したりするときに便利です。接続していないときは通常のカメラとして動作します。</li> </ul>

 このカメラで使用できるソフトウェアについては、[p.347](#) をご覧ください。

## USB 給電 / 通信設定

パーソナルコンピュータやスマートフォンなどの機器と USB ケーブルで接続したときにカメラに給電するか、カメラと通信するかを設定します。

設定	説明
自動	接続した機器からカメラに給電するか、接続した機器と通信するかを自動的に切り替えます。
給電 ON/ 通信 OFF	接続した機器から給電します。カメラのバッテリーの消費を抑えることができます。接続した機器との通信はできません。
給電 OFF/ 通信 ON	カメラに給電せず、接続した機器と通信を行います。



給電機能がない機器や Lightning 端子を持つ機器からは給電できません。これらの機器と接続するときはあらかじめ**給電 OFF/ 通信 ON** に設定してください。**給電 ON/ 通信 OFF** のまま接続すると、データの転送などできない場合があります。



カメラの電源がオフのときは、設定にかかわらずバッテリーの充電を行います。

## 情報表示

カメラ本体の MAC アドレスと Bluetooth アドレス、無線 LAN の IP アドレスを表示します。

## ネットワーク / USB 設定初期化

無線通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。

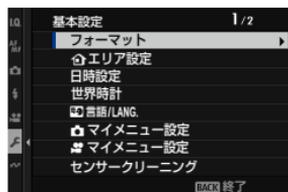
# セットアップメニュー

# 9

## セットアップメニュー（基本設定）

カメラの基本的な設定を変更できます。

**MENU/OK** ボタンを押して、**基本設定**（セットアップ）タブを選び、**基本設定**を選びます。

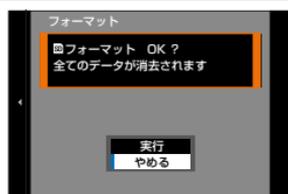


### フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。

**1** セットアップメニューから **基本設定** > **フォーマット**を選びます。

**2** **MENU/OK** ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



**3** **実行**を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。

 確認画面で**やめる**を選んだ状態で **MENU/OK** ボタンを押したり、**DISP/BACK** ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。

-  プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

 **DRIVE/DELETE** ボタンを長押し中にリアコマンドダイヤルの中央を長押ししてもフォーマット画面を表示できます。

## 🏠 エリア設定

お住まいの地域やサマータイムの設定をします。

### エリア設定

世界地図からお住まいの地域を選択します。

### サマータイム

サマータイムを使用するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	サマータイムを使用します。
OFF	サマータイムを使用しません。

## 日時設定

日付と時刻を設定します。

- 1 セットアップメニューから **基本設定** > **日時設定** を選びます。
- 2 フォーカスレバーの上下で年月日の並び順を選びます。
- 3 フォーカスレバーの左右で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押すと、日時が設定されます。

## 世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
 ホーム	現在設定されている日時を表示します。
 現地	旅行先の日時を表示します。

 **+** 現地を選ぶときは、あらかじめ  エリア設定でお住まいの地域を設定してください。

### 現地時間の設定方法

1  現地を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

2 フォーカスレバーの左右で旅行先のエリアを選びます。

 スマートタイムを使用したいときは**スマートタイム**を **ON** に設定してください。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

 **+** 現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に **+** と日時が約 3 秒間黄色で表示されます。

## 言語/LANG.

メニューなどを表示する言語を設定します。

## マイメニュー設定

静止画撮影時によく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます（ 311）。

## マイメニュー設定

動画撮影時によく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます（ 311）。

## センサークリーニング

センサーのほこりなどをふるい落とすことができます。

設定	説明
実行	実行を選ぶと、すぐにセンサークリーニングを実行します。
電源 ON 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオンにしたときにセンサークリーニングを実行します。
電源 OFF 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオフにしたときにセンサークリーニングを実行します。ただし、再生モードで電源をオフにした場合は、実行されません。

 センサークリーニングを実行してもセンサーのほこりを完全にふるい落とすことはできません。

## シャッター回数

シャッターを切ったおおよその回数を確認できます。

 シャッター回数はシャッターボタンを押す以外にも、電源オン/オフ、OVF/EVF 切り換え、再生モードへの切り換えなどでもカウントされます。

## 電子音 & フラッシュ

**OFF** にすると、フラッシュや AF 補助光が発光禁止になり、操作音や動画の再生音がオフになります。セルフタイマーランプも発光しません。

設定値	
ON	OFF

## ファームウェアアップデート

メモリーカードに保存したファームウェアを使用して、カメラのファームウェアの更新ができます（ 365）。

## リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

### 1 リセットするメニューを選び **MENU/OK** ボタンを押します。

設定	説明
静止画メニュー リセット	静止画撮影メニューの  <b>カスタム登録 / 編集</b> の内容、ホワイトバランスのカスタムの内容以外がリセットされます。
動画メニュー リセット	動画撮影メニューの  <b>カスタム登録 / 編集</b> の内容、ホワイトバランスのカスタムの内容以外がリセットされます。
セットアップリセット	セットアップメニューの <b>日時設定</b> 、  <b>エリア設定</b> 、 <b>世界時計</b> 、 <b>著作権情報</b> 以外がリセットされます。
初期化	ホワイトバランスのカスタムの内容以外の全ての設定がリセットされます。

### 2 確認画面で実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

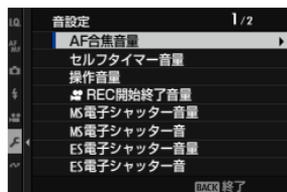
## 認証

セットアップメニューの  **基本設定** > **認証** を選ぶと、製品型番などの認証情報が電子形式で表示されます。

## セットアップメニュー（音設定）

カメラの音に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**音設定**を選びます。



### AF 合焦音量

シャッターボタン半押し中にピントが合ったときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

### セルフタイマー音量

セルフタイマー使用時の音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

## 操作音量

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

## REC 開始終了音量

動画撮影を開始するときと終了するときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

## MS 電子シャッター音量

メカニカルシャッター使用時のシャッターをきるときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

## MS 電子シャッター音

メカニカルシャッター使用時のシャッターをきるときの音を設定します。

設定	説明
♪1サウンド 1	シャッター音 1 に設定します。
♪2サウンド 2	シャッター音 2 に設定します。
♪3サウンド 3	シャッター音 3 に設定します。

## ES 電子シャッター音量

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音量を設定します。

設定	説明
 4	音量「大」に設定します。
 3	音量「中」に設定します。
 1	音量「小」に設定します。
 OFF	消音に設定します。

## ES 電子シャッター音

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音を設定します。

設定	説明
♪1サウンド 1	シャッター音 1 に設定します。
♪2サウンド 2	シャッター音 2 に設定します。
♪3サウンド 3	シャッター音 3 に設定します。

## 再生音量

動画再生時の音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1～10	音量を1～10に設定します。

## セットアップメニュー（表示設定）

カメラの画面表示に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**設定**（セットアップ）タブを選び、**表示設定**を選びます。

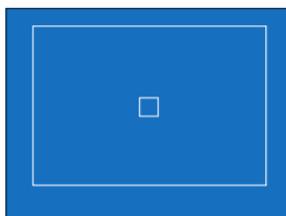


### VIEW MODE 設定

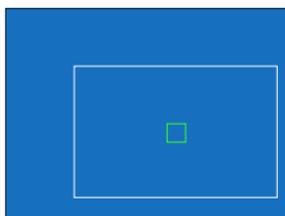
アイセンサー、EVF/OVF（ファインダー）、LCD（液晶モニター）の設定を切り替えます（[目次](#) 20）。

### ブライトフレーム位置記憶

シャッターボタンを半押しすると、実際の撮影範囲にブライトフレームが移動します。移動したブライトフレームの位置を記憶するかどうかを設定できます。



通常時



シャッターボタン半押し時

設定	説明
ON	シャッターボタンを離しても半押し時のブライトフレーム位置で表示されます。
OFF	シャッターボタンを離すと通常時のブライトフレーム位置に戻ります。

## EVF 明るさ

EVF（ファインダー）の明るさを調整できます。

設定	説明
AUTO	基準の明るさを設定すると、カメラが自動的に適切な明るさに調整します。
マニュアル	-7～+5の明るさを手動で調整します。

## EVF 鮮やかさ

EVF（ファインダー）の鮮やかさを調整できます。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

## EVF 色調整

EVF（ファインダー）の色調を調整できます。

1 フォーカスレバーで色調を調整します。



2 MENU/OK ボタンで決定します。

## LCD 明るさ

LCD（液晶モニター）の明るさを調整できます。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

## LCD 鮮やかさ

LCD（液晶モニター）の鮮やかさを調整できます。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

## LCD 色調整

LCD（液晶モニター）の色調を調整できます。

**1** フォーカスレバーで色調を調整します。

**2** MENU/OK ボタンで決定します。

## 撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

設定	説明
連続	シャッターボタンを半押しするまで、または <b>MENU/OK</b> ボタンを押すまで表示します。フォーカスレバーを中央に押し、ピント位置が拡大表示され、もう一度押しと元に戻ります。
1.5 秒 / 0.5 秒	撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、表示を終了します。
OFF	表示しません。



- 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。

## 縦横自動回転表示

**ON** にすると、撮影時にカメラが縦向きの場合、ファインダー（EVF）または液晶モニター（LCD）の表示が縦向きになります。

設定値	
ON	OFF

## マニュアル時モニター露出 /WB 反映

マニュアル（M）撮影で、撮影画面に露出やホワイトバランスを反映できません。

設定	説明
露出反映 /WB 反映	露出とホワイトバランスの両方を反映した画面を表示します。
WB のみ反映	ホワイトバランスのみ反映した画面を表示します。デイトライティング撮影など、撮影時に露出の条件が変わる場合に使用します。
OFF	露出もホワイトバランスも反映しません。タングステンモニタリングランプを使用したフラッシュ撮影など、撮影時に露出、ホワイトバランスの条件が変わる場合に使用します。

## ナチュラルライブビュー

撮影画面に撮影効果を反映するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすいようにした画像が画面に表示されます。表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピアでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。
OFF	フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面に表示されます。

## F-Log ビューアシスト

ON にすると、F-Log 撮影時や F-Log 撮影した動画の再生時に、階調補正を適用した映像（BT.709 相当）を画面に表示します。

### 設定値

ON

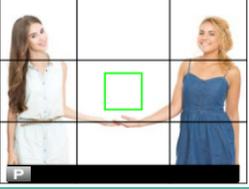
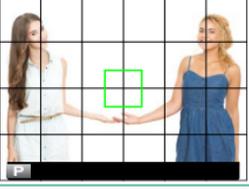
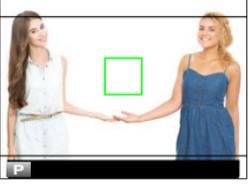
OFF

## 電子水準器設定

撮影時の電子水準器の表示を設定できます（ 27）。

## フレーミングガイド

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

設定	説明	イメージ
 方眼 9 分割	縦横にガイド線が表示されます（9 コマ）。	
 方眼 24 分割	縦横にガイド線が表示されます（24 コマ）。	
 HD フレーミング	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。	

 フレーミングガイドは工場出荷時の設定では表示されない設定になっています。フレーミングガイドを表示する方法は「画面の表示について」をご覧ください（ 25）。

## 縦横自動回転再生

ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

設定値	
ON	OFF

## 距離指標の単位

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます。

設定	説明
メートル	距離指標の単位をメートル（m）に設定します。
フィート	距離指標の単位をフィート（ft.）に設定します。

## OVF 時 撮影画像表示

OVF 使用時の撮影した画像の確認方法を選びます。 **表示設定 > 撮影画像表示**で設定した時間だけ、画像を表示します。

設定	説明
全画面	撮影した画像をビューファインダー全体に表示します。
小窓	撮影した画像を電子式レンジファインダー (ERF) に表示します。

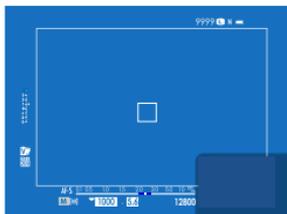
 **表示設定 > 撮影画像表示**を**連続**に設定しているときは、自動的に**全画面**になります。**OFF**に設定しているときは画像は表示されません。

## 画面のカスタマイズ

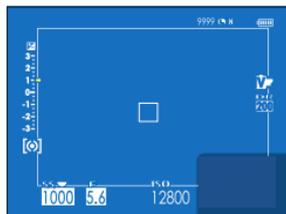
撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目を設定できます (📖 25)。

## 情報表示拡大モード (EVF/OVF)

ON にすると、OVF と EVF 画面に表示する撮影時の情報を拡大して表示できます。拡大表示する情報は **表示設定 > 情報表示拡大 表示設定** で変更できます。



OFF



ON

**!** 情報表示拡大モード (EVF/OVF) を ON にすると、一部のアイコンが非表示になります ( 17)。

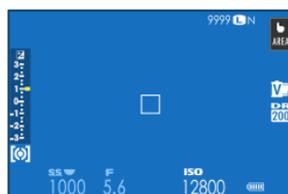
**📄** ファンクションボタンに情報表示拡大モードを割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで情報表示拡大モードの ON/OFF を切り替えられます ( 319)。

## 情報表示拡大モード (LCD)

ON にすると、LCD 画面に表示する撮影時の情報を拡大して表示できます。拡大表示する情報は **表示設定 > 情報表示拡大 表示設定** で変更できます。



OFF



ON

**!** 情報表示拡大モード (LCD) を ON にすると、一部のアイコンが非表示になります ( 19)。

**📄** ファンクションボタンに情報表示拡大モードを割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで情報表示拡大モードの ON/OFF を切り替えられます ( 319)。

## 情報表示拡大 表示設定

**表示設定 > 情報表示拡大モード (EVF/OVF)、情報表示拡大モード (LCD) を ON にしたときに拡大表示する項目を変更できます。**



サブメニュー	説明
① 露出表示	画面の下部に表示する項目を選びます。画面に表示する項目には、 <input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。 <input checked="" type="checkbox"/> が表示されている状態で <b>MENU/OK</b> ボタンを押すと、選択が解除されます。
② <input checked="" type="checkbox"/> ゲージ	<b>ON</b> にすると、露出補正ゲージが拡大表示されます。
③ L1、L2、L3、L4	画面の左側に拡大表示するアイコンを最大4つまで選択できます。
④ R1、R2、R3、R4	画面の右側に拡大表示するアイコンを最大4つまで選択できます。

## 情報表示コントラスト調整

表示画面のコントラストを調整できます。

設定	説明
高コントラスト	コントラストを高め（明暗差を大きく）設定します。
通常	通常表示です。
低コントラスト	コントラストを低め（明暗差を小さく）設定します。
暗所	暗い環境で使用するときに適したコントラストに設定します。

## 位置情報表示

ON にすると、スマートフォンから取得した位置情報を表示できます。

設定値

ON

OFF

## 📷 クイックメニュー背景設定

静止画撮影時のクイックメニューの背景を設定できます。

設定値

透明

黒

## 📹 クイックメニュー背景設定

動画撮影時のクイックメニューの背景を設定できます。

設定値

透明

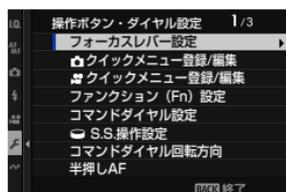
黒

# セットアップメニュー

## (操作ボタン・ダイヤル設定)

カメラの操作ボタンや操作ダイヤルに関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、 (セットアップ) タブを選び、**操作ボタン・ダイヤル設定**を選びます。



### フォーカスレバー設定

フォーカスレバーを中央に押ししたり、上下左右に動かしたりしたときの動作を設定できます。

#### フォーカスレバー押下

設定	説明
OFF	フォーカスレバーを中央に押す操作を無効にします。
フォーカスエリア 選択	フォーカスエリアのサイズと位置の変更ができます。  <b>顔検出 / 瞳 AF 設定</b> や <b>被写体検出 AF 設定</b> がオンのときは、ピントを合わせる顔や瞳、被写体を選択できます。
拡大 / 縮小	フォーカスエリアの位置を拡大表示します (  85)。
中央へリセット	フォーカスエリアが中央に戻ります。

#### フォーカスレバー

設定	説明
OFF	フォーカスレバーを上下左右に動かす操作を無効にします。
AF ポイント ダイレクト移動	撮影画面のままフォーカスエリア位置を移動できます。
フォーカスエリア 選択	フォーカスエリアの選択画面が表示され、フォーカスエリアを選択できます。

## クイックメニュー登録 / 編集

静止画撮影時にクイックメニューに表示するメニューを変更できます (📖 313)。

## クイックメニュー登録 / 編集

動画撮影時にクイックメニューに表示するメニューを変更できます (📖 313)。

## ファンクション (Fn) 設定

ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます (📖 319)。

## コマンドダイヤル設定

フロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルの機能を設定できます。

設定	説明
フロントコマンドダイヤル 1	フロントコマンドダイヤル 1 にシャッタースピード (S.S.(プログラムシフト)) または絞り値 (絞り) <sup>*1</sup> を割り当てます。
フロントコマンドダイヤル 2	フロントコマンドダイヤル 2 とフロントコマンドダイヤル 3 に、シャッタースピード (S.S.(プログラムシフト))、絞り値 (絞り) <sup>*1</sup> 、露出補正 (露出補正) <sup>*2</sup> 、ISO 感度 (ISO) <sup>*3</sup> 、またはなしを割り当てます。
フロントコマンドダイヤル 3	
リアコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル回転時の機能をシャッタースピード (S.S.(プログラムシフト))、絞り値 (絞り) <sup>*1</sup> 、露出補正 (露出補正) <sup>*2</sup> 、ISO 感度 (ISO) <sup>*3</sup> 、またはなしに割り当てます。

\*1 絞りの設定が **A** (オート) で、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > 絞りリング設定 (A)** がコマンドのとき

\*2 露出補正ダイヤルが **C** の位置のとき

\*3 ISO 感度の設定が **C** のとき



- コマンドダイヤル設定は、フロントコマンドダイヤルの中央を長押ししても設定できます。
- フロントコマンドダイヤルの中央を押すたびに、フロントコマンドダイヤル 1、フロントコマンドダイヤル 2、フロントコマンドダイヤル 3 の順に切り替えます。

## S.S. 操作設定

OFF にすると、コマンドダイヤルによるシャッタースピードの微調整機能が無効になります。

設定値	
ON	OFF

## コマンドダイヤル回転方向

コマンドダイヤルで数値を変更するときの、ダイヤルを回す向きを変更できます。フロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルでそれぞれ設定できます。

設定	説明
←→+	コマンドダイヤルを右に回すと数値が増えたり、項目が次に進んだりします。
+←→	コマンドダイヤルを左に回すと数値が増えたり、項目が次に進んだりします。

## 半押し AF

**ON** にすると、シャッターボタン半押し時にオートフォーカスでピントを合わせます。

サブメニュー	説明
AF-S	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>ON</b> : シャッターボタンを半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせ、ピントを固定します。</li><li>● <b>OFF</b> : シャッターボタンを半押ししてもフォーカスに関する動作は行いません。</li></ul>
AF-C	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>ON</b> : シャッターボタンを半押ししている間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。</li><li>● <b>OFF</b> : シャッターボタンを半押ししてもフォーカスに関する動作は行いません。</li></ul>

## 半押し AE

**ON** にすると、シャッターボタン半押し時にAEロック(露出を固定)します。フォーカスモードが **S** (AF-S) または **M** (マニュアルフォーカス) のときと、**C** (AF-C) のときでそれぞれ個別に設定できます。

設定値	
ON	OFF

 連写時に露出を追従させたいときは、**OFF** にしてください。

## カードなしリリース

メモリーカードが未挿入時の動作を設定できます。

設定	説明
ON	メモリーカードが未挿入のときもシャッターがきれ、動作を確認できます。撮影メニューやセットアップメニューも表示できます。
OFF	メモリーカードが未挿入のときはシャッターがきれません。メモリーカードの入れ忘れ防止などに便利です。

## フォーカスリング

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）に遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
 時計回り	フォーカスリングの回転方向を  時計回りに設定します。
 反時計回り	フォーカスリングの回転方向を  反時計回りに設定します。

## フォーカスリング操作

フォーカスリングの操作に応じたピント移動について設定できます。

設定	説明
ノンリニア	リング操作の回転速度に応じて、移動量可変でピントを移動します。
リニア	回転速度に応じず、回転量に対してリニアにピント移動します。

## コントロールリング設定

コントロールリングに割り当てる機能を設定できます。

設定	説明
スタンダード	カメラが撮影モードに応じた機能を自動で割り当てます (図 12)。
ホワイトバランス	ホワイトバランスの機能を割り当てます。
フィルムシミュレーション	フィルムシミュレーションの機能を割り当てます。
デジタルテレコン	デジタルテレコンの機能を割り当てます。
OFF	機能を割り当てません。

## AE/AF-LOCK 設定

AE ロックまたは AF ロックを割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
AE/AF-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、固定されます。
押下切替	ボタンを押すと固定され、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

## AWB-LOCK 設定

AWB (オートホワイトバランス) ロックを割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。AWB ロックを使用すると、ホワイトバランス設定が **AUTO** のときにホワイトバランスを固定できます。

設定	説明
AWB-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、AWB ロックします。
押下切替	ボタンを押すと AWB ロックされ、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

## 絞りリング設定 (A)

絞りの設定が **A**（オート）のときに、フロントコマンドダイヤルを回すと絞り値を任意で変えられるように変更できます。

設定	説明
AUTO	絞りの設定が <b>A</b> （オート）のときはカメラが自動で絞り値を設定します。
コマンド	絞りの設定が <b>A</b> （オート）のときも、フロントコマンドダイヤルを回して絞り値を変えられます。

## ▶ Fn1 ボタン設定

再生モードで **Fn1** ボタンを押したときの動作を設定できます。

設定	説明
☐ スマートフォン 転送予約	表示している画像を転送予約します。スマートフォンとペアリングしていないときは <b>Bluetooth/ スマートフォン設定</b> の画面が表示されます。
🎵 選択 & スマート フォン転送予約	画像選択画面を表示します。ペアリングしているスマートフォンに転送する画像を選んで転送予約できます（📖 228）。スマートフォンとペアリングしていないときは <b>Bluetooth/ スマートフォン設定</b> の画面が表示されます。
📺 Frame.io 転送予約	表示している画像を Frame.io に転送予約します。
📶 ワイヤレス通信	ワイヤレス通信を行います。

## タッチパネル設定

液晶モニター（LCD）のタッチ操作を行うかどうかを設定できます。

### 📷 タッチパネル設定

設定	説明
ON	撮影時に液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用します。
OFF	タッチパネルとして使用しません。

### 📷 ダブルタップ拡大

設定	説明
ON	撮影時に液晶モニター（LCD）を2回タッチすると、画像が拡大します。
OFF	タッチによる画像拡大はしません。

### 📺 タッチファンクション

設定	説明
ON	タッチファンクションを使用します。
OFF	タッチファンクションを使用しません。

### 📺 タッチパネル設定

設定	説明
ON	再生時に液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用します。
OFF	タッチパネルとして使用しません。

## EVF/OVF タッチパネル有効範囲

EVF 使用時に液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用できます。タッチパネルの有効範囲は次の中から選びます。

設定	説明
<input type="checkbox"/>	全面で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	右半分で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	右上 1/4 側で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	右下 1/4 側で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	左半分で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	左上 1/4 側で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	左下 1/4 側で動作
OFF	タッチパネルとして使用しません。

## ロック

カメラのボタンや機能をロックして誤操作を防止できます。機能別にロックするボタンや機能を選ぶこともできます。

サブメニュー	内容
ロック指定	<ul style="list-style-type: none"><li>解除：ロック指定を解除します。</li><li>全てロック：機能別ロック設定で選択できるすべてのボタンや機能を一括でロックします。</li><li>機能別ロック：機能別ロック設定で選んだボタンや機能をロックします。</li></ul>
機能別ロック設定	ロック指定で機能別ロックを選んだときにロックするボタンや機能を選びます。

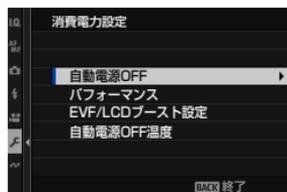


- 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを長押しすると機能別ロックができます。もう一度長押しするとロックを解除します。
- 機能別ロック設定のファインダー切換レバーでファインダー切り替えレバー（長引き）を選んだときは、ファインダー切換レバー長引きに割り当てた機能をロックします。ファインダー切り替えレバーを選んだときは、EVF/OVF/ERF の切り替え機能をロックします。

## セットアップメニュー（消費電力設定）

カメラの消費電力に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**設定**（セットアップ）タブを選び、**消費電力設定**を選びます。



### 自動電源 OFF

自動的に電源をオフにできます。

設定	説明
5分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
2分	
1分	
30秒	
15秒	
OFF	自動的に電源がオフになりません。

## パフォーマンス

ブーストを選ぶと、カメラの AF 性能やファインダー表示の性能がアップします。

設定	説明
ブースト	カメラの AF 性能やファインダー表示の性能がアップします。バッテリーの持続時間は <b>ノーマル</b> よりも短くなります。
ノーマル	カメラの AF 性能やファインダー表示の性能、バッテリーの持続時間を標準の性能にします。
エコノミー	カメラの AF 性能やファインダー表示の性能を抑えます。バッテリーの持続時間は <b>ノーマル</b> より長くなります。

## EVF/LCD ブースト設定

パフォーマンスでブーストを選んだときの、EVF や LCD の性能を設定します。

設定	説明
EVF/LCD 表示 低照度優先	EVF/LCD の明るさを調整して、暗所での被写体を見やすく表示します。映像にブレが生じると、残像が発生する場合があります。
EVF/LCD 表示 解像度優先	EVF/LCD 表示の解像度を高くして、被写体を高精細に表示します。
EVF 表示 フレームレート優先 (100P)	EVF 表示のフレームレートを高くして、動きをなめらかに表示します。

## 自動電源 OFF 温度

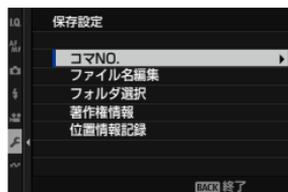
カメラの温度が上昇した際にはメッセージが表示され、さらに上昇すると、撮影を中断し電源を自動的にオフにします。その際の温度を変更できます。

設定	説明
標準	カメラの電源をオフにする温度を <b>標準</b> に設定します。
高	<b>標準</b> に比べて、カメラの温度が高くなっても撮影することができます。動画撮影時など <b>高</b> に設定すると、 <b>標準</b> に比べて撮影時間が長くなります。カメラを持ち続けると低温やけどの恐れがありますので、三脚などをお使いください。

## ■ セットアップメニュー (保存設定)

画像の保存に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**設定** (セットアップ) タブを選び、**保存設定**を選びます。



### コマ NO.

メモリーカードを交換したときのコマ NO. (フォルダ NO. - ファイル NO.) の付け方を選びます。



設定	説明
連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。フォーマット済みのメモリーカードに交換することで、番号をリセットできます。

- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります。電源をオフにしてから、フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて撮影してください。
- 基本設定 > リセット**を行ってもコマ NO. はリセットされません。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

## ファイル名編集

ファイル名（DSCF\*\*\*\*/\_DSF\*\*\*\*）をそれぞれ変更できます。

設定	工場出荷時	変更例
sRGB	DSCF****	ABCD****
Adobe RGB	_DSF****	_ABC****

## フォルダ選択

記録フォルダの切り替えや新規作成ができます。

設定	説明
フォルダ選択	フォーカスレバーを上下に動かして既存のフォルダを選択し、 <b>MENU/OK</b> ボタンを押すと、次に撮影する画像は選んだフォルダに保存されます。
フォルダ作成	5文字のフォルダ名を入力し決定した後、撮影すると、入力した名前のフォルダが作成され、画像はそのフォルダに保存されます。

## 著作権情報

撮影時の著作権情報を画像の Exif 情報に記録できます。画面の内容にしたがってそれぞれ情報を入力すると、設定後に撮影された画像に著作権情報が記録されます。

設定	説明
著作権情報の表示	現在登録されている著作権情報を表示します。
作成者名の入力	作成者名を入力します。
著作権者名の入力	著作権者名を入力します。
著作権情報の削除	現在登録されている著作権情報を削除します。画像に著作権情報を残したくない場合は、 <b>著作権情報の削除</b> を行ってから撮影してください。

## 位置情報記録

ON にすると、スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録することができます。

設定値

ON

OFF

# ショートカット機能

# 10

## ショートカット機能について

用途や場面に合わせてショートカット機能を使い分けると便利です。

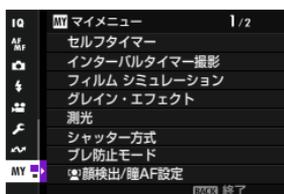
このカメラでは、よく使う機能のメニューをマイメニューやクイックメニューに登録して使用したり、ファンクションボタン、タッチファンクションで機能をダイレクトで呼び出したりできます。

ショートカット機能	内容	目録
マイメニュー	よく使うメニューなどを選んでマイメニューに登録しておくことができます。 <b>MENU/OK</b> ボタンを押して、 <b>MV</b> (マイメニュー) タブを選ぶと、登録したメニューのみが表示されます。	311
クイックメニュー	<b>Q</b> ボタンを押すと <b>Q</b> (クイックメニュー) が表示され、よく使うメニュー項目の設定値を確認できます。 <b>Q</b> (クイックメニュー) で設定値を変更することもできます。	313
ファンクションボタン	あらかじめ割り当てられている機能のファンクションボタンを押すと、ダイレクトで割り当てた機能呼び出すことができます。	319
タッチファンクション	タッチファンクション ( <b>T-Fn1/T-Fn2/T-Fn3/T-Fn4</b> ) でタッチパネルをフリックして、あらかじめ割り当てられている機能をダイレクトで呼び出すことができます。	324

# マイメニュー

よく使うメニューを自由にまとめて登録できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**MY** (マイメニュー) タブを選びます。



❗ **MY** マイメニューにメニューが登録されていないときは **MY** (マイメニュー) タブを選ぶことはできません。

## マイメニュー設定

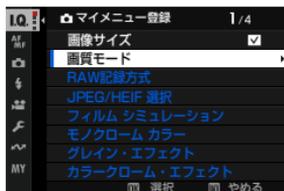
よく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます。登録したメニューは、**MY** (マイメニュー) タブを選ぶと表示されます。

- 1 セットアップメニューの **基本設定** > **マイメニュー設定**または **マイメニュー設定**を選びます。  
メニューが表示されます。



📁 **順序変更**を選ぶと登録したマイメニューの順番を変更できます。**削除**を選ぶと登録したマイメニューを削除できます。

- 2 **登録**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。  
登録可能なメニューが青文字で表示されます。



📁 登録済みのメニューにはチェックマークが付きます。

**3** 登録するメニューを選んで **MENU/OK** ボタンを押します。  
もう一度 **MENU/OK** ボタンを押してメニューの選択画面に戻ります。

**4** 次に登録するメニューを選んで **MENU/OK** ボタンを押します。登録するメニューの順序を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



**5** 手順4を繰り返してマイメニューを登録します。  
マイメニューの登録を終了するときは **DISP/BACK** ボタンを押します。

 最大16項目（8×2ページ）のメニューが登録できます。

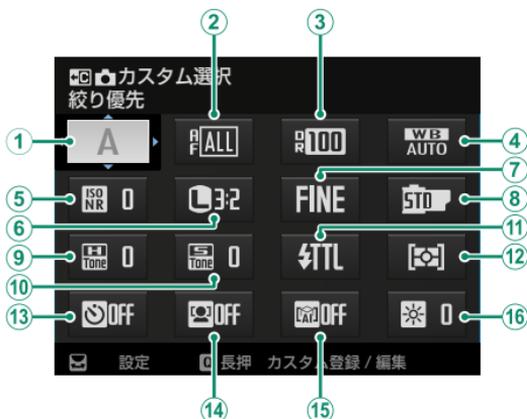
## クイックメニュー

クイックメニューを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。クイックメニューは **Q** ボタンを押して表示させます。

### クイックメニュー画面

クイックメニューに表示する項目は静止画撮影時と動画撮影時で個別に設定できます。工場出荷時は、クイックメニューに以下の機能が割り当てられています。

#### 静止画撮影時

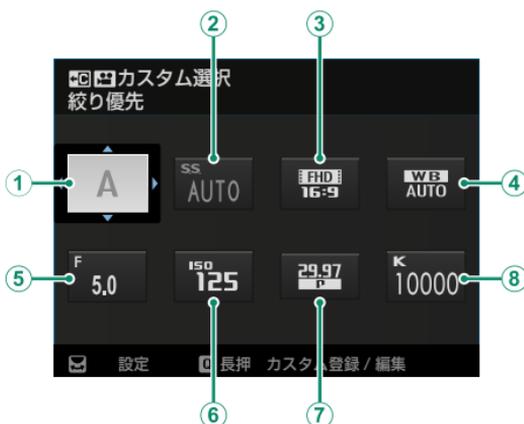


#### 工場出荷時の設定

① カスタム選択*	⑨ ハイライトトーン
② AF モード	⑩ シャドウトーン
③ ダイナミックレンジ	⑪ フラッシュ機能設定
④ ホワイトバランス	⑫ 測光
⑤ 高感度ノイズ低減	⑬ セルフタイマー
⑥ 画像サイズ	⑭ 顔検出 / 瞳 AF 設定
⑦ 画質モード	⑮ 被写体検出 AF 設定
⑧ フィルムシミュレーション	⑯ EVF/LCD 明るさ

\* カスタム選択を設定していないときは撮影モードが表示されます。

各メニュー (② ~ ⑯) には、それぞれの設定値が表示されます。各メニュー項目は、入れ替えることができます。



### 工場出荷時の設定

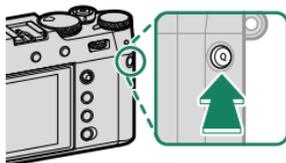
① カスタム選択*	⑤ 絞り (動画専用操作モード  )
② シャッタースピード (動画専用操作モード  )	⑥ 感度 (動画専用操作モード  )
③ 動画モード 解像度/アスペクト比	⑦ 動画モード フレームレート
④ ホワイトバランス	⑧ ホワイトバランス色温度 (K 設定時)

\* カスタム選択を設定していないときは撮影モードが表示されます。

各メニュー (②～⑧) には、それぞれの設定値が表示されます。各メニュー項目は、入れ替えることができます。

## 設定の確認と変更

- 1 撮影画面で **Q** ボタンを押します。  
クイックメニューが表示されます。



- 2 設定を変更するメニュー項目をフォーカスレバーで選びます。



- 3 リアコマンドダイヤルで設定値を選びます。



 クイックメニューが表示されているときに **Q** ボタンを長押しすると、 **カスタム登録/編集**または **カスタム登録/編集**の画面が表示されます。

- 4 **Q** ボタンを押します。  
表示されている設定値になり、撮影画面に戻ります。

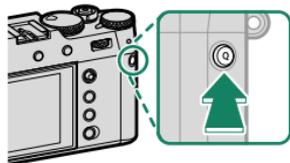
-  クイックメニューの操作はタッチ操作でも行えます。
- Q** ボタンはファンクションボタンとして使用できます。 **操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で、ファンクションボタンの機能を他の機能に割り当てることができます。また、ファンクションボタンの機能を他のボタンに割り当てすることもできます (p.319)。
  -  **操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で **Q ボタン設定**をなしに設定すると、**Q** (クイックメニュー) ボタンは無効になります。

## クイックメニューの割り当て変更

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

### 1 撮影画面で Q ボタンを長押しします。

クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。



静止画撮影時 / 動画撮影時によって、静止画または動画のクイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。

### 2 割り当てを変更するメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

### 3 割り当てるメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

クイックメニューにメニューが割り当てられます。



クイックメニューの割り当ては、 操作ボタン・ダイヤル設定 > クイックメニュー登録 / 編集または クイックメニュー登録 / 編集からも設定できます。

## 割り当て可能なメニュー（静止画）

- 画像サイズ
- 画質モード
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- Dレンジ優先
- ホワイトバランス
- ホワイトバランス色温度 (  設定時)
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- 明瞭度
- 高感度ノイズ低減
- AF モード
- AF-C カスタム設定
-  顔検出 / 瞳 AF 設定
- 被写体検出 AF 設定
- MF アシスト
- タッチパネルモード
- セルフタイマー
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
-   コンバージョンレンズ
-   ND フィルター
- フラッシュ機能設定
- フラッシュ調光補正
- 動画モード 解像度 / アスペクト比
- 動画モード フレームレート
- ビットレート
- ハイスピード撮影
-  プレ防止モード
-  プレ防止モードブースト
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 電子音 & フラッシュ
- EVF/LCD 明るさ
- EVF/LCD 鮮やかさ
- なし



なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

## 割り当て可能なメニュー（動画）

- フィルム シミュレーション
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- ホワイトバランス色温度 (  設定時)
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- 高感度ノイズ低減
-  顔検出 / 瞳 AF 設定
- 被写体検出 AF 設定
- MF アシスト
- タッチパネルモード
- 測光
-   コンバージョンレンズ
-   ND フィルター
- 動画モード 解像度 / アスペクト比
- 動画モード フレームレート
- ビットレート
- ハイスピード撮影
-  セルフタイマー
- 動画 AF モード
- 動画クロップ倍率固定モード
-  プレ防止モード
-  プレ防止モードプースト
- シャッタースピード  
(動画専用操作モード )
- 絞り (動画専用操作モード )
- 感度 (動画専用操作モード )
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 電子音 & フラッシュ
- EVF/LCD 明るさ
- EVF/LCD 鮮やかさ
- なし



なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

## ファンクション機能

ファンクションボタン、タッチファンクションに、それぞれ機能を1つ割り当てられます。

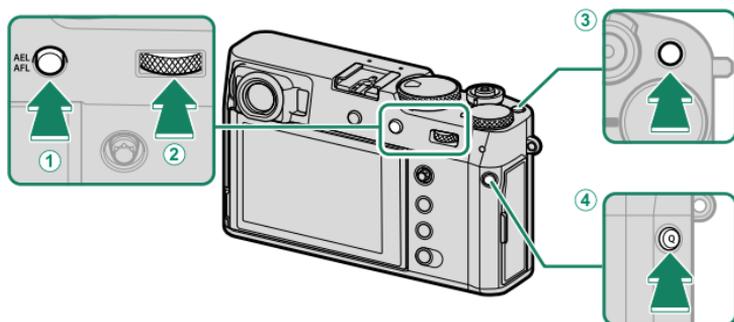
### ファンクションボタン

ファンクションボタンを押すだけで機能を切り替えたり、設定画面を呼び出したりできます。

### ファンクションボタンの工場出荷時設定

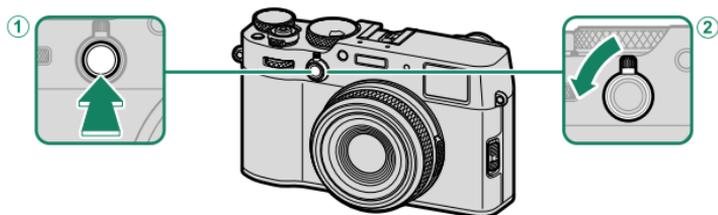
工場出荷時に割り当てられている機能とボタンの位置は次のとおりです。

#### 背面 / 天面のファンクションボタン



ファンクションボタン	割り当てられている機能
① AEL/AFL ボタン	AE/AF LOCK
② リアコマンドダイヤル中央押し	フォーカスチェック
③ Fn1 ボタン	顔検出 ON/OFF
④ Q ボタン	クイックメニュー

## 前面のファンクションボタン



ファンクションボタン	割り当てられている機能
① Fn2 ボタン	コントロールリング設定
② ファインダー切換レバー長引き	📷 ND フィルター

## ファンクションボタンの割り当て変更

ファンクションボタンの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- Dレンジ優先
- ホワイトバランス
- 明瞭度
- カスタム選択
- カスタム 1 設定呼び出し
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 ON/OFF<sup>\*1</sup>
- 右目 / 左目切替
- 被写体検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- フォーカスチェックロック
- MF アシスト ON/OFF
- スポーツファインダーモード
- プリ撮影 **ES** 
- セルフタイマー
- AE ブラケット設定
- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- フリッカーレス S.S. 設定
- 感度 AUTO 設定
- プレ防止モード
-   コンバージョンレンズ
-   ND フィルター
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- 動画レリーズ<sup>\*2</sup>
- ハイスピード撮影
-  セルフタイマー
- 動画クロップ倍率固定モード
-  プレ防止モードブースト
- ゼブラ設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 動画専用操作モード 
- VIEW MODE 設定
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器切替
- 情報表示拡大モード
- F-Log ビューアシスト

- コントロールリング設定
- スポット測光固定
- AE LOCK のみ<sup>\*2</sup>
- AF LOCK のみ<sup>\*2</sup>
- AE/AF LOCK<sup>\*2</sup>
- AF-ON<sup>\*2</sup>
- AWB LOCK のみ<sup>\*2</sup>
- ロック指定
- パフォーマンス
- 撮影時 自動画像転送
- ペアリング接続先選択
- Bluetooth ON/OFF
- クイックメニュー
- 再生モード
- なし

\*1 OVF 表示時はファンクションボタンでの切り替えはできません。

\*2 ファインダー切換レバー長引きに割り当てることはできません。



**なし**を選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。

## AF-ON の割り当て

AF-ON を割り当てたボタンを押すとピント合わせを行います。

## モデリング発光の割り当て

モデリング発光に対応したクリップオンフラッシュを装着している状態で、**モデリング発光**を割り当てたボタンを押すと、モデリング発光を行います。撮影前に被写体の影の出かたなどを確認できます。

## TTL-LOCK の割り当て

TTL-LOCK を割り当てたボタンを押すと、**ⓘ フラッシュ設定 > TTL-LOCK モード**で設定されているモードでロックできます (📖 174)。

## カスタム 1 設定呼び出しの割り当て

カスタム 1 設定呼び出しを割り当てたボタンを撮影中に押すと、一時的にカスタム 1 に割り当てた設定で撮影できます。もう一度押すと元の設定に戻ります。

## スポット測光固定の割り当て

スポット測光固定を割り当てたボタンを押すと、**📷 撮影設定 > 測光**の設定にかかわらず、測光モードが**スポット**で撮影できます。もう一度、ボタンを押すと、測光モードは **📷 撮影設定 > 測光**の設定になります。

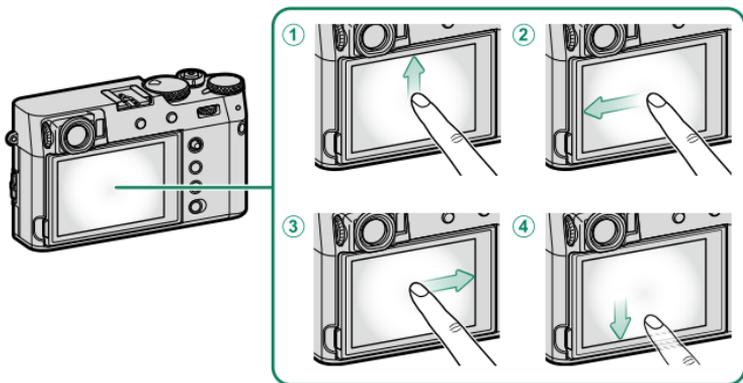
## タッチファンクション

タッチファンクション (T-Fn1/T-Fn2/T-Fn3/T-Fn4) 機能は、タッチパネル (液晶モニター) のフリック動作で機能呼び出すことができます。

 タッチファンクションは工場出荷時の設定ではオフになっています。タッチファンクションを使用する場合は、 操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 >  T-Fn タッチファンクションを ON にしてください。

### タッチファンクションの工場出荷時設定

工場出荷時に割り当てられている機能とフリック方向は次のとおりです。



タッチファンクション	割り当てられている機能
① T-Fn1 (液晶モニターを上フリック)	ヒストグラム
② T-Fn2 (液晶モニターを左フリック)	フィルム シミュレーション
③ T-Fn3 (液晶モニターを右フリック)	ホワイトバランス
④ T-Fn4 (液晶モニターを下フリック)	電子水準器切替

## タッチファンクションの割り当て変更

タッチファンクションの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- Dレンジ優先
- ホワイトバランス
- 明瞭度
- カスタム選択
- カスタム 1 設定呼び出し
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 ON/OFF\*
- 右目 / 左目切替
- 被写体検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- フォーカスチェックロック
- MF アシスト ON/OFF
- スポーツファインダーモード
- プリ撮影 **ES** 
- セルフタイマー
- AE ブラケット設定
- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- フリッカーレス S.S. 設定
- 感度 AUTO 設定
- プレ防止モード
-   コンバージョンレンズ
-   ND フィルター
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- ハイスピード撮影
-  セルフタイマー
- 動画クロップ倍率固定モード
-  プレ防止モードブースト
- ゼブラ設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 動画専用操作モード 
- VIEW MODE 設定
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 /WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器切替
- 情報表示拡大モード
- F-Log ビューアシスト

- コントロールリング設定
- スポット測光固定
- ロック指定
- パフォーマンス
- 撮影時 自動画像転送
- ペアリング接続先選択
- Bluetooth ON/OFF
- クイックメニュー
- 再生モード
- なし

\*OVF 表示時はタッチファンクションでの切り替えはできません。



**なし**を選ぶと、タッチファンクションの割り当てはなくなります。

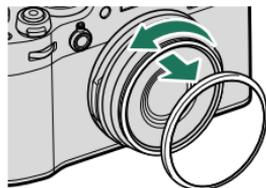
# オプション品・ 外部機器の使い方

## 別売アクセサリ

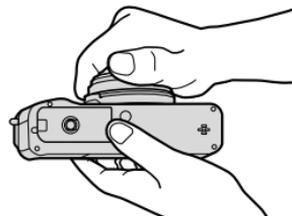
このカメラでは、以下の富士フィルム製別売アクセサリを使用できます。その他のアクセサリについては、「カメラで使えるアクセサリ」(P.344)をご覧ください。

### アダプターリング AR-X100

#### 1 フロントリングをはずします。



フロントリングがはずれにくいときは、フロントリング全体をしっかりつかんで回してください。



#### 2 アダプターリングを取り付けます。

図のように突起部が手前になるようにしてください。

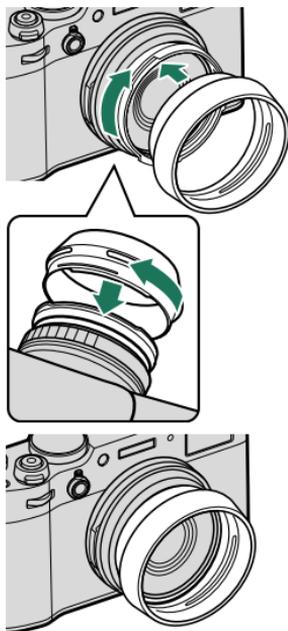


- はずしたフロントリングやレンズキャップは、なくさないように保管してください。
- レンズフード LH-X100 やプロテクトフィルター PRF-49/PRF-49S、市販のフィルターなどを取り付けるときは、必ずアダプターリング AR-X100 を先に装着してください。

## レンズフード LH-X100

アダプターリングを取り付けてから、レンズフードを取り付けます。

 切り欠き部分を合わせて、図のように回します。



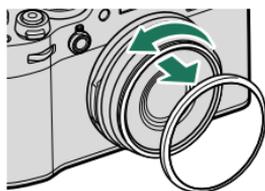
## プロテクトフィルター PRF-49/PRF-49S

アダプターリングを取り付けてから、プロテクトフィルターを取り付けます。

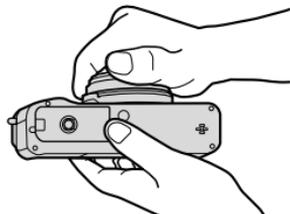


## コンバージョンレンズ

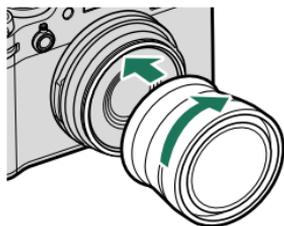
### 1 フロントリングをはずします。



 フロントリングがはずれにくいときは、フロントリング全体をしっかりつかんで回してください。



### 2 コンバージョンレンズを取り付けます。



 はずしたフロントリングやレンズキャップは、なくさないように保管してください。

## コンバージョンレンズの使い方

別売の専用コンバージョンレンズ WCL-X100 II または TCL-X100 II を装着すると、カメラがコンバージョンレンズを検知して、自動で設定を切り替えます。画面にアイコン（**W/F**）が表示されます。また、撮影する焦点距離が 41 mm や 72 mm のときは画像サイズが **M** に、58 mm や 100 mm のときは画像サイズが **S** に自動で切り替わります。



- WCL-X100 または TCL-X100 の場合は、カメラがコンバージョンレンズを検知しません。静止画撮影メニューの **撮影設定** > **コンバージョンレンズ** または 動画撮影メニューの **動画設定** > **コンバージョンレンズをワイドまたはテレ** にしてください。

- ワイドコンバージョンレンズを装着すると、OVF ではブライトフレームの表示範囲を超えるため、フレーム範囲外警告が表示されます。より正確なフレーミングが必要な場合には、EVF または LCD での撮影をおすすめします。



- 内蔵フラッシュを使用して撮影すると、画像の一部が暗くなることがあります。専用外部フラッシュのご使用をおすすめします。
- コンバージョンレンズを使用しないときは、**撮影設定** > **コンバージョンレンズ** および **動画設定** > **コンバージョンレンズ** を **OFF** にしてください。

## クリップオンフラッシュ

別売のクリップオンフラッシュを使うと、内蔵フラッシュよりも大光量の撮影ができます。別売のクリップオンフラッシュには、単灯フラッシュとしてだけでなく、ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュとしてもご使用いただける製品もあります。

**!** カメラでセットアップメニューを表示しているときなど、フラッシュのテスト発光ができない場合があります。

### 赤目補正について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。赤目現象を補正したいときは、

**!** フラッシュ設定 > 赤目補正を赤目抑制発光に設定します。

### フラッシュ使用時のシャッタースピードについて

フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は  $1/2000$  秒以下です。

### 別売フラッシュについて

このカメラでは、別売の富士フィルム製クリップオンフラッシュが使用できます。

### 他社製のフラッシュをお使いになる時のご注意

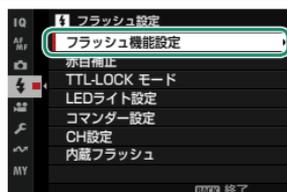
カメラのホットシューに 300V 以上の電圧がかかるフラッシュは使用できません。

## フラッシュを設定する

1 使用するフラッシュをカメラに接続します。

2 撮影メニューの **フラッシュ設定** > **フラッシュ機能設定** を選びます。

カメラに接続しているフラッシュの状態により、表示されるメニューや設定可能な項目が異なります。



フラッシュ設定	説明	
内蔵フラッシュ	<b>フラッシュ設定</b> > <b>内蔵フラッシュ</b> が <b>ON</b> のときに表示されます。	114
シンクロターミナル	別売のクリップオンフラッシュを使用していないときに表示されます。他社製フラッシュ等ホットシューの X 接点のみを使用した撮影で使用します。	334
クリップオンフラッシュ	別売のクリップオンフラッシュ (EF-X8 を除く) を接続して、電源を入れている場合に表示されます。	335
コマンダー (光通信)	富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したコマンダーフラッシュを使用するときに表示されます。光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応している別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	338

**フラッシュ設定** > **内蔵フラッシュ**が **OFF** のときに、ホットシューに何も接続されていない場合、またはカメラに対応したクリップオンフラッシュ以外が接続されている場合は、シンクロターミナルの設定画面が表示されます。

3 フラッシュの設定を変更します。

フォーカスレバーで変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。



4 DISP/BACK ボタンを押します。

フラッシュモードが設定されます。

## シンクローターミナル

別売のクリップオンフラッシュを使用していないときに表示されます。



項目	設定 / 説明
① モード (発光モード)	<p>ホットシュー X 接点からトリガー信号を発行するかどうかを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● <b>M</b> : 撮影に同期して、ホットシュー X 接点からトリガー信号が発行されます。撮影は同調速度よりも長いシャッター速度を使用する必要があります。また、発光時間の長いフラッシュ、応答の遅いフラッシュなどを使用する場合は、さらに遅いシャッター速度を設定してください。</li><li>● <b>OFF</b> : ホットシュー X 接点からトリガー信号を発行しません。</li></ul>
② 同調モード	<p>フラッシュが発光するタイミングを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● <b>FRONT (先幕)</b> : シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。</li><li>● <b>REAR (後幕)</b> : シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。</li></ul>

### シンクローターミナルについて

シンクロコードを必要とするフラッシュは使用できません。

## クリップオンフラッシュ

別売のクリップオンフラッシュを使用するときに表示されます。



クリップオンフラッシュ使用時は内蔵フラッシュの発光を抑制するため、**4** フラッシュ設定 > 内蔵フラッシュを OFF にしてください。

項目	設定 / 説明
① モード (発光モード)	<p>フラッシュに設定されている発光モードが表示されます。カメラで発光モードを変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光モードを選択することができます。表示される内容や設定可能な項目はご使用されているフラッシュにより異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>TTL</b>：TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整できます。</li> <li>• <b>M</b>：被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、<b>発光量</b>で発光強度を変更できます。</li> <li>• <b>Multi</b>：対応しているクリップオンフラッシュをご使用の場合、1回の撮影中に複数回発光（マルチ発光）します。</li> <li>• <b>OFF</b>：フラッシュを使用しません。フラッシュを使用しない設定が可能なフラッシュをご使用の場合に選択できます。</li> </ul>

項目	設定 / 説明
② 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>モードが TTL</b> のときに、調光補正量を調整できます。撮影条件によっては調整可能範囲を超え、設定値が反映されない場合があります。EF-X20、EF-20、EF-42 をご使用の場合は、フラッシュ本体での調光補正設定と合算した補正量が適用されます。</li> <li>● <b>モードが M</b> のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、フル発光 (1/1) から 1/512 発光まで、1/3 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。</li> <li>● <b>モードが Multi</b> のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、1/4 発光から 1/512 発光まで 1/3 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。</li> </ul>
③ TTL モード	<p>TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>罫 (フラッシュ発光 AUTO)</b> : 被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。</li> <li>● <b>犂 (スタンダード)</b> : 一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。</li> <li>● <b>罫 (スローシンクロ)</b> : 夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。</li> </ul>

項目	設定 / 説明
④同調モード	<p>フラッシュが発光するタイミングを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  (先幕) : シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。</li> <li>●  (後幕) : シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。</li> </ul>
⑤ズーム設定	<p>照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。カメラで設定変更が可能なフラッシュをご使用の場合は、照射角ズームを設定できます。<b>AUTO</b> の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。</p>
⑥配光設定 (配光特性)	<p>本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光(照射角)特性を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  (光量優先) : フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。</li> <li>●  (スタンダード) : 撮影画角に対して最適な照射角にします。</li> <li>●  (配光優先) : 照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。</li> </ul>
⑦LEDライト 設定	<p>本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、フラッシュ内蔵のLEDライトの用途を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  (キャッチライト) : キャッチライトのみ使用します。</li> <li>● <b>AF</b> (AF 補助光) : AF 補助光のみ使用します。</li> <li>●  (AF 補助光+キャッチライト) : AF 補助光とキャッチライトの両方を使用します。</li> <li>● <b>OFF</b> : どちらも使用しません。</li> </ul>
⑦TIMES* (発光回数)	<p>モードが <b>Multi</b> のときに、1回の撮影における発光回数を設定します。</p>
⑧Hz* (発光周波数)	<p>モードが <b>Multi</b> のときに、発光周波数を設定します。</p>

\* フラッシュの能力を超えた設定を行った場合は、フラッシュ側で設定が調整される場合があります。

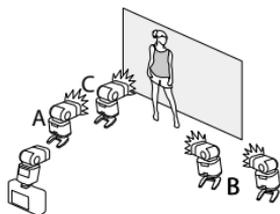
## コマンダー（光通信）

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュを接続している場合に表示されます。



富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムでは、コマンダーフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルをCH1～CH4から設定することができます。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分ける際に便利です。

また、システムを構成するフラッシュをA、B、Cの3つのグループに分けて、グループごとに発光モード、発光量を設定できます。



項目	設定 / 説明
① A グループ モード ② B グループ モード ③ C グループ モード (発光モード)	<p>それぞれのグループの発光モードを設定します。A、Bグループは <b>TTL/TTL%/M/Multi/OFF</b> から選択できます。Cグループは <b>TTL/M/Multi/OFF</b> から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>TTL</b> : <b>TTL</b> を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。</li> <li>• <b>TTL%</b> : A または B グループで <b>TTL%</b> を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。</li> <li>• <b>M</b> : <b>M</b> を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。</li> <li>• <b>Multi</b> : A、B または C グループを <b>Multi</b> に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。</li> <li>• <b>OFF</b> : <b>OFF</b> を設定したグループのフラッシュは発光しません。</li> </ul>
④ A グループ 調光補正 / 発光量 ⑤ B グループ 調光補正 / 発光量 ⑥ C グループ 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<p>グループごとに設定されるモードに応じて、調光補正や発光強度が設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• モードが <b>TTL</b> に設定されているときは調光補正を設定できます。</li> <li>• モードが <b>M/Multi</b> に設定されているときは発光強度を設定できます。</li> <li>• モードが <b>TTL%</b> に設定されているときは光量比と調光補正が設定できます。</li> </ul> <p>補正量、発光強度の設定がフラッシュの調整能力を超える場合には、十分に調整できない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。</p>

項目	設定 / 説明
⑦ TTL モード	TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。 <ul style="list-style-type: none"> <li> <b>☑ (フラッシュ発光 AUTO)</b> : 被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。                     </li> <li> <b>☑ (スタンダード)</b> : 一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。                     </li> <li> <b>☑ (スローシンクロ)</b> : 夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。                     </li> </ul>
⑧ 同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> <li> <b>FRONT (先幕)</b> : シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。                     </li> <li> <b>REAR (後幕)</b> : シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。                     </li> </ul>
⑨ ズーム設定	照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。また、ご使用のフラッシュによっては、カメラで照射角ズームを設定できます。 <b>AUTO</b> の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。

項目	設定 / 説明
⑩ 配光設定 (配光特性)	<p>本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光（照射角）特性を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☞ (光量優先)：フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。</li> <li>☞ (スタンダード)：撮影画角に対して最適な照射角にします。</li> <li>☞ (配光優先)：照射角を若干広めに設定して撮影画面全体の配光の均一性を高めます。</li> </ul>
⑪ コマンダー設定 (コマンダー発光設定)	<p>モードが <b>TTL</b>、<b>TTL%</b>、<b>M</b> のときに、富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Gr A</b>：A グループに設定します。</li> <li>• <b>Gr B</b>：B グループに設定します。</li> <li>• <b>Gr C</b>：C グループに設定します。</li> <li>• <b>OFF</b>：撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。</li> </ul>
⑪ TIMES (発光回数)	<p>モードが <b>Multi</b> のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。</p>
⑫ CH 設定	<p>コマンダーフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。</p>
⑫ Hz (発光周波数)	<p>モードが <b>Multi</b> のときに、発光周波数を設定します。</p>



# 12

資料

## カメラで使えるアクセサリ

このカメラでは、以下の富士フイルム製アクセサリを使用できます。最新情報やその他のアクセサリについては「対応情報」<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/>をご覧ください。

---

**充電式バッテリー NP-W126S**：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。

---

**バッテリーチャージャー BC-W126S**：充電式バッテリー NP-W126Sを充電します。充電時間は約150分（+20℃において）です（AC100V～240V、50/60Hz対応）。

---

**リモートリリース RR-100**：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください（φ 2.5mm 端子）。

---

**ステレオマイク MIC-ST1**：動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。

---

---

**クリップオンフラッシュ EF-X500**：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 50 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光や、富士フィルム光通信多灯システムのコマンダーフラッシュ、リモートフラッシュとしても使用できます。別売外部電源 EF-BP1 にも対応しています。

---

**バッテリーパック EF-BP1**：EF-X500 用の外部バッテリーパックです。単 3 電池 8 本を搭載可能です。

---

**クリップオンフラッシュ EF-60**：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 60 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光や、別売ワイヤレスコマンダー EF-W1 をコマンダーとしたリモートフラッシュとしても使用できます。

---

**ワイヤレスコマンダー EF-W1**：NAS\* 無線通信方式に対応したフラッシュ用ワイヤレスコマンダーです。別売クリップオンフラッシュ EF-60 やニッシンジャパン株式会社の NAS 対応フラッシュと合わせて使用できます。  
\*NAS はニッシンジャパン株式会社の登録商標です。

---

**クリップオンフラッシュ EF-42**：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 42 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

---

**クリップオンフラッシュ EF-X20**：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

---

**クリップオンフラッシュ EF-20**：TTL 自動調光機能のみに対応した、最大ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

---

**三脚グリップ TG-BT1**：Bluetooth に対応し、グリップを握ったまま、動画・静止画の撮影ができる三脚グリップです。

---

**レザーケース LC-X100V**：本革製ケースです。カメラに装着したままの撮影や、カードやバッテリーの出し入れが可能です。同革素材のショルダーストラップを同梱しています。

---

---

**グリップベルト GB-001**：本体に装着することでホールド感を高めます。

**テレコンバージョンレンズ TCL-X100 II**：元のレンズの焦点距離よりも望遠側で撮影するためのレンズです。

**ワイドコンバージョンレンズ WCL-X100 II**：元のレンズの焦点距離よりも広角側で撮影するためのレンズです。

**アダプターリング AR-X100**：アルミニウム製のアダプターリングです。専用レンズフード（LH-X100）のほか、市販のフィルター（φ 49mm）を装着する時に使用します。

**レンズフード LH-X100**：アルミニウム製のレンズフードです。同素材のアダプターリング（AR-X100）を同梱しています。

※ 専用アダプターリング AR-X100 が必要です。

**プロテクトフィルター PRF-49/PRF-49S**：X100 シリーズ用のプロテクトフィルターです。

※ 専用アダプターリング AR-X100 が必要です。

**instax SHARE プリンター SP-1/SP-2/SP-3**：撮影した画像を無線 LAN で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

## カメラで使えるソフトウェア・サービス

このカメラでは、以下のソフトウェアやサービスを使用できます。最新情報については、<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/> をご覧ください。

### スマートフォン用アプリケーション

カメラとスマートフォンを無線で通信できるスマートフォンアプリケーションです。

<https://fujifilm-dsc.com/>

### RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPix

RAW 画像をパーソナルコンピュータ上で現像できるパーソナルコンピュータ用アプリケーションです。富士フィルムのウェブサイトから無償で入手可能です。

<https://fujifilm-x.com/support/download/software/raw-file-converter-ex-powered-by-silkypix/>



- 本ソフトウェアは、株式会社市川ソフトラボラトリーが提供するソフトウェアです。
- 対応時期については以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/support/compatibility/software/raw-file-converter-ex-powered-by-silkypix/>

## FUJIFILM RAW Converter

RAW 画像をパーソナルコンピュータ上で現像できるパーソナルコンピュータ用アプリケーションです。Capture One 社から無償で入手可能です。

<https://www.captureone.com/ja/leaflet-fujifilm#rawconverter>

 対応時期については上記のウェブサイトをご覧ください。

## Capture One

Capture One 社のテザー撮影、RAW 現像に対応したワークフローソフトウェアです。

<https://www.captureone.com/ja/leaflet-fujifilm>

 このカメラはテザー撮影の機能は使用できません。

 対応時期については上記のウェブサイトをご覧ください。

## FUJIFILM X Acquire

カメラの設定の保存、読込ができます。カメラの設定全体を瞬時に切り替えたり、複数の同一機種カメラ間で設定を共有したりするときに便利です。

<https://fujifilm-x.com/products/software/x-acquire/>

 このカメラはテザー撮影の機能は使用できません。

## FUJIFILM X RAW STUDIO

パーソナルコンピューターとデジタルカメラを USB ケーブルで接続して、パーソナルコンピューターに代わり、デジタルカメラに搭載している独自の画像処理エンジンを使用して演算することで、高速かつ高品質な RAW 現像を実現します。

<https://fujifilm-x.com/products/software/x-raw-studio/>

## Frame.io Camera to Cloud

ネットワークを通してカメラから Frame.io のプラットフォームへ静止画や動画を直接転送できます。

<https://frame.io/>

# お取り扱いにご注意ください

## ご使用前に必ずお読みください

### 安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### 警告

**異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや USB ケーブルを外す。**

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。



- お買い上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

**カメラ内部や接続コードに水や異物を落とさない。**

カメラ内部や接続コードを水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らした場合は、使用しないでください。



**水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや USB ケーブルを外す。**  
そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- お買い上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。



**風呂、シャワー室では使用しない。**

火災・感電の原因になります。



**分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。**

火災・感電の原因になります。



**警告**

**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。**

感電したり、破損部でケガをする原因になります。



接触禁止

- 感電やケガに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

**接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。**



コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

- コードに傷がついた場合は、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。
- 一度端子部分が曲ってしまったコネクタは使用しないでください。



**不安定な場所に置かない。**

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。



**移動中の使用はしない。**

自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。転倒、交通事故などの原因になります。歩き撮りをする場合には、周囲の状況に注意してください。



**雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。**

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



**指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。**

電池は極性（ $\oplus$   $\ominus$ ）表示どおりに入れてください。

**電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。**

電池・バッテリーを落としたり、たたいたり、投げたり、強い衝撃や変形を与えない。

電池・バッテリーの液漏れ、変形、変色、その他異常に気が付いたときは使用しない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。



**電池・バッテリーをショートさせない。**

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの発熱・発火・破裂・液漏れにより、火災・ケガ・やけどの原因になります。



**指定外の電池・バッテリーを使用しない。**

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。



電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

**⚠ 警告**

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。

- ❌ 視力障害になる恐れがあります。特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。

カメラの温度が高い部分に長時間触れない。

電源を入れたまま長時間、身体と同じ個所に直接触れて使用しない。

- ❌ 低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合は、三脚などをお使いください。

- 長時間ご使用になる場合
- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合
- 自動電源 OFF 温度を高く設定してご使用される場合

- ❗ バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。

- ❗ 可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。

- ❗ 電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼る。

他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードやホットシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。

- ❗ メモリーカードやホットシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

小さいお子様の手の届くところに置かない。

- ❗ 誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、フラッシュの誤発光による目の障害やカメラ動作などによるケガの原因になることがあります。

- ❗ 飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。

本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

## ⚠ 注意

-  油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。  
火災・感電の原因になることがあります。
-  異常な高温になる場所に置かない。  
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。  
火災の原因になることがあります。
-  本製品の上に重いものを置かない。  
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、ケガの原因になることがあります。
-  本製品や充電器を布や布団でおおったりしない。  
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
-  電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。  
火災・感電の原因になることがあります。
-  お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーを外し、電源プラグを抜く。  
火災・感電の原因になることがあります。
-  電源プラグを抜く 充電終了後は充電器をコンセントから抜く。  
コンセントにつけたままにしておくとう火災の原因になることがあります。
-  メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。  
飛び出したカードが当たり、ケガの原因になることがあります。
-  撮影直後にメモリーカードに触れない。  
メモリーカードが高温になり、やけどの原因となることがあります。  
温度が下がってからメモリーカードを取り出してください。
-  定期的な内部点検・清掃を依頼する。  
本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。  
・ 2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店または弊社修理サービスセンターにご依頼ください。
-  本製品を廃棄する場合の処理方法については最寄りの自治体の手順に従うこと。

### 電源についてのご注意

※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

### 充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

- ※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

#### ■ バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロなどをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

#### ■ 充電について

- 別売のバッテリーチャージャー BC-W126S を使用して充電できます。
  - 充電は周囲の温度が +5℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
  - +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は +10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

#### ■ バッテリーの寿命について

- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

## ■ 保存上のご注意

- 長期保管の場合は、電池容量の $\frac{2}{3}$ から半分程度の電池残量で常温保管をお勧めいたします。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
  - 周囲の温度が $+15^{\circ}\text{C}\sim+25^{\circ}\text{C}$ くらいの乾燥したところをおすすめします。
  - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

❗ 危険ですので、次のことにご注意ください

 バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。

 火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。

 分解したり、改造したりしないでください。

 バッテリーは、過度な低気圧中に放置しないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。

## ■ 電池の廃棄について

- 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。
- 電池は、機械的に押し潰し、又は切断しないでください。

## ■ 小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどを貼るか、個別にポリ袋に入れて最寄りの排出協力店・排出協力自治体へお持ちください。詳細は、「一般社団法人JBRC」のホームページをご参照ください。

<https://www.jbrc.com/>

## カメラをお使いになる前のご注意

### ■ 撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

### ■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意願います。

### ■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

### ■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

## ■ 商標について

- デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- デジタルマイクロプリズム、Digital Micro Prism は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- Apple、iPhone、iPad、Mac、Mac OS X、OS X、macOS、Lightning、Apple ProRes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社とのライセンスにもとづき使用されています。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Android は、Google LLC の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Camera to Cloud、Frame.io、Lightroom ならびに Photoshop は Adobe の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴおよび、Wi-Fi Protected Setup® は、Wi-Fi Alliance® の商標または登録商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士フイルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。
- CFexpress は CFA (CompactFlash Association) の商標です。
- HDMI ロゴは HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- USB Type-C® および USB-C® は、USB Implementers Forum の登録商標です。
- AirGlu™ は Atomos の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

## ■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

## カメラの使用上のご注意

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- 太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

### ■ 避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

### ■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

### ■ 結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

### ■ 長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

### ■ 海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

### メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

#### ■ メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

#### ■ メモリーカードをパーソナルコンピューターで使用する場合のご注意

- パーソナルコンピューターで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パーソナルコンピューターでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

### レンズとアクセサリについてのご注意

- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが4.5mm以下の製品をご使用ください。
- 他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねます。

## 無線 LAN/Bluetooth 機器使用上の注意事項

**重要！** 本製品に搭載されている無線 LAN/Bluetooth 機能をご使用になる前に必ずお読みください。

**!** 本製品は、米国輸出規則（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

### ■ 本製品は無線 LAN/Bluetooth 機器としてお使いください。

無線 LAN/Bluetooth 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN/Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

### ■ 無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています。

本製品の無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を遵守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

### ■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

### ■ セキュリティについて

無線 LAN/Bluetooth 機能は電波を使って通信するため、有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

- 本製品に使用権限のない（知らない）ネットワークが表示されても接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。
- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品を電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続しないでください。

**■ 本製品は「電波法」に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示または、画面で確認することができます。以下の行為は法律で罰せられることがあります。**

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品上の証明ラベルをはがすこと

**■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。**

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
  - (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
  - (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社デジタルカメラサポートセンターへお問い合わせください。

- 2.4GHz 帯使用時の注意事項（日本国内向け）

**2.4DS/OF4**

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40m であることを意味しています。

**2.4XX8**

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用するその他の変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 80m であることを意味しています。

- 5GHz 帯使用時の注意事項（日本国内向け）

**IEEE802.11b/g/n**  
**IEEE802.11a/n/ac**  
**W52 W53 W56**

5GHz の周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz 帯（W52/W53/W56）の 3 種類の帯域を使用することができます。

5.2GHz/5.3GHz 帯（W52/W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

当該無線設備の送信は 5.2GHz 帯高出力データ通信システムの基地局、または陸上移動中継局と通信する場合を除き屋内においてのみ可能です。

■ 本製品を飛行機の中で使用しないでください。

本製品の飛行機内での使用については航空会社の指示に従ってください。

本製品は電源オフの状態でも電波を発信することが可能です。搭乗前にネットワーク/USB 設定メニューの機内モードを ON にすると電波の発信を遮断できます。

## レンズをご使用前に必ずお読みください

### 安全上のご注意

本文は、レンズまたはレンズを取り付けたカメラを安全に取り扱うための注意内容です。

- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### 警告

 **水をかけたり、水にぬらしたりしない。**

風呂、シャワー室での使用禁止 火災・感電の原因になります。

 **分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。**

分解禁止 火災・感電の原因になります。

また、異常動作を起こしてケガの原因になります。

**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。**

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

 接触禁止

● 感電やケガに注意して速やかにカメラの電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

 **不安定な場所に置かない。**

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

 **レンズまたはカメラで直接太陽を見ない。**

失明や視力障害になる恐れがあります。

**△ 注意**

-  **油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。**  
火災・感電の原因になることがあります。
-  **異常な高温になる場所に置かない。**  
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。  
火災の原因になることがあります。
-  **小さいお子様の手の届くところに置かない。**  
ケガの原因になることがあります。
-  **濡れた手で触らない。**  
感電の原因になることがあります。
-  **逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。**  
太陽光がカメラ内部に直接入ることで、カメラ内で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。
-  **使用しない時は、レンズにキャップをつけ、太陽光のあたらない場所に保管する。**  
太陽光が内部で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。
-  **三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。**  
転倒したり、ぶついたりしてケガの原因になることがあります。

## お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のよう  
にお手入れすることをおすすめします。

- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげたりするなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはブロワーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- センサーのクリーニングは **基本設定 > センサークリーニング**で行えます。
- カメラを保管するときは、ボディキャップを取り付けてください。

## ファームウェアの更新

ファームウェアがアップデートされ、機能が追加／変更されたときはファームウェアを更新してください。



最新のファームウェアに更新した場合、カメラの機能は本書に記載されている内容と一部異なる場合があります。

### ファームウェアのダウンロード

あらかじめ最新のファームウェアをダウンロードして、メモリーカードに保存してください。ファームウェアのダウンロード方法などは下記ホームページをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>

### ファームウェアの更新方法

ファームウェアは次の方法で更新できます。

#### カメラ起動時に更新する

新しいファームウェアが入ったメモリーカードをカメラに入れ、**DISP/BACK** ボタンを押しながらカメラの電源をオンにすると、ファームウェアを更新できます。更新が終わったらカメラの電源を一度オフにしてください。

#### セットアップメニューから更新する

新しいファームウェアが入ったメモリーカードをカメラに入れ、**基本設定** > **ファームウェアアップデート**を選んでファームウェアを更新できます。

## スマートフォンアプリケーションを使用して更新する（手動更新）

スマートフォンアプリケーションを使用している場合は、スマートフォンアプリケーションからファームウェアを更新できます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

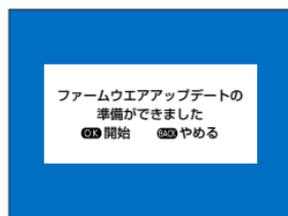
<https://fujifilm-dsc.com/>

## スマートフォンアプリケーションを使用して更新する（自動更新）

FUJIFILM XApp Ver.2.0.0 以降を使用している場合は最新のファームウェアが自動的にスマートフォンからカメラにダウンロードされます。

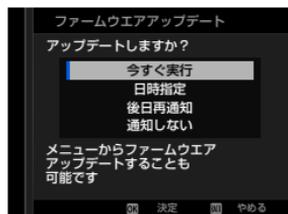
### 1 カメラ使用時、更新の準備ができている場合は確認画面が表示されます。

開始を選びます。



やめるを選ぶと、翌日以降カメラの電源をオンにしたときに確認画面が再度表示されます。

### 2 選択画面が表示されたら今すぐ実行を選びます。



- 日時指定を選ぶと、指定した日時にカメラが自動的に起動して更新を行います。
- 後日再通知を選ぶと、3 日後に確認画面が再度表示されます。
- 通知しないを選ぶと、確認画面は表示されません。

### 3 実行を選びます。

### 4 画面の指示にしたがってファームウェアを更新します。

### 5 更新完了の画面が表示されたらカメラの電源をオフにします。

- ❗ ファームウェアの更新作業には十分に充電したバッテリーを使用し、更新中は電源を切ったりカメラを操作したりしないでください。ファームウェアの更新中にカメラの電源が切れると、カメラが正常に動作しなくなるおそれがあります。
- ファームウェアの更新中は EVF は表示されません。液晶モニターの表示をご覧ください。
- ファームウェアの更新にかかる時間は、ファームウェアの容量によって変わります。最大で約 10 分かかる場合があります。
- ファームウェア更新後は、更新前のバージョンに戻すことはできません。
- ファームウェアの更新中にエラーメッセージが表示された場合は、下記をご覧ください。

[https://fujifilm-dsc.com/en-int/manual/error\\_message\\_recovery/](https://fujifilm-dsc.com/en-int/manual/error_message_recovery/)

#### ファームウェアバージョンの確認方法

**DISP/BACK** ボタンを押しながらカメラの電源をオンにすると、バージョン情報が表示されます。

- ❗ バージョンの確認は、メモリーカードがカメラ内にある状態でないと確認ができませんので、ご注意ください。
- 📦 別売アクセサリ（クリップオンフラッシュなど）のファームウェアバージョンを確認するときやファームウェアを更新するときは、カメラボディに別売アクセサリを装着してから確認や更新を行ってください。

## トラブルシューティング / FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

### 電源とバッテリー

症状	ここをチェック！	処置	頁
ON/OFF（電源）レバーを ON に合わせても電源がオンになりません。	ご購入後、バッテリーを充電しましたか？	ご購入時にはバッテリーは充電されていません。バッテリーを充電してください。	42
	バッテリーが消耗していませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	42
	バッテリーを正しい向きで入れていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	38
	バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか？	バッテリーカバーをしっかりと閉めてください。	
ON/OFF（電源）レバーをオフにしたあとに素早くオンにしても液晶モニターが点灯しません。	—	液晶モニターが点灯するまで、シャッターボタンを半押しし続けてください。	—
バッテリーの消耗が早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていますか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	—
	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
	プリ AF を ON に設定していませんか？	プリ AF を ON で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。	148
	同じバッテリーを長時間使っていませんか？	バッテリーの寿命の可能性があります。新しいバッテリーと交換してください。	—

バッテリー、電源について

	症状	ここをチェック！	処置	目録
バッテリー、電源について	使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	42
	カメラの電源が切れません。	カメラが処理中の場合があります。	インジケータランプの点灯状況を確認してください。	11
充電について	充電が開始されません。 (USB 充電時)	カメラにバッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	38
		バッテリーは正しい向きでカメラに入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	
		USB ケーブルはパーソナルコンピューターに接続されていますか？	パーソナルコンピューターと正しく USB ケーブルで接続してください。	42
		パーソナルコンピューターの電源がオフまたは休止状態になっていませんか？	パーソナルコンピューターの電源がオンになっていることを確認し休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USB ケーブルを接続し直してください。	
	充電が開始されません。 (充電器使用時)	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	—
		バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	—
		プラグは正しくコンセントに接続されていますか？	充電器のプラグを正しくコンセントに接続してください。	—
		プラグアダプターは正しく充電器に装着されていますか？	プラグアダプターを正しく充電器に装着してください。	—
充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていませんか？	低温時は、充電時間が長くなる場合があります。	—	

症状		ここをチェック！	処置	📖
充電について	充電中にインジケータランプが点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	38
		バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	344 402
給電について	給電状態アイコンが表示されません。	USB 給電 / 通信設定が給電 OFF / 通信 ON になっていませんか？	USB 給電 / 通信設定を自動または給電 ON / 通信 OFF にしてください。	—

## メニューなどの設定時

症状		ここをチェック！	処置	📖
メニューが日本語以外で表示されています。		🗣️ 言語/LANG. が日本語以外の言語になっていませんか？	言語設定を日本語にしてください。	49

## 撮影時

	症状	ここをチェック！	処置	頁
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	38 220
		メモリーカードはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	270
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	38
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	42
		電源がオフになっていますか？	電源をオンにしてください。	45
	シャッターボタンを半押しすると、EVF や LCD にノイズが見えます。	被写体が暗かったり、絞りを絞り込んだりしていませんか？	設定した絞りで撮影前の構図を確認するために明るく表示しているのに、ノイズが目立つ場合があります。撮影画像には影響ありません。	—
ポイントについて	ピントを合わせられません。	オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか？	AE/AF ロック撮影してください。	97
		被写体に対し、フォーカスエリアを小さくしていませんか？	フォーカスエリアを1～2段階大きくしてから撮影してください。	84

	症状	ここをチェック！	処置	📖
パノラマ撮影について	シャッターボタンを押してもパノラマ撮影できません。	インジケータースランプが橙色に点灯していませんか？	インジケータースランプが消灯するまでお待ちください。	11
顔検出について	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	149
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
		<b>☑️ 顔検出 / 瞳 AF 設定が OFF</b> になっていませんか？	<b>☑️ 顔検出 / 瞳 AF 設定を顔検出 ON</b> にしてください。	
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	—
		人物の顔が暗くないですか？	適切な明るさで撮影してください。	—
被写体検出について	被写体を検出できません。	被写体の一部が隠れていませんか？	なるべく被写体の全体が見えるようにしてください。	151
		撮影したい被写体が構図内で小さすぎませんか？	被写体が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		<b>被写体検出 AF 設定が OFF</b> になっていませんか？	<b>被写体検出 AF 設定を被写体検出 ON</b> にしてください。	
		被写体が暗くありませんか？	適切な明るさで撮影してください。	—

症状	ここをチェック！	処置	目録
フラッシュが発光しません。	フラッシュが使用できない設定になっていませんか？	フラッシュが使用できる設定に変更してください。	173
		<b>シャッター方式</b> を電子シャッター以外に設定してください。	168
	バッテリー残量が少なくなっていないですか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	42
	ドライブモードが連写やブラケットングになっていませんか？	ドライブモードを連写やブラケットング以外に設定してください。	9
使いたいフラッシュ設定を選べません。	<b>電子音 &amp; フラッシュ</b> が <b>OFF</b> に設定されていませんか？	<b>電子音 &amp; フラッシュ</b> を <b>ON</b> にしてください。	275
フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	—
	フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	—
	高速シャッタースピードで撮影していませんか？	シャッタースピードが同調速度より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなる場合があります。シャッタースピードを同調速度以下に設定してください。	70 75 389

フラッシュについて

症状	ここをチェック！	処置	📖
画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れが付いていませんか？	レンズを清掃してください。	—
	レンズに指などがかかっていますか？	レンズに指がかからないようにしてください。	53
	撮影時にAF フレーム（赤点灯）と <b>!AF</b> が表示されていませんか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	54
撮影した画像の異常について	画像に点状のノイズがあります。	撮像素子の特性* によるもので、故障ではありません。 <b>ピクセルマッピング</b> を実行してください。	134
		* 撮像素子が X 線や宇宙線などの影響を受けると、撮影画像に「輝点（白、赤、青など）」が生じる場合があります。 <b>ピクセルマッピング</b> を行うと輝点が軽減されます。	
画像にノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていませんか？	しばらく電源オフにしたあとでご利用ください。	45
	温度警告が表示されていませんか？		384

撮影した画像の異常について

## 再生時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	リサイズした画像ではありませんか？	リサイズした画像は、再生ズームができません。	—
		他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
動画再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。	280
		動画撮影時にマイクを手などでふさいでいませんか？	動画撮影時はマイクをふさがなくてください。	—
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがなくてください。	—
		<b>電子音 &amp; フラッシュが OFF</b> に設定されていませんか？	<b>電子音 &amp; フラッシュを ON</b> にしてください。	275
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていますか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください。	224
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマナンバーについて	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリーカバーを開けませんでしたか？	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	306

## 接続時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
テレビとの接続について	カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続していませんか？	カメラとテレビを接続した場合、再生モードでは、カメラの画面には何も表示されません。	56
	カメラの画面にもテレビの画面にも何も表示されません。	<b>VIEW MODE 設定の再生時</b> の設定が  <b>アイセンサー</b> になっていませんか？	ファインダーに目を近づけてください。 <b>VIEW MODE 設定</b> を他の設定に変更してください。	20
	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？ テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？ テレビの音量が小さくなっていませんか？	確認して正しく接続し直してください。 テレビの入力を「HDMI」にしてください。 テレビの音量を調節してください。	56
パーソナルコンピューターとの接続について	パーソナルコンピューターがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	247
	「FUJIFILM X RAW STUDIO」、 「FUJIFILM X Aquire」がカメラを正常に認識しません。	カメラの <b>接続モード</b> を確認してください。	カメラを USB ケーブルで接続するときに、あらかじめ <b>USB RAW 現像 / 設定保存読込</b> に設定してください。	267

	症状	ここをチェック！	処置	目録
スマートフォンなどの接続について	iPhone、iPad と接続できません。	USB 給電 / 通信設定が給電 ON/ 通信 OFF になっていませんか？	給電機能がない機器や Lightning 端子を持つ機器と接続するときは、ネットワーク / USB 設定メニューの <b>USB 給電 / 通信設定</b> をあらかじめ <b>給電 OFF/ 通信 ON</b> に設定してください。	246
	スマートフォンと接続できません。	接続の方法を確認してください。	スマートフォンに搭載されている端子の形状によって、接続方法が異なります。	244

## 無線 LAN 通信

無線 LAN 機能のトラブルシューティングについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://digitalcamera-support-ja.fujifilm.com/>

	症状	ここをチェック！	処置	目録
	スマートフォンと接続できません。	スマートフォンとの距離が離れていませんか？	スマートフォンを近づけてご使用ください。	240
	スマートフォンとの接続 / 送信に時間がかかります。 画像送信が途中で失敗 / 切断します。	電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？	それらの機器から離れてご使用ください。	

症状	ここをチェック！	処置	📖
スマートフォンに送信できません。	相手先のスマートフォンがすでに別のカメラと接続していませんか？	スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は1台のみです。 別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください。	240
	スマートフォンが近距離に複数台ありませんか？	操作をはじめからやり直してください。 周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。	
	他のカメラで撮影した画像が選択されていませんか？	このカメラで撮影した画像を送信してください。 他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。	
	動画が選択されていませんか？ (画像を取り込み機能の使用時)	動画の送信には時間がかかる場合があります。 またスマートフォンで再生できない動画は送信できない場合があります。	
スマートフォンで受信した画像が開けません。	<b>Bluetooth/スマートフォン設定のスマートフォン送信時圧縮をOFF</b> に設定していませんか？	スマートフォン送信時圧縮をONにしてください。 また、スマートフォンによっては画像が大きすぎて開けない場合があります。	263

## その他

	症状	ここをチェック！	処置	📖
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。	38
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電済みのバッテリーを使ってください。	42
		無線 LAN に接続していませんか？	無線 LAN を解除してください。	—
		ボタンロックをしていませんか？	<b>MENU/OK</b> ボタンを長押しして、ロックを解除してください。	17 19
	カメラが正常に作動しなくなりました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	38 402
音について	音が出ません。	<b>音設定</b> で消音に設定していませんか？	各設定の音量を調整してください。	277
		<b>電子音 &amp; フラッシュ</b> が <b>OFF</b> に設定されていませんか？	<b>電子音 &amp; フラッシュ</b> を <b>ON</b> にしてください。	275
Q (クイックメニュー)	<b>Q</b> ボタンを押してもクイックメニューが表示されません。	TTL-LOCK 状態になっていませんか？	TTL-LOCK を解除してください。	174

## 警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	
<b>!AF</b> (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。</li> <li>適切な明るさ(露出)ではありませんが撮影できます。</li> </ul>
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源を入れ直してください。</li> <li>レンズとカメラの間に異物がないか確認してください。</li> <li>電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。</li> </ul>
フォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードがパーソナルコンピューターでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面(金色の部分)が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処置
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。 また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。	弊社動作確認済みの
	メモリーカードが壊れています。	メモリーカードを挿入してください。
プロテクトされたカードです	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください。
動画記録できません	パーソナルコンピューターでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
 空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。

警告表示	警告内容	処置
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常 またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源のオン/オフを繰り返してください。 それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	静止画または動画を記録中にメモリーカードを取り出しました。	記録中はメモリーカードを取り出さないでください。
	書き込み速度の遅いメモリーカードを使用するため記録できません。	動画撮影時は、設定に適した速度のカードをご使用ください。
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、 <b>コマ NO.</b> を <b>新規</b> に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。 <b>コマ NO.</b> を <b>連番</b> に戻すと、引き続き撮影できます。

警告表示	警告内容	処置
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしてしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしてしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
プロテクトされています	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロテクトされているファイルを消しようとしてしました。</li> <li>プロテクトされているファイルを回転しようとしてしました。</li> </ul>	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしてしました。	トリミングできない画像です。
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません 🔒 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしてしました。	プリント予約できません。
回転できません 🔄 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしてしました。	回転できません。

警告表示	警告内容	処置
 実行できません  実行できません	実行できない操作をしようとしました。	他のカメラで撮影した画像や動画にはできない操作があります。
 (黄) 温度が上昇しています	自動電源 OFF 温度が標準のときにカメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、自動的に電源がオフになります。	電源をオフにして、しばらくたってからご使用ください。
 (黄) 温度上限に近づいています 持ち続けしないでください	自動電源 OFF 温度が高のときにカメラの温度が上限に近づいています。低温やけどの恐れがありますので、カメラを持ち続けず、三脚などをお使いください。そのまま使い続けると、自動的に電源がオフになります。	電源をオフにして、しばらくたってからご使用ください。カメラの温度が上昇すると、画像にノイズが多くなる場合があります。
 (赤) 温度上限に到達しました シャットダウンします	温度が上限に達したため自動的に電源がオフになります。	

## 標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数および撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数および撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード		記録媒体	SDメモリーカード	
			32GB	
画質			FINE	NORMAL
静止画	3:2		1330	1990
	RAW (非圧縮)		360	
	RAW (ロスレス圧縮)		680	
動画*	4K 2160		77分	
	FHD 1080		77分	

\*ビットレートが工場出荷時の設定の場合。



- 動画撮影をするときは、設定によって使用できるメモリーカードが異なります(☞ 64)。
- 32GB以下のメモリーカード使用時は、ビットレート設定に応じて動画ファイルが分割されることがあります。その他のメモリーカード使用時でも、1時間以上の長時間動画を連続して撮影した場合に動画ファイルが分割されて記録されることがあります。ファイル分割時も動画撮影は一時中断することなく続きます。

## 主な仕様

システム	
製品名	FUJIFILM X100VI
製品型番	FF230003
有効画素数	約 4020 万画素
撮像素子	23.5mm × 15.7mm (APS-C サイズ) X-Trans CMOS 5 HR、原色フィルター採用
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード* (弊社推奨品)
メモリーカードスロット	SD カード* (UHS-I 対応)
記録方式	<ul style="list-style-type: none"><li>• 静止画：DCF2.0 準拠</li><li>• 圧縮：Exif Ver.2.32 JPEG 準拠 / DPOF 対応、HEIF 対応 (4:2:2 10bit)</li><li>• 非圧縮 / ロスレス圧縮 / 非可逆圧縮：RAW (RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要)、RAW+JPEG 記録あり、TIFF (RGB)</li><li>• 動画：HEVC/H.265、H.264 規格準拠</li><li>• 音声 (ボイスメモを含む)：<ul style="list-style-type: none"><li>- LPCM (2ch : 24bit 48kHz サンプルング)</li><li>- AAC (MP4 記録時のみ)</li></ul></li></ul>

システム																									
記録画素数	<table border="0"> <tr> <td><b>L</b> 3:2 (7728 × 5152)</td> <td><b>L</b> 4:3 (6864 × 5152)</td> </tr> <tr> <td><b>L</b> 16:9 (7728 × 4344)</td> <td><b>L</b> 5:4 (6432 × 5152)</td> </tr> <tr> <td><b>L</b> 1:1 (5152 × 5152)</td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>M</b> 3:2 (5472 × 3648)</td> <td><b>M</b> 4:3 (4864 × 3648)</td> </tr> <tr> <td><b>M</b> 16:9 (5472 × 3080)</td> <td><b>M</b> 5:4 (4560 × 3648)</td> </tr> <tr> <td><b>M</b> 1:1 (3648 × 3648)</td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>S</b> 3:2 (3888 × 2592)</td> <td><b>S</b> 4:3 (3456 × 2592)</td> </tr> <tr> <td><b>S</b> 16:9 (3888 × 2184)</td> <td><b>S</b> 5:4 (3264 × 2592)</td> </tr> <tr> <td><b>S</b> 1:1 (2592 × 2592)</td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>RAW</b> (7728 × 5152)</td> <td><b>TIFF</b> (7728 × 5152)</td> </tr> <tr> <td><b>L</b> パノラマ縦 (2160 × 9600)</td> <td><b>L</b> パノラマ横 (9600 × 1440)</td> </tr> <tr> <td><b>M</b> パノラマ縦 (2160 × 6400)</td> <td><b>M</b> パノラマ横 (6400 × 1440)</td> </tr> </table>	<b>L</b> 3:2 (7728 × 5152)	<b>L</b> 4:3 (6864 × 5152)	<b>L</b> 16:9 (7728 × 4344)	<b>L</b> 5:4 (6432 × 5152)	<b>L</b> 1:1 (5152 × 5152)		<b>M</b> 3:2 (5472 × 3648)	<b>M</b> 4:3 (4864 × 3648)	<b>M</b> 16:9 (5472 × 3080)	<b>M</b> 5:4 (4560 × 3648)	<b>M</b> 1:1 (3648 × 3648)		<b>S</b> 3:2 (3888 × 2592)	<b>S</b> 4:3 (3456 × 2592)	<b>S</b> 16:9 (3888 × 2184)	<b>S</b> 5:4 (3264 × 2592)	<b>S</b> 1:1 (2592 × 2592)		<b>RAW</b> (7728 × 5152)	<b>TIFF</b> (7728 × 5152)	<b>L</b> パノラマ縦 (2160 × 9600)	<b>L</b> パノラマ横 (9600 × 1440)	<b>M</b> パノラマ縦 (2160 × 6400)	<b>M</b> パノラマ横 (6400 × 1440)
<b>L</b> 3:2 (7728 × 5152)	<b>L</b> 4:3 (6864 × 5152)																								
<b>L</b> 16:9 (7728 × 4344)	<b>L</b> 5:4 (6432 × 5152)																								
<b>L</b> 1:1 (5152 × 5152)																									
<b>M</b> 3:2 (5472 × 3648)	<b>M</b> 4:3 (4864 × 3648)																								
<b>M</b> 16:9 (5472 × 3080)	<b>M</b> 5:4 (4560 × 3648)																								
<b>M</b> 1:1 (3648 × 3648)																									
<b>S</b> 3:2 (3888 × 2592)	<b>S</b> 4:3 (3456 × 2592)																								
<b>S</b> 16:9 (3888 × 2184)	<b>S</b> 5:4 (3264 × 2592)																								
<b>S</b> 1:1 (2592 × 2592)																									
<b>RAW</b> (7728 × 5152)	<b>TIFF</b> (7728 × 5152)																								
<b>L</b> パノラマ縦 (2160 × 9600)	<b>L</b> パノラマ横 (9600 × 1440)																								
<b>M</b> パノラマ縦 (2160 × 6400)	<b>M</b> パノラマ横 (6400 × 1440)																								
レンズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>名称：フジノン単焦点レンズ</li> <li>焦点距離：f=23mm (35mm判フィルム換算：約35mm)</li> <li>開放F値：F2.0</li> </ul>																								
撮影感度	<ul style="list-style-type: none"> <li>静止画：ISO 125～12800 (1/3段ステップ)、AUTO1～3 ISO 64、80、100、25600、51200は拡張モード</li> <li>動画：ISO 125～12800 (1/3段ステップ)、AUTO ISO 25600は拡張モード</li> </ul>																								
測光方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>TTL256分割測光</li> <li>マルチ、スポット、アベレージ、中央部重点</li> </ul>																								
露出制御	プログラム (プログラムシフト可能)、シャッター優先、絞り優先、マニュアル																								
露出補正	<ul style="list-style-type: none"> <li>静止画：-5EV～+5EV (1/3段ステップ)</li> <li>動画：-2EV～+2EV (1/3段ステップ)</li> </ul>																								

## システム

### シャッタースピード

- **メカニカルシャッター**
  - P/A モード：30 秒～ $1/4000$  秒
  - タイム：15 分～ $1/4000$  秒
  - バルブ：最長 60 分
- **電子シャッター**
  - P/A モード：30 秒～ $1/180000$  秒
  - タイム：15 分～ $1/180000$  秒
  - バルブ：1 秒固定
- **メカニカル+電子**
  - P/A モード：30 秒～ $1/180000$  秒
  - タイム：15 分～ $1/180000$  秒
  - バルブ：最長 60 分



連写時は設定されるシャッタースピードの範囲が異なる場合があります。

### 連写

連写モード	連写速度 (コマ / 秒 [fps]) JPEG
20fps(1.29X クロップ)*1	20
13fps(1.29X クロップ)*1	13
10fps(1.29X クロップ)*1	10
11 fps*2	11
8.0 fps*3	8.0
6.0 fps	6.0
5.0 fps	5.0
4.0 fps	4.0
3.0 fps	3.0

\*1 電子シャッター時のみ

\*2 電子シャッター時は 13fps になります。

\*3 電子シャッター時は 8.9fps になります。



連写速度と連続記録枚数は、撮影環境やご使用のメモリーカードによって変わります。

システム	
フォーカス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>モード</b>：シングル AF、コンティニュアス AF、マニュアルフォーカス（リング回転式）</li> <li>● <b>AF 方式</b>：インテリジェントハイブリッド AF（TTL コントラスト AF +位相差 AF）</li> <li>● <b>AF フレーム選択</b>：シングルポイント、ゾーン、ワイド/トラッキング、オール</li> </ul>
ホワイトバランス	オート（ホワイト優先、AUTO、雰囲気優先）、カスタム 1～3、色温度（ケルビン値）設定、晴れ、日陰、蛍光灯 1、蛍光灯 2、蛍光灯 3、電球、水中
セルフタイマー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>静止画</b>：OFF、2秒、10秒</li> <li>● <b>動画</b>：OFF、3秒、5秒、10秒</li> </ul>
フラッシュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>方式</b>：オートフラッシュ</li> <li>● <b>撮影可能範囲（感度：1600 時）</b>：約 30 cm～約 7.4 m</li> </ul>
フラッシュ発光モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>モード</b>：TTL（フラッシュ発光 AUTO、スタンダード、スローシンクロ）、マニュアル、コマンダー、OFF</li> <li>● <b>同調モード</b>：先幕、後幕</li> <li>● <b>赤目補正</b>：赤目抑制発光、OFF</li> </ul>
ホットシュー	あり（TTL フラッシュ対応）
シンクロ接点	X 接点
シンクロターミナル	なし
ファインダー（OVF）	電子式ブライトフレームファインダー（逆ガリレオ式）、撮影範囲フレーム視野率約 95%、ファインダー倍率約 0.52 倍
ファインダー（EVF）	<p>0.5 型有機 EL ファインダー、約 369 万ドット、ファインダー倍率 0.66 倍（35mm 判換算 50mm レンズ、無限遠、視度 <math>-1.0\text{m}^{-1}</math> のとき）、対角視野約 32 度（水平視野約 27 度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 視度調節：<math>-4\text{m}^{-1}</math>～<math>+2\text{m}^{-1}</math>（dpt）</li> <li>● アイポイント：約 16.8mm</li> </ul>
液晶モニター（LCD）	3.0 型カラー液晶モニター、約 162 万ドット、チルト式、タッチパネル付き

## システム

### 動画 (ステレオ音声付き)

- 画像サイズ：**6.2K** 16:9、**4.5K** 16:9、**9.0K** 17:9、**4K** 16:9、**4K** 17:9、**FHD** 16:9、**FHD** 17:9
- フレームレート：59.94P、50P、29.97P、25P、24P、23.98P
- 記録 / 出力形式：
  - H.265 (MOV、4:2:2 10bit/4:2:0 10bit、200/100/50Mbps)
  - H.264 (MOV/MP4、4:2:0 8bit、200/100/50Mbps)
  - HDMI 出力対応 (4:2:2 8bit/4:2:2 10bit)

### ハイスピード動画

- 画像サイズ：**FHD** 16:9、**FHD** 17:9
- 撮影フレームレート：240P、200P、120P、100P

## 入出力端子

### マイク入力端子

φ 2.5 mm ステレオミニジャック

### ヘッドホン出力端子

アナログ音声入出力に対応した USB Type-C と φ 3.5mm ステレオミニジャックの変換ケーブル (USB Type-C Audio Adapter Accessory Mode 対応のもの) で USB 端子から変換

### リモートリリース端子

φ 2.5 mm 3 極ミニジャック

### デジタル入出力

USB 端子：USB Type-C® USB 10Gbps

### HDMI 出力

HDMI マイクロ端子 (Type D)

## 電源部、その他

電源 充電式バッテリー NP-W126S (付属)

バッテリー作動可能  
枚数 / 時間の目安

- バッテリー：NP-W126S
- フラッシュ：非装着
- 撮影モード：Pモード

## 静止画撮影枚数

パフォーマンス	LCD	EVF	OVF
ブースト <sup>*1</sup>	約 310 枚	約 270 枚	約 400 枚
ノーマル	約 320 枚	約 310 枚	約 450 枚
エコノミー	約 380 枚	約 360 枚	約 450 枚

## 1回の充電で撮影できる合計動画時間

画質	実撮影電池寿命	連続撮影電池寿命
4K <sup>*2</sup>	約 45 分	約 70 分
FHD <sup>*2</sup>	約 50 分	約 85 分
ハイスピード動画 <sup>*3</sup>	約 55 分	—

\*1 EVF/LCD ブースト設定が EVF 表示フレームレート優先 (100P) の場合

\*2 フレームレート 59.94fps の場合

\*3 フレームレート 120fps の場合

CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。

- **注意**：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数や時間を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなり、時間は短くなります。

## 電源部、その他

本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	128.0mm × 74.8mm × 55.3 (33.2*) mm * 突起部含まず、奥行きは最薄部表記
本体質量	約 471 g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)
撮影時質量	約 521 g (付属バッテリー、メモリーカード含む)
動作環境	<ul style="list-style-type: none"><li>• 温度：0℃～+40℃ (バッテリー充電時：+5℃～+40℃)</li><li>• 湿度：10%～80% (結露しないこと)</li></ul>

## ワイヤレス通信

### 無線 LAN (Wi-Fi)

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>イスラエル、インドネシア</b> ：2412 MHz～2462 MHz (11 ch)</li><li>• <b>アメリカ合衆国、カナダ、ブラジル、中国、インド、韓国、マレーシア</b> ：2412 MHz～2462 MHz (11 ch) ：5180 MHz～5320 MHz (W52、W53) ：5745 MHz～5825 MHz (UNII-3)</li><li>• <b>EU 加盟国、イギリス、日本、オーストラリア、ノルウェー、ニュージーランド、トルコ、香港、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、UAE、ロシア、台湾、サウジアラビア、カタール、バーレーン、オマーン、エジプト、イラン、クウェート、レバノン、ウズベキスタン</b> ：2412 MHz～2462 MHz (11 ch) ：5180 MHz～5320 MHz (W52、W53) ：5500 MHz～5700 MHz (W56)</li></ul>
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

### Bluetooth®

準拠規格	Bluetooth Ver.4.2 (Bluetooth low energy)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2402MHz～2480MHz

**バッテリー NP-W126S**

公称電圧	7.2V
公称容量	1260mAh
使用温度	0℃～+40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	36.4mm × 47.1mm × 15.7mm
質量	約47g

 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。  
使用説明書における記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

# 索引

## [A ~ Z]

- A (オート)、170
- A (絞り優先撮影)、74
- AE/AF-LOCK 設定、298
- AE/AF ロック、97
- AEL/AFL** ボタン、98
- AE ブラケティング、100
- AE ブラケティング設定、167
- AE ロック、97
- AF+MF、153, 200
- AF-ON、323
- AF-C カスタム設定、143, 198
- AF (オートフォーカス)、77
- AF 警告、11
- AF 合焦音量、277
- AF ロック、97
- AF フレーム補正、160
- AF ポイント表示、147
- AF 補助光、148, 174, 192
- AF モード、80, 142, 197
- AF モードオール設定、142
- AWB-LOCK 設定、298
- B** (バルブ撮影)、72
- Bluetooth ON/OFF、262
- Bluetooth 機器一覧、262
- Bluetooth/ スマートフォン設定、261
- C** (AF-C)、78, 81, 143, 155, 198
- C** (カスタム) (露出補正)、96
- CH 設定、175
- DISP/BACK** (表示 / 戻る) ボタン、23, 212
- DNS サーバー、255
- DPOF 指定、233
- DRIVE/DELETE** ボタン、9, 58
- D レンズ優先、131, 218
- ERF、5
- EVF、4
- EVF/LCD ブースト設定、304
- EVF 明るさ、22, 282
- EVF 鮮やかさ、22, 282
- EVF 色調整、282
- EVF タッチパネル有効範囲、30
- Fn** (ファンクション) ボタン、319
- F-Log/HLG 撮影、187
- F-Log ビューアシスト、286
- Fn1 ボタン設定、299
- Frame.io、252
- Frame.io Camera to Cloud、264, 349
- FUJIFILM instax SHARE、234, 250, 264
- FUJIFILM X Acquire、348
- FUJIFILM X RAW STUDIO、259, 349
- HDMI、56, 186
- HDMI ケーブル、56
- HDMI 出力設定、186
- HDMI 出力情報表示、186
- HDMI タイムコード出力、208
- HDMI レックコントロール、186
- HDR 撮影、105
- HEIF、121
- HEIF を JPEG/TIFF に変換、219
- instax プリンター接続設定、264
- instax プリンタープリント、234, 251
- IP アドレス、254
- ISO 感度、91
- ISO ブラケティング、99
- JPEG/HEIF 選択、121
- LCD (液晶モニター)、6, 18, 30
- LCD 明るさ、22, 283
- LCD 鮮やかさ、22, 283
- LCD 色調整、283
- LED ライト設定、174

- MENU/OK** ボタン、28, 118, 194, 216, 270  
 MF アシスト、154, 200  
 MF アシストフォーカスリング連動、154, 200  
 ND フィルター、171, 193  
 OVF、4  
 OVF 時 撮影画像表示、288
- P** (プログラム撮影)、52, 68
- P、S、A、M** 撮影、68
- PLAY** ボタン、55
- Q** (クイックメニュー) ボタン、313
- RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKPIX、347
- RAW 画像、119
- RAW 記録方式、120
- RAW 現像、216, 259, 267, 347, 348, 349
- REC 開始終了音量、278
- REC 枠表示、191
- SD/SDHC/SDXC メモリーカード、41
- S** (シャッタースピード優先撮影)、70
- S** (AF-S)、78, 80, 155
- S.S. 操作設定、295
- T** (タイム撮影)、71
- TTL、115, 116, 335
- TTL-LOCK、174, 323
- TTL-LOCK モード、174
- USB RAW 現像 / 設定保存読込、267
- USB カードリーダー、244
- USB 給電 / 通信設定、268
- VIEW MODE 設定、281
- WB シフト、127, 218
- X RAW STUDIO、259, 349
- 【あ】**  
 アイセンサー、20, 21, 376  
 アドバンスドフィルター、113  
 赤目補正、116, 173, 332  
 圧縮方式、185
- 後幕シャッター、116, 334, 337, 340  
 アドレス、254, 268  
 アベレージ (測光)、93  
 位置情報記録、308  
 位置情報表示、292  
 色温度、128  
 色空間、133, 218  
 インジケーターランプ、11, 192, 239  
 インターバルタイマー撮影、164  
 インターバルタイマー撮影間隔優先、166  
 インターバルタイマー撮影露出平準化、166  
 ウェブカメラ、249  
 液晶モニター (LCD)、6, 18, 24  
 エリア設定、271  
 オートフォーカス (AF) 撮影、77  
 オート (ISO) / **A** (オート)、170  
 オート (**A**) 設定、92  
 オプション品 (別売アクセサリ)、344  
 お手入れについて、364  
 オーディオ設定、178  
 オーディオ設定 (撮影メニュー)、204  
 オートパワーオフ (自動電源 OFF)、303  
 オート (フラッシュ発光 AUTO)、116  
 オール (AF モード)、80, 81  
 音設定 (セットアップメニュー)、277  
 温度保護機能、63
- 【か】**  
 カードなしレリーズ、297  
 海外で使うとき、358  
 開始時間設定、207  
 外部フラッシュ (別売クリップオンフラッシュ)、332  
 外部マイク、63  
 外部マイクレベル設定、178, 204  
 カウントアップ設定、207  
 顔検出 / 瞳 AF 設定、149, 199  
 拡大表示、85, 89, 215

風音低減、179, 205  
画質設定 (撮影メニュー)、118, 194  
画質モード、119, 218  
カスタム 1 設定呼び出し、323  
カスタム選択、134, 193  
カスタム登録内容の自動更新、141, 193  
カスタム登録 / 編集、135, 193  
カスタムホワイトバランス、127  
画像回転、225  
画像サイズ、118, 218  
画像を選択して転送、265  
カメラで使えるソフトウェア・サービス、  
347  
画面のカスタマイズ、288  
カラー、132, 195, 218  
カラークローム・エフェクト、125, 218  
カラークロームブルー、125, 218  
感度 AUTO 設定、92, 170  
感度 (ISO 感度)、91  
基準 ISO 感度、92, 170  
機内モード、264, 361  
基本設定 (セットアップメニュー)、270  
キャッチライト、174  
給電中、44  
距離指標、88  
距離指標の単位、287  
記録画素数、387  
クイックメニュー (Q メニュー) ボタン、  
313, 316  
クイックメニュー登録 / 編集、294  
クイックメニュー背景設定、292  
クリップオンフラッシュ、114, 332, 333,  
335  
グレイン・エフェクト、124, 218  
ゲートウェイ、255  
減感 (増感 / 減感)、218  
言語、49, 273

高感度ノイズ低減、132, 196, 218  
工場出荷時 (リセット)、276  
合焦マーク、79  
コマ NO. (コマナンバー)、306  
コマンダー設定、175  
コマンダー (光通信)、338  
コマンドダイヤル、10  
コマンドダイヤル回転方向、296  
コマンドダイヤル設定、295  
コンティニユアス AF (C)、78  
コントロールリング、12, 94  
コントロールリング設定、298  
コンバージョンレンズ、170, 193, 330

## 【さ】

再生音量、280  
再生時の表示画面、210  
再生ズーム、215  
再生方法、214  
再生メニュー、viii, 216  
先幕シャッター、116, 334, 337, 340  
撮影画像表示、284  
撮影時自動画像転送、262, 265  
撮影時の表示画面、14  
撮影設定 (撮影メニュー)、161  
撮影メニュー、iv, 117  
撮影モード、52, 60  
サブネットマスク、254  
サマータイム、271  
自動電源 OFF (オートパワーオフ)、303  
自動電源 OFF 温度、305  
視度調節ダイヤル、8  
絞り値、68, 74  
絞り優先 (A) 撮影、74  
絞りリング設定 (A)、299  
シャープネス、132, 196, 218  
シャッター回数、274  
シャッタースピード、7, 68, 70, 75, 388

- シャッタースピード/感度ダイヤル、7
  - シャッタースピード優先、70
  - シャッター方式、168
  - 周辺光量補正、196
  - 消去、58, 220
  - 上限 ISO 感度、92, 170
  - ショートカット機能、310
  - 消費電力設定 (セットアップメニュー)、303
  - 情報表示、268
  - 情報表示拡大 表示設定、291
  - 情報表示拡大モード (EVF/OVF)、289, 291
  - 情報表示拡大モード (LCD)、290, 291
  - 情報表示コントラスト調整、291
  - 情報表示の切り替え、23, 212
  - 初期化、276
  - 初期設定、47
  - シングル AF (S)、78
  - シングルポイント (AF モード)、80, 81
  - シンクロターミナル、333, 334
  - スタンダード画面、25
  - スポーツファインダーモード、161
  - スポット (測光)、93
  - スマートフォン、172, 230
  - スマートフォンアプリケーション、240
  - スマートフォン位置情報同期、262
  - スマートフォン送信時圧縮、263
  - スマートフォンに画像転送、228
  - スムーズスキン・エフェクト、125, 218
  - スライドショー、230
  - スローシンクロ、116, 336, 340
  - 静止画 (再生)、55
  - 静止画 (プログラム撮影)、52
  - 世界時計、272
  - 接続モード、267
  - セットアップメニュー、ix, 269
  - ゼブラ設定、190
  - ゼブラレベル、190
  - セルフタイマー、163
  - セルフタイマー音量、277
  - セルフタイマー設定保持、164
  - セルフタイマー (動画)、184
  - セルフタイマーランプ、164
  - センサークリーニング、274, 364
  - 操作音量、278
  - 操作ボタン・ダイヤル設定 (セットアップメニュー)、293
  - 増感 (増感/減感)、218
  - ゾーン (AF モード)、80, 81
  - ゾーンエリア特性、145
  - ゾーンカスタム設定、142
  - 速度変化特性、144
  - 測光、93, 167, 188
  - 測光モード、93
  - 測光&フォーカスエリア連動、155
  - ソフトウェア、347
- 【た】**
- ダイナミックレンジ、130, 195, 218
  - ダイナミックレンジ BKT、100
  - タイムコード設定 (撮影メニュー)、207
  - タイムコード表示、207
  - タイム撮影 (T)、71
  - 多重露出撮影、110
  - タッチパネル設定、300
  - タッチパネルモード、158, 202
  - タッチファンクション、33, 300, 324
  - 縦/横位置 AF モード切替、146
  - 縦横自動回転再生、287
  - 縦横自動回転表示、22, 284
  - ダブルタップ拡大、300
  - タリーランプ、192
  - 中央部重点 (測光)、93
  - 長秒時ノイズ低減、133
  - 著作権情報、307

低速シャッター限界、92, 170  
データレベル設定、188  
デジカメプリント、233  
デジタルスプリットイメージ、89, 154  
デジタルテレコン、94, 171  
デジタルマイクロプリズム、89, 154  
テレビ接続 (HDMI 出力)、56  
電源、45  
電源 OFF 中の画像転送、263, 266  
電子音 & フラッシュ、275  
電子シャッター音、279  
電子シャッター音量、278, 279  
電子シャッター (シャッター方式)、168  
電子水準器、27  
電子水準器設定、286  
転送予約リセット、266  
動画クロップ倍率固定モード、186  
動画再生、65  
動画撮影、60  
動画設定 (撮影メニュー)、64, 177, 181  
動画設定一覧、181  
動画専用操作モード、32, 191  
動画モード、177, 182  
トーンカーブ、132, 195, 218  
トラッキング (AF モード)、81  
トリミング、222  
ドロップフレーム、208

## 【な】

内蔵フラッシュ、176  
内蔵マイクレベル設定、178, 204  
長押し (MENU/OK ボタン)、15, 17, 19, 302  
長押し (Q ボタン)、316  
長押し (消去ボタン)、270  
長押し (リアコマンドダイヤル中央)、10  
ナチュラルライブビュー、285  
名前、262  
日時設定 / 日時変更、49, 271

認証、276  
ネットワーク / USB 設定初期化、268  
ネットワーク / USB 設定メニュー、xii, 261

## 【は】

バージョンの確認方法、367  
ハイスピード撮影、177, 183  
ハイブリッドビューファインダー、4  
発光モード、115, 334, 335, 339  
バッテリー、42, 46  
パノラマ撮影、107  
パフォーマンス、304  
バルブ撮影 (B)、72  
半押し AF、296  
半押し AE、296  
ピクセルマッピング、134  
被写界深度確認、74, 88  
被写界深度スケール、156, 201  
被写体検出 AF 設定、151, 199  
被写体保持特性、144, 198  
ヒストグラム表示、26  
ビットレート、185  
表示設定 (セットアップメニュー)、281  
表示比率、235  
標準撮影枚数 / 記録時間、385  
ピントの確認、88  
ファームウェアアップデート、275, 365  
ファイル形式、185, 218, 219  
ファイル形式選択、263  
ファイル名編集、307  
ファンクション (Fn) 設定、294, 321  
ファンクション (Fn) ボタン、319  
フィルム シミュレーション、122, 194, 218  
フィルムシミュレーション BKT、100, 167  
ブースト、304  
フォーカス BKT、101  
フォーカス BKT 設定、101, 167  
フォーカス位置拡大、153

- フォーカスエリア、82, 84, 142, 197
  - フォーカスエリア選択、80, 82, 142, 197
  - フォーカス設定 (撮影メニュー)、142, 197
  - フォーカスチェック、155, 201
  - フォーカスチェックロック、203
  - フォーカス点数切り替え、147
  - フォーカスピーキング、90, 154, 200
  - フォーカスポイント循環、147, 198
  - フォーカスマップ、90
  - フォーカスメーター、90
  - フォーカスモード、78
  - フォーカスモード切換スイッチ、77, 86
  - フォーカス優先 (リリース優先 / フォーカス優先)、156
  - フォーカスリミッター、157, 201
  - フォーカスリング、297
  - フォーカスリング操作、297
  - フォーカスレバー、7, 293
  - フォーカスレバー設定、293
  - フォーマット (初期化)、270
  - フォトブックアシスト、231
  - フォルダ選択、307
  - ブライトフレーム、15, 53
  - ブライトフレーム位置記憶、281
  - ブラケティング、100
  - ブラケティング撮影、99
  - フラッシュ撮影、114
  - フラッシュ機能設定、115, 173
  - フラッシュ設定 (撮影メニュー)、173
  - プリ AF、148
  - プリ撮影、162
  - フリッカー低減、169
  - フリッカーレス S.S. 設定、169, 188
  - プリント予約 (DPOF)、233
  - フレーミングガイド、286
  - フレーム間ノイズリダクション、196
  - ブレ防止モード、170, 177, 189
  - ブレ防止モードブースト、177, 189
  - プログラム (P) 撮影、52, 68
  - プログラムシフト、69
  - プロテクト、224
  - フロントコマンドダイヤル (コマンドダイヤル)、10, 295
  - ペアリング、261
  - 別売アクセサリ、344
  - ヘッドホン音量、179, 206
  - ボイスメモ設定、226
  - 保存設定 (セットアップメニュー)、306
  - ホワイトバランス、126, 194, 218
  - ホワイトバランス BKT、99
- 【ま】**
- マイク端子設定、178, 205
  - マイク / リモートリリース設定、180, 206
  - マイクレベルリミッター、179, 205
  - マイメニュー (マイメニュー設定)、273, 311
  - マニュアル (M) 撮影、75
  - マニュアル時モニター露出 / WB 反映、76, 285
  - マニュアルフォーカス (M)、86
  - マルチ再生、215
  - マルチ (測光)、93
  - 無線通信周波数設定、263
  - 銘板プレート、13
  - 明瞭度、133, 218
  - メカニカルシャッター (シャッター方式)、168
  - メディア記録設定、177, 184
  - メモリーカード、38
  - モノクローム カラー、124, 194, 218

## **[s]**

リアコマンドダイヤル（コマンドダイヤル）、10, 295  
リサイズ、223  
リセット、276  
リモートリリース、73  
ルート証明書、266  
レーティング、227  
リリース優先（リリース優先 / フォーカス優先）、156  
連続撮影、103  
ローカットフィルター、179, 206  
露出補正、95  
露出補正ダイヤル、8  
ロスレス圧縮、120  
ロック、302

## **[w]**

ワイド（AFモード）、80  
ワイヤレス通信、172, 193, 230  
ワンタッチ AF 時の動作、155, 201

## ■ ソフトウェアのお問い合わせ

以下の手順でお問い合わせください。

### 1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

### 2 富士フイルム製品 Q&A・お問い合わせをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/> をご覧ください。

### 3 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。

- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？  
トラブルが発生する直前の操作は？  
カメラの状態は？  
トラブルが発生する頻度は？
- ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱いについて」をご確認ください。

# アフターサービスについて

## 保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

## 修理

### ■ 調子が悪いときはまずチェックを

デジタルカメラ Q&A または本書の「トラブルシューティング / FAQ」をご覧ください。使い方の問題か、故障が迷うときは、富士フィルムデジタルカメラサポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

### デジタルカメラ Q&A :

<https://digitalcamera-support-ja.fujifilm.com/>

### ■ 故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたは富士フィルムイメージングプラザに修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンターのご案内が巻末にあります。

### ■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 修理 / メンテナンスのご依頼は、下記 Web サイトよりお申込みください。  
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/repair/>
- Web サイトからお申込みが出来ない場合は、本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付し、修理をご依頼ください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、必要事項に記入をお願いします。  
なお、見積は有料となる場合があります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合があります。

### ■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 7 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品などに交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご利用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

## 個人情報の取扱について

当社は、お客さまの個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守いたします。

- お問い合わせ時あるいは修理依頼時にお客さまからご提供いただいた、お客さまのお名前・住所・電話番号・メールアドレスなどの個人情報は、以下に定める目的の範囲内で利用いたします。
  - ① お客さまからいただいたお問い合わせに対する回答
  - ② 修理・サポート及び関連する製品・サービスの情報提供
  - ③ お客さま対応品質向上のため、及び製品・サービスに関する企画、開発、販促、その他事業活動のためのアンケート調査の実施
  - ④ 製品カタログなどの資料発送
  - ⑤ 個人情報保護法その他法令で認められた利用目的
- 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩などの事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
- お問い合わせいただいた内容により、当社製品・サービスを提供する当社関係会社にて対応することが適切と当社で判断した場合、上記利用目的の範囲内でお客さまの個人情報を当社関係会社に開示することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 当社における個人情報の取り扱いについては、「プライバシーポリシー」をご覧ください。  
<https://www.fujifilm.com/jp/ja/privacy>
- お問い合わせ時あるいは修理依頼時の内容などにつきましては、個人を特定できないよう統計的なデータに加工した上で、サービス向上のために利用いたします。
- ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせなどは、富士フィルムデジタルカメラサポートセンター等のお問合せ先、富士フィルム修理サービスセンターあるいは富士フィルムイメージングプラザにお願いいたします。

## 修理依頼票

- ※ あらかじめ「個人情報の取扱いについて」または「[プライバシーポリシー](#)」をご確認ください。
- ※ 点検・修理時に各種設定が工場出荷状態に戻る可能性がございます。
- ※ 本紙は A4 サイズ（推奨）の用紙に印刷またはコピーしてお使いください。
- ※ 保証期間内の場合は、保証書と購入日の分かる納品書等を添付してください。
- ※ 下表の□は、該当する項目にチェック（✓）を入れてください。

プライバシーポリシーはこちら



フリガナ			電話番号	
お名前			携帯番号	
			FAX 番号	
フリガナ	-----			
Eメール アドレス	-----			
	※読み間違えやすい英文字、数字（ゼロとオー、小文字のエルと大文字のアイなど）はフリガナをご記入ください。			
ご住所 ※建物名も ご記入 ください。	〒      ー  <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社			
製品名 (型番)		ボディ番号（機番） <small>保証書あるいは本体に記載 してある8桁の番号です。</small>		
見積連絡	<input type="checkbox"/> 要（修理金額      円以上の見積り）		<input type="checkbox"/> 不要	
連絡方法	<input type="checkbox"/> SMS <input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX			
故障症状 (故障時の様子)				
修理履歴	<input type="checkbox"/> 初回 <input type="checkbox"/> 再依頼（前回修理依頼：      年      月）			
発生 状況	発生頻度	<input type="checkbox"/> 常時 <input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> まれに <input type="checkbox"/> 1回のみ		
	他機との接続	<input type="checkbox"/> スマホ接続時 <input type="checkbox"/> テザー撮影時 <input type="checkbox"/> 外部フラッシュ使用時		





- 本製品に関するお問い合わせは…

### 富士フイルムデジタルカメラサポートセンター

TEL 0570-04-1060

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 ■FAX  
03-6625-2809 050-3786-2060

※メールでのお問い合わせ、窓口の受付時間などはこちらをご覧ください。  
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/contact/>



- 修理に関するご相談受付窓口は・・・

### 富士フイルム修理サービスセンター

TEL 0570-04-1040

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 ■FAX  
03-6625-2810 050-3786-2040

- 修理品の送付先  
〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1

※修理に関するサービス内容、窓口の受付時間などはこちらをご覧ください。  
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/repair/>



- 本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL 0570-04-1711

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

# FUJIFILM

---

**FUJIFILM Corporation**

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

<https://fujifilm-x.com>

